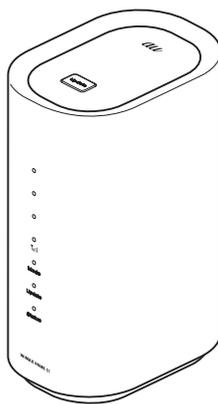


WiMAX HOME 01

User Guide 取扱説明書 詳細版



技術基準適合認証品



ごあいさつ

このたびは、WiMAX HOME 01（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

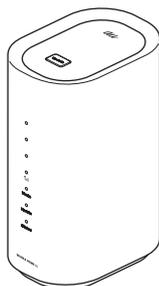
ご使用前に『取扱説明書 詳細版』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。

本製品の取扱説明書として、同梱の『つなぎかたガイド』または『取扱説明書 詳細版』（本書）をご用意しています。本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

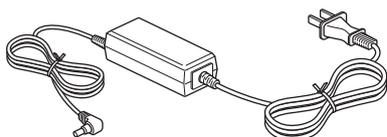
同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

□ WiMAX HOME 01（本体）



□ WiMAX HOME 01 AC アダプタ（AL1-004259-003）



□ つなぎかたガイド（保証書付）

□ 「らくらく QR スタート」用 QR コード（シール）

※ 保証書を含め同梱品は大切に保管してください。

※ Ethernet ケーブルは同梱されていません。市販品をご使用ください。

※ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

■ 「らくらく QR スタート」用 QR コード（シール）について

無線 LAN (Wi-Fi[®]) を利用して、本製品とパソコンやスマートフォン、ゲーム機などの無線 LAN (Wi-Fi[®])（以下、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末と表示します）を接続するには、ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (パスワード) の入力が必要となります。^(※1)

お買い上げ時の本製品に設定されているネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (パスワード) は、同梱されている「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) に記載されています (工場出荷時設定)。

お買い上げ時、および初期化後の本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を接続する場合に必要なとなりますので、大切に保管してください。また、ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (パスワード) は本体の底面のラベルでも確認できます。

※ 1 : WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能を利用して、本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を接続する場合は、ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (パスワード) の入力は不要です。詳しくは、「3-1 無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続する」(▶ P.25) を参照してください。

取扱説明書について

■ つなぎかたガイド

本製品をお使いになるための、主な機能の主な操作および設定のみ説明しています。

■ 『取扱説明書 詳細版』（本書）

本製品のさまざまな機能のより詳しい説明を記載しています。

本書の PDF ファイルは、本製品内にも保管されています。(▶ P.77)



■ 『取扱説明書』ダウンロード

・『取扱説明書』の PDF ファイルは、au ホームページからダウンロードできます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



・WiMAX Support Information ホームページからもダウンロードできます。

<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/wh01/index.html>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Setup Guide" from au website.

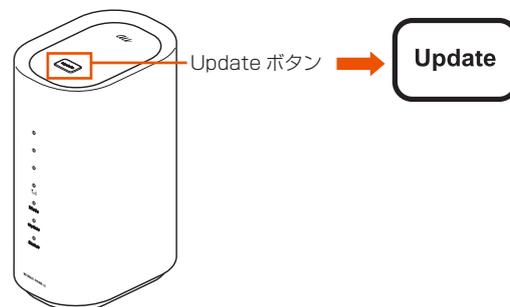
・『つなぎかたガイド』（英語版）を au ホームページに掲載しています。

Download URL : <https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

◎本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

◎本書では、操作手順を以下のように表記しています。

・ボタン操作で「長押し」は、約 2 秒間または約 5 秒間ボタンを押す動作です。

・ボタン操作で「短押し」は、ボタンを押してすぐに離す動作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書は au Nano IC Card 04 LE を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

- ◎本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎本書では「au Nano IC Card 04 LE」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎本書では同梱品の「WiMAX HOME 01 AC アダプタ」の名称を「ACアダプタ」と表記しています。
- ◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI 株式会社・沖縄セルラー電話株式会社

製造元：NEC プラットフォームズ株式会社

- ◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

本製品のご利用について

- ・本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.5）をお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ・故障とお考えの前に、本書の「11-2 故障とお考えになる前に」（▶P.103）で症状をご確認ください。
- ・通信中は、身体から20センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。（ただし、WiMAX 2+方式およびLTE方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- ・本製品は国内でのご利用を前提としています。国外での使用はできません。（This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- ・本製品は屋内専用です。屋外での使用はできません。
- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けておりません。
- ・「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている本製品のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。
大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本文中で使用しているイラストはイメージです。実物とは形状が異なる場合や、一部省略などがあります。ご了承ください。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	1
本製品のご利用について	2
目次	3
注意事項	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	5
材質一覧	7
取り扱い上のご注意	7
無線 LAN（Wi-Fi®）機能について	8
電波障害自主規制について	9
PIN コードについて	9
データ通信料についてのご注意	9

1章 ご利用の準備

1-1 本製品の使いかた	11
ご利用になる前に	11
本製品との接続について	11
設置場所について	11
1-2 各部の名称と機能	12
1-3 au IC カードについて	14
au IC カードを取り付ける	14
au IC カードを取り外す	14
1-4 電源を入れる／切る	15
電源を入れる	15
電源を切る	15
1-5 工場出荷状態に戻す（リセット）	16
本製品を工場出荷状態に戻すには（リセット）	16
1-6 あらかじめ確認してください	17
接続端末の準備	17

2章 基本操作

2-1 基本的な操作を覚える	21
ボタンの使いかた	21
2-2 クイック設定 Web について	22
クイック設定 Web を起動する	22
クイック設定 Web のトップページ	22
詳細設定にログインする	23
詳細設定のトップページ設定画面	23

3章 無線 LAN（Wi-Fi®）接続／Ethernet ケーブル接続

3-1 無線 LAN（Wi-Fi®）で接続する	25
無線 LAN（Wi-Fi®）情報を確認する	26
らくらく QR スタートを利用して無線 LAN（Wi-Fi®）接続する	26
Windows パソコンを接続する	27
Mac を接続する	28
スマートフォン／タブレット（Android 端末）を接続する	29
iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する	30
ニンテンドー 3DS を接続する	31
PlayStation® Vita を接続する	32
WPS 機能対応の無線 LAN（Wi-Fi®）端末を接続する	33
3-2 Ethernet ケーブル（市販品）で接続する	35
本製品とパソコンを Ethernet ケーブル（市販品）で接続する	35
本製品とパソコンから Ethernet ケーブルを取り外す	35

4章 WAN 側回線の接続設定

4-1 WAN 側回線接続	37
接続先設定方法	37
4-2 通信モードを切り替える	38
「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替える	38

5章 便利な機能

5-1 スマートフォンアプリを使う	40
「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロード／インストールする	40
接続設定ウィザード（らくらく QR スタート）	40
情報表示	40
5-2 通信量カウンターを確認する	43
データ通信量を確認する（スマートフォンアプリ）	43
データ通信量を確認する（クイック設定 Web）	44
5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う	45
設定方法	45
5-4 らくらく QR スタートを使う	46
クイック設定 Web で設定用 QR コードを表示する	46
5-5 最適な設置場所を探す	47
5-6 ランプ消灯機能	48
ランプ消灯モードを変更する	48
5-7 自動再起動機能	49
自動再起動を設定する	49
5-8 その他の便利な機能	50
IP パケットフィルタリング	50
ポートマッピング	50
UPnP 機能	50

6章 セキュリティ対策をする

6-1 セキュリティ機能について	52
セキュリティ機能について	52
暗号化	52
ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）	52
MAC アドレスフィルタリング機能	53
ネットワーク分離機能	53
アドバンスド NAT（IP マスカレード/NAPT）	53
不正アクセス検出機能	53
ダイナミックポートコントロール機能	53

7章 工場出荷時の状態に戻す（初期化）

7-1 RESET ボタンで初期化する	55
RESET ボタンで初期化する	55
7-2 クイック設定 Web で初期化する	56
クイック設定 Web で初期化する	56

8章 機能設定

8-1 クイック設定 Web について	58
クイック設定 Web を起動する	58
クイック設定 Web のトップページ	58
詳細設定にログインする	59
詳細設定のトップページ設定画面	59
8-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）	60
8-3 ネットワーク設定	61
基本設定	61
接続設定	61
プロファイル設定	61
通信量カウンター	62
8-4 Wi-Fi 設定	63
Wi-Fi 設定（2.4GHz）	63
Wi-Fi 設定（5GHz）	64
MAC アドレスフィルタリング	66
WPS 設定	66

8-5 詳細設定	67
LAN 側設定	67
DHCP 除外設定	67
DHCP 固定割当設定	68
IPv4 パケットフィルタ設定	68
IPv6 パケットフィルタ設定	69
ポートマッピング設定	70
その他の設定	70
8-6 メンテナンス	72
管理者パスワードの変更	72
設定値の保存&復元	72
設定値の初期化	73
ファームウェア更新	73
PING テスト	74
PIN コード管理	74
再起動	75
8-7 情報	76
現在の状態	76
通信情報ログ	76
UPnP の状態	76
マニュアル	77

9章 スマートフォン用クイック設定 Web

9-1 スマートフォン用クイック設定 Web について	79
クイック設定 Web を起動する	79
クイック設定 Web のトップページ	79
詳細設定のトップページ設定画面	80
9-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定)	81
9-3 ネットワーク設定	82
基本設定	82
接続設定	82
プロファイル設定	83
通信量カウンター	84
9-4 Wi-Fi 設定	86
Wi-Fi 設定 (2.4GHz)	86
Wi-Fi 設定 (5GHz)	86
WPS 設定	87
9-5 詳細設定	88
その他の設定	88
9-6 メンテナンス	89
管理者パスワードの変更	89
設定値の初期化	89
ファームウェア更新	89
再起動	90
9-7 情報	91
現在の状態	91

10章 本製品の設定メニューについて

10-1 設定メニュー一覧	93
10-2 ランプ表示による状態一覧	98

11章 付録

11-1 ファームウェアを更新する	100
Update ボタンを使ってバージョンアップ	100
クイック設定 Web 画面でのバージョンアップ	100
11-2 故障とお考えになる前に	103
11-3 アフターサービスについて	105
11-4 周辺機器	106
11-5 製品仕様	107
WiMAX HOME 01 本体仕様	107
AC アダプタ仕様	107
11-6 輸出管理規制	108
11-7 知的財産権について	109
商標について	109

11-8 索引	110
---------	-----

本製品で使用しているソフトウェアについて	112
----------------------	-----

注意事項

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

- ※ 1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※ 2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※ 3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、ACアダプタ、au ICカード、Ethernetケーブル（市販品）、周辺機器共通

危険

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れ、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、使用しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電源端子、LAN接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- オプション品は、auが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告

- 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電源端子、LAN接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。
- 使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
 - 電源プラグをコンセントから抜く。
 - 外部機器の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。

発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意

- 破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。
- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。
- 本製品を継続して使用される場合は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

データ通信など、継続しての使用は、本製品やACアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

発火により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告

- 本製品内のSIMカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、au ICカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品を使用しないでください。電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品を使用しないでください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください。電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意

- 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については、「材質一覧」を参照してください。

■ ACアダプタ、Ethernet ケーブル（市販品）について

警告

- ACアダプタやケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ACアダプタやケーブルは、風呂場などの湿気が多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ACアダプタは、必ず本製品に同梱のものをお使いください。また、本製品に同梱のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 雷が鳴り出したら、ACアダプタやケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。
- コンセントにつないだ状態でDCプラグ、本製品やパソコンにつないだ状態で端子をショートさせないでください。また、DCプラグや端子に手や指など、体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ACアダプタやケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- コンセントに電源プラグを抜き差しするときや、本製品やパソコンなどにケーブルを抜き差しするときは、金属製アクセサリなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
- 本製品にACアダプタを接続した状態や、本製品やパソコンなどにケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 濡れた手でACアダプタのコードやDCプラグ、電源プラグ、ケーブル、端子に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
- ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないでまっすぐ抜き差ししてください。特に回転型の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。
ACアダプタが破損して、火災、やけど、感電、故障などの原因となります。
- 電源プラグや端子についたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときや、ケーブルを本製品やパソコンなどに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

- 電源プラグをコンセントから抜く場合や、ケーブルを本製品やパソコンなどから抜く場合は、ACアダプタのコードやケーブルのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプタの電源プラグやコネクタを持って抜いてください。
ACアダプタのコードやケーブルのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ACアダプタやケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ACアダプタやケーブルのコネクタが曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
電源端子やLAN接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 使用しない場合は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから、ケーブルを本製品やパソコンなどから抜いてください。
電源プラグを差したままやケーブルを接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを、本製品やパソコンからケーブルを抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから、ケーブルを本製品やパソコンなどから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意

- コンセントにつないだ状態でACアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。
- ACアダプタの使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については、「材質一覧」を参照してください。

■ au ICカードについて

注意

- au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください（電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所	材質/表面処理
< WiMAX HOME 01 本体 >	
外装ケース	PC 樹脂/印刷
トップレート	PC 樹脂/印刷
Update ボタン	PC 樹脂
ボトムカバー	PC 樹脂
WPS ボタン、Mode ボタン	PA 樹脂
SIM カバー	TPC 樹脂
インナーフレーム (SIM カバー内)	PC 樹脂
LAN 接続端子	PBT 樹脂、リン青銅/金メッキ
電源端子	ABS 樹脂、PBT 樹脂、リン青銅/銀メッキ、銅チタン合金/銀メッキ
< WiMAX HOME 01 AC アダプタ >	
AC アダプタ本体	PC
電源ケーブル	PVC
電源プラグ (樹脂部)	PVC
電源プラグ (端子部)	黄銅/ニッケルメッキ、PBT
DC ケーブル	PVC
DC プラグ (樹脂部)	PVC
DC プラグ (端子部)	黄銅/ニッケルメッキ、PBT

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、AC アダプタ、au IC カード、Ethernet ケーブル (市販品)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れて、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。また、ケーブルを電源端子、LAN 接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度 0℃～40℃、湿度 10%～90%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 電源端子、LAN 接続端子をととき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布 (めがね拭きなど) で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、本体に傷が付く場合があります。本体に水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通信中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の AC アダプタをご使用ください。指定の AC アダプタ以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 電源端子、LAN 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物 (金属片・鉛筆の芯など) が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしてしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。

- 使用中に濡れた場合には直ちに AC アダプタの電源プラグを抜いてください。
- 布団などで覆われた状態での使用は故障の原因となります。
- AC アダプタやパソコンなどと接続するときは、接続する端子に対してプラグやコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所 (自動車内など) や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を使用する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃を与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
 - ボタンの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
 - 本製品底面に貼ってある IMEI の印刷されたラベル内に表示された「技適マーク」は、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
 - 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク」が本製品底面のラベルに表示されており、本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
 - 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
 - キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
 - 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります (結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
 - LAN 接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
 - 通常は SIM カードスロットの SIM カバーを閉めた状態で使用してください。SIM カードスロットの SIM カバーを開けず使用すると、内部にほこりや水などの異物が入り故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
 - 本製品内の au IC カード挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
 - 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
 - 砂浜などの上に直に置かないでください。本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ### ■ AC アダプタについて
- AC アダプタのコードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、AC アダプタのプラグとコードの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
 - AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
 - 異常が発生した場合に直ちに電源を切れるように、電源プラグを容易に取り外せる場所にあるコンセントに AC アダプタを接続してください。
 - 設置時には周囲に注意して設置してください。移動する際、AC アダプタやケーブルでお客様の家財 (花瓶、グラスなど) を引っかけないようにご注意ください。

- 設置の際、ACアダプタ本体を宙ぶりにしないでください。ACアダプタが本製品やコンセントから抜けやすくなったり、ケーブルが破損しACアダプタ故障の原因となります。
- 設置の際、ACアダプタのケーブルがピンと張った状態で設置したり、宙に浮いた状態で設置したりしないでください。お客様やペットなどがケーブルに引っかけて、けがの原因となります。また、ケーブルが本製品やコンセントから抜けたり、本製品が転倒・落下したりして故障の原因となります。

Ethernet ケーブル（市販品）について

- ケーブルのプラグと本製品やパソコンなどの接続部を無理に曲げたりしないでください。また、ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品やパソコンなどから抜くときは、プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

au IC カードについて

- au IC カードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au IC カードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au IC カードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けた au IC カードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

著作権・肖像権について

- お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能について

- 本製品の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。
- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN (Wi-Fi[®]) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz 帯で使用上の注意

本製品の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能は 2.4GHz 帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確

認してください。

2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップ、トヨタ au 取扱店、お客さまセンターまでご連絡ください。

◎本製品はすべての無線 LAN (Wi-Fi[®]) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべての無線 LAN (Wi-Fi[®]) 対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、無線 LAN (Wi-Fi[®]) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線 LAN (Wi-Fi[®]) によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎無線 LAN (Wi-Fi[®]) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能は、2.4GHz 帯の周波数を使用します。

- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能：2.4DS/OF4 本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。与干渉距離は約 40m 以下です。



2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

■■■■ : 全帯域を使用し、かつ本製品としては移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- 本製品を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1、CH6、CH11 のいずれかにすることを推奨します。ただし、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の CH1、CH6、CH11 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャンネルの設定方法は、「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.63) を参照してください。)

5GHz 帯で使用上の注意

本製品の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能は 5GHz 帯を使用します。電波法により 5.2GHz 帯の屋外利用は禁止されております（本製品は屋内^(※1)専用です）。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。



W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch)
W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

- W56 (5.6GHz 帯 / 132, 136, 140ch) は、ご利用できません。（2019年3月現在）
- 「5GHz 帯の使用について」(▶ P.25) を参照してください。

※1：屋内とは天井と四方が壁に囲われた建造物の内部の空間をいい、駅のホームや自動車など乗り物の中は屋外の扱いとなりますので注意してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

PIN コードについて

■ PIN コード

- 第三者による au IC カードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびに PIN コードの入力を必要にすることができます。また、PIN コードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
- PIN コードは 3 回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PIN ロック解除コードを利用して解除できます。
 - お買い上げ時の PIN コードは「1234」、入力要否は「無効にする」に設定されていますが、お客様の必要に応じて PIN コードは 4～8 桁のお好きな番号、入力要否は「有効にする」に変更できます。「有効にする」で使用する場合は、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PIN ロック解除コード

- PIN コードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
 - PIN ロック解除コードは、au IC カードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている 8 桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
 - PIN ロック解除コードを入力した場合は、新しく PIN コードを設定してください。
 - PIN ロック解除コードを 10 回連続で間違えた場合は、au ショップ、トヨタ au 取扱店、お客さまセンターまでお問い合わせください。
 - 「PIN コード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- 本製品で各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

1章 ご利用の準備

1-1 本製品の使いかた.....	11
1-2 各部の名称と機能.....	12
1-3 au IC カードについて	14
1-4 電源を入れる／切る	15
1-5 工場出荷状態に戻す (リセット).....	16
1-6 あらかじめ確認してください	17

1-1 本製品の使いかた

ご利用になる前に

本製品は WiMAX 2+ 方式および LTE 方式を利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は、以下の通信モードを選択いただけます。

	ハイスピード	ハイスピードプラスエリア
WiMAX 2+	○	○
LTE	—	○

各通信モードの選択、設定方法については、「4-2 通信モードを切り替える」(▶ P.38)を参照してください。

※初期設定は、「ハイスピード」モードです。「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替えるとお客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。

本製品との接続について

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能によりパソコンやゲーム機、スマートフォンなどの複数の端末と接続することができます。また、Ethernet ケーブル (市販品) を使って有線で接続することができます。さらに、接続した端末から本製品を経由して WiMAX 2+ 方式または LTE 方式を使ったインターネット接続でデータ通信ができます。

■ 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する

本製品とパソコンやゲーム機、スマートフォンなどの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続し、データ通信ができます。

本製品に無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を最大 20 台 (2.4GHz 帯 / 5GHz 帯で各 10 台) まで接続することが可能です。ただし、周囲の電波環境によっては上限まで接続できない場合があります。



■ Ethernet ケーブル (市販品) で接続する

Ethernet ケーブル (市販品) を使って、パソコンと有線 LAN 接続することができます。(最大 2 台まで)



memo

◎無線 LAN (Wi-Fi®) 接続と有線 LAN 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 22 台まで接続できます。

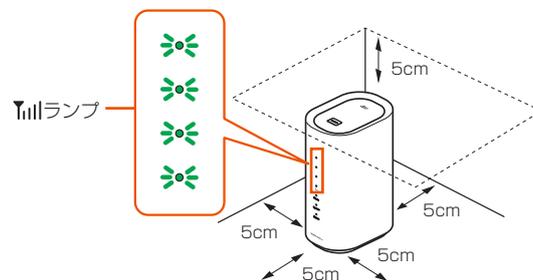
◎接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。また、接続機器やゲームなどによっては通信対戦プレイなどが正常に動作しない場合があります。

設置場所について

・本製品の前後左右 5cm、上 5cm 以内に他の機器や壁などが無い場所に設置してください。

※本製品正面の Y 字ランプ、Mode ランプ、Update ランプ、Status ランプの状態が確認可能なところに設置してください。

・Y 字ランプが 4 つの緑点灯 (受信レベル: 強度 4) をしているところが、電波受信強度が高い場所です。(「5-5 最適な設置場所を探す」(▶ P.47) 参照)



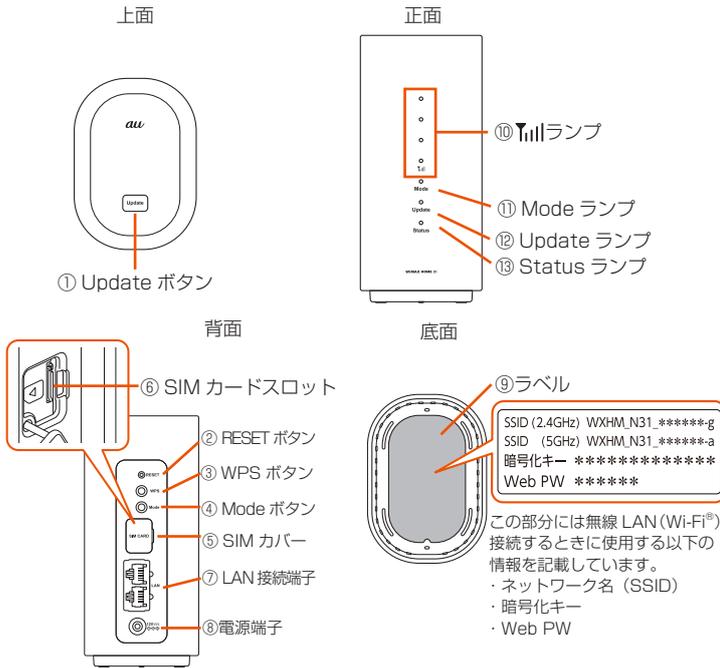
memo

◎良好な通信を行うために、電波受信強度の高い最適な場所に設置することを推奨します。

・スマートフォンアプリ「NEC WiMAX 2+ Tool」の電波インジケータ画面で詳細な電波レベルを確認すると、より最適な設置場所を探すことができます。(「5-5 最適な設置場所を探す」(▶ P.47) 参照)

1-2 各部の名称と機能

■ 本体



名称	機能
① Update ボタン	ファームウェアをアップデートするとき 사용합니다。
② RESET ボタン	設定内容を工場出荷時の状態に戻します。
③ WPS ボタン	WPS 機能対応機器と無線 LAN (Wi-Fi®) 接続するとき 사용합니다。
④ Mode ボタン	通信モードを切り替えるときに 사용합니다。
⑤ SIM カバー	SIM カバーを開けると、中に SIM カードスロットがあります。通常は閉じて使用してください。
⑥ SIM カードスロット	au IC カードを挿入します。
⑦ LAN 接続端子	パソコンなどを Ethernet ケーブル (市販品) で接続します。
⑧ 電源端子	AC アダプタを接続します。
⑨ ラベル	ネットワーク名 (SSID) や暗号化キー、Web PW、IMEI などを確認できます。はがさないでください。

■ 本体の LED ランプ表示の見かた

LED ランプの点灯色と点灯パターンによって本製品の状態をお知らせします。以下に LED ランプ表示を記載します。

LED ランプの点滅パターンは、「速」と「遅」があり、本文中では次のように表現しています。

- (例) 緑点滅 (速) ●○○●○○●○
 緑点滅 (遅) ●●○○●●○○

ランプ	色と点灯パターン	説明
⑩ Tullランプ	● 緑点灯 (強度 1~4)	WiMAX 2+/LTE 回線の電波受信信号の強度を 4 段階で表示
	● 消灯	電源が切れているとき、圏外するとき、WiMAX 2+/LTE 回線が未接続のとき
	● オレンジ点灯	データ通信量超過のとき*1
⑪ Mode ランプ	● 緑点灯	ハイスピードモードのとき
	● オレンジ点灯	ハイスピードプラスエリアモードのとき*2
	●●○○●●○○ 緑点滅 (遅)	Wi-Fi 設定お引越し機能が動作中のとき
	●●●●●●○○ オレンジ点滅 (速) (5 秒間)	通信モードの切り替えに失敗したとき
	● 消灯	電源が切れているとき

ランプ	色と点灯パターン	説明
⑫ Update ランプ	● オレンジ点灯	新ファームウェアがあるとき
	● 消灯	最新ファームウェアをご利用のとき、電源が切れているとき
	●●○○●●○○ オレンジ点滅 (遅)	ファームウェア更新中のとき
	●●●●●●○○ オレンジ点滅 (速)	手動で新ファームウェアを確認中のとき
	● 緑点灯	ファームウェア更新が成功したとき
	●●●●●●○○ 緑点滅 (速) (5 秒間)	手動で新ファームウェアを確認中のとき (新ファームウェアなし)
⑬ Status ランプ	●●●●●●○○ 赤点滅 (速) (のち消灯)	ファームウェアの更新に失敗したとき、手動で新ファームウェア確認に失敗したとき
	● 緑点灯	正常に動作中のとき
	●●●●●●○○ 緑点滅 (速)	WPS : 2.4GHz で実行中のとき
	●●●●●●○○ 緑点滅 (遅)	WPS : 5GHz で実行中のとき
	● オレンジ点灯 → ●●●●●●○○ オレンジ点滅 (遅)	本製品が起動中のとき (オレンジ点灯から点滅に変化します)
	●●●●●●○○ オレンジ点滅 (速) (5 秒間)	エラーが発生したとき (WPS に失敗したとき、Wi-Fi 設定お引越しに失敗したときなど)
	● 赤点灯	WiMAX 2+/LTE 回線が圏外するとき
	●●●●●●○○ 赤点滅 (遅)	au IC カード未挿入のとき、APN 設定に誤りがあるとき、PIN 認証待ちのとき
	● 消灯	電源が切れているとき

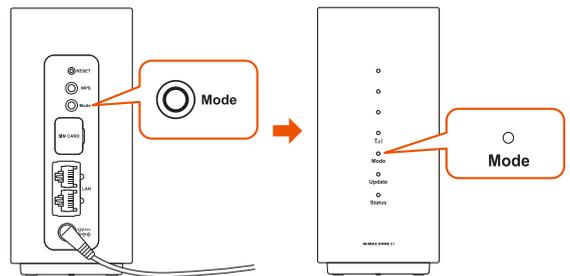
※ 1 : データ通信量の設定については「通信量カウンター」(▶ P.62) を参照してください。

※ 2 : ハイスピードプラスエリアモードに切り替えると、所定の追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

■ 本体のボタン操作について

本製品は、ボタン操作で通信モードの切り替え、ファームウェアの更新などを行います。

■ 通信モードを切り替える



[Mode] ボタン

通信モードの切り替えができます。

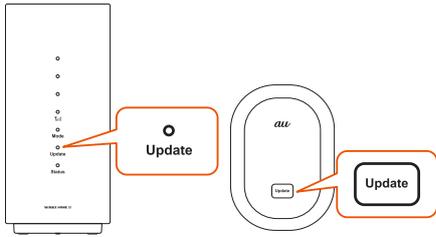
Mode ボタン	Mode ランプ	動作
2 秒以上長押し	● 緑点灯	ハイスピードモードに切り替え
	● オレンジ点灯	ハイスピードプラスエリアモードに切り替え

※ Mode ランプが切り替わってから、約 10 秒後に Tullランプが緑点灯します。

※ハイスピードプラスエリアモードに切り替えると、所定の追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

詳細は、「4-2 通信モードを切り替える」(▶ P.38) を参照してください。

■ ファームウェアを更新する



[Update] ボタン

新しいファームウェアがある場合、アップデートを開始します。

Update ボタン	Update ランプ	動作
—	● オレンジ点灯	新しいファームウェアあり
約 5 秒間長押し	● ○ ● ○ オレンジ点滅 (遅)	アップデート中
—	● 緑点灯	アップデート完了後、自動的に再起動

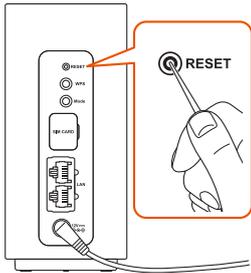
詳細は、「11-1 ファームウェアを更新する」(▶ P.100) を参照してください。

memo

◎ クイック設定 Web からファームウェアを更新できます。

- ・ 操作方法: [メンテナンス] - [ファームウェア更新] - (PC 用ページの場合 [オンラインバージョンアップ]) - [確認/更新]

■ 初期化する



[RESET] ボタン

うまく動作しない場合や、本製品を工場出荷時の設定に戻したい場合は、初期化してください。

※ご購入後にお客様が設定した内容はすべて削除されます。十分ご注意のうえ本機能をご利用ください。

1 RESET ボタンを先の細いもので、約 5 秒間長押しする 本体正面の LED ランプが消灯したら離す

約 20 秒後、すべての LED ランプが消灯し、再起動します。

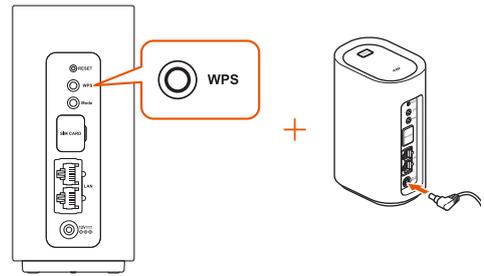
詳細は、「7-1 RESET ボタンで初期化する」(▶ P.55) を参照してください。

memo

◎ クイック設定 Web から初期化できます。

- ・ 操作方法: [メンテナンス] - [設定値の初期化] - [設定値の初期化] - [OK]

■ Wi-Fi 設定お引越し機能を使う



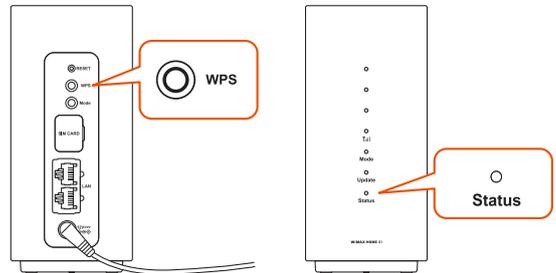
[WPS] ボタン

1 WPS ボタンを押しながら、電源を入れ、そのまま WPS ボタンを押し続ける (約 15 秒間)

2 Mode ランプが緑点滅 (遅) 表示になったら WPS ボタンを離す

詳細は、「5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う」(▶ P.45) を参照してください。

■ WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する



[WPS] ボタン

WPS ボタン	Status ランプ	動作
約 2 秒間長押し	緑点滅 (速 ●○○○○●○)	2.4GHz 帯対応の機器に WPS 接続中
5 秒以上長押し	緑点滅 (遅 ●●○○●○○)	5GHz 帯対応の機器に WPS 接続中
—	● 緑点灯	WPS 接続完了

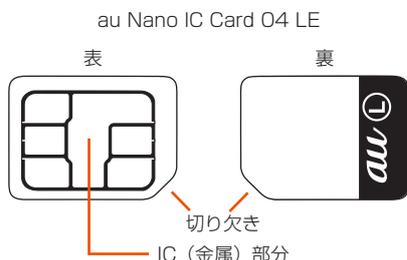
詳細は、「3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する」(▶ P.25) を参照してください。

! ご注意

- お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能に対応していない場合や、WPS 接続できない場合は、手動で接続してください。(▶ P.28、P.29、P.31)

1-3 au IC カードについて

本製品をご利用になるには、au から提供される IC カードが必要です。au IC カードにはお客様の電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するには au IC カードを本体に取り付ける必要があります。au IC カードを取り付けないと、WAN 側回線でのデータ通信などをご利用できません。



- 本製品は au Nano IC Card O4 LE に対応しております。
- SD カードや変換アダプタを取り付けた IC カードを挿入しないでください。故障の原因になります。

memo

- ◎ au IC カードの取り付け／取り外しは本製品の電源を切ってから行ってください。無理な取り付けや取り外しはしないでください。
- ◎ PIN コードの設定をしている au IC カードをお使いの場合は、PIN コードの入力が必要です。(▶ P.9、P.74)
- ◎ au IC カードには、お客様の電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発着信などはできません。
- ◎ au IC カードを正しく取り付けしていない場合や au IC カードに異常がある場合は、Status ランプが赤点滅 (遅) します。
その場合は、au IC カードを取り付け直して、再度電源を入れ直してください。
- ※ 取り外した au IC カードはなくさないようにご注意ください。

au IC カードを取り付ける

- 1 本製品の電源が入っていないことを確認する**
また、本製品と Ethernet ケーブルが接続されているときは取り外してください。
- 2 背面の SIM カバーを開ける**
SIM カバーの右側のくぼみに指 (爪など) をかけ、起こして開けてください。



- 3 au IC カードの切り欠き部を下にして、カードスロットにまっすぐに差し込み、カチッと音がするまで押し込む**
 - au IC カードの IC (金属) 部分を右側にして差し込んでください。
 - au IC カードがロックされます。



- 4 SIM カバーを閉じる**

memo

- ◎ 正しい挿入方向をご確認ください。故障や破損の原因となります。
- ◎ 無理な押し込みや取り付けはしないでください。故障や破損の原因となります。
- ◎ au IC カードの IC (金属) 部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。

au IC カードを取り外す

- 1 本製品の電源が入っていないことを確認する**
また、本製品と Ethernet ケーブルが接続されているときは取り外してください。
- 2 背面の SIM カバーを開ける**
SIM カバーの右側のくぼみに指 (爪など) をかけ、起こして開けてください。



- 3 au IC カードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む**

カチッと音がしたら、au IC カードに指を添えながら手前に戻してください。

ロックが解除され、au IC カードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。

強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



- 4 au IC カードをゆっくり引き抜く**
まっすぐにゆっくり引き抜いてください。
• ロックされている状態から無理に引き抜かないように注意してください。



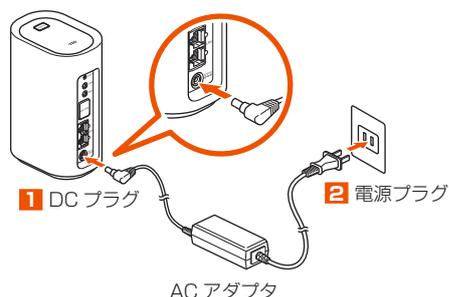
- 5 SIM カバーを閉じる**

1-4 電源を入れる／切る

本製品には電源ボタンはありません。電源を入れるときは AC アダプタを本製品に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

電源を入れる

- 1 本製品の電源端子に AC アダプタの DC プラグを接続する
奥までまっすぐにしっかり差し込んでください。
- 2 AC アダプタの電源プラグを AC 100V コンセントに差し込む
 - 起動中は、Status ランプがオレンジ点灯し、約 15 秒後、Mode ランプが緑点灯、Status ランプがオレンジ点滅（遅）します。
 - 正常に起動したときは、 ランプ、Mode ランプ、Status ランプが緑点灯します。

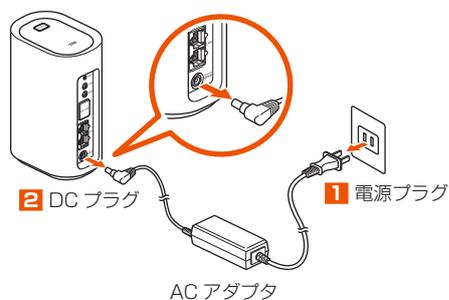


！ ご注意

- 最新のファームウェアであることを確認してください。
Update ランプがオレンジ点灯している場合は、最新ファームウェアがあります。（「11-1 ファームウェアを更新する」(▶ P.100) 参照)
- AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、強い衝撃や無理な力を与えないでください。ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。
- 特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

電源を切る

- 1 AC アダプタの電源プラグをコンセントからまっすぐに引き抜く
- 2 本製品から AC アダプタの DC プラグをまっすぐに引き抜く



1-5 工場出荷状態に戻す (リセット)

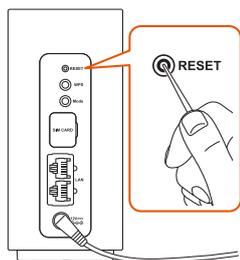
本製品を工場出荷状態に戻すには (リセット)

うまく動作しない場合や、本製品を工場出荷時の設定に戻したい場合は、初期化してください。

! ご注意

- ご購入後にお客様が設定した内容はすべて削除されます。十分ご注意のうえ本機能をご利用ください。

- 1 RESET ボタンを先の細いもので、約 5 秒間長押しする
本体正面の LED ランプが消灯したら離す



約 20 秒後、すべての LED ランプが消灯し、再起動します。

memo

- ◎本操作は LED ランプが点灯している状態で実施してください。
- ◎クイック設定 Web から初期化できます。(▶ P.56)
操作方法: [メンテナンス] - [設定値の初期化] - [設定値の初期化] - [OK]

1-6 あらかじめ確認してください

本製品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

接続端末の準備

お使いの接続端末が本製品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- Web ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (▶ P.18)
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本製品設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない(起動したまま)と本製品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。)
- クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと (▶ P.18)

〈無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する場合〉

- 無線 LAN (Wi-Fi®) が装備されていること

〈LAN 接続端子に有線 (Ethernet ケーブル) で接続する場合〉

- LAN ポートが装備されていること
- TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- パソコンのネットワーク設定を確認すること (▶ 右記)

■ 対応 OS について

本製品は、Windows®, Macintosh、Linux など TCP/IP プロトコルスタックに対応した OS にて、ご利用いただけます (利用可能 OS は日本語版に限ります)。

■ 対応ブラウザについて

クイック設定 Web で設定を行う場合にご利用いただける Web ブラウザは以下の通りです。また、サポート対象は、以下 OS のプレインストール製品、またはメーカーが以下 OS の利用を保証している製品です。(自作パソコンはサポート対象外です) (2019 年 3 月現在)

Windows® 10 の場合

- Microsoft Edge に対応
- Internet Explorer 11.0 に対応

Windows® 8.1 の場合

- Internet Explorer 11.0 に対応

Windows® 7 (SP1 以降) の場合

- Internet Explorer 8.0/9.0/10.0/11.0 に対応

macOS 10.14/10.13/10.12/OS X 10.11/10.10/10.9/10.8/
Mac OS X 10.7/10.6/10.5 の場合

- Safari に対応

Android (9.0/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0/4.4/4.3/4.2/4.1/
4.0) の場合

- Google Chrome に対応

iOS (12.0/11.4/11.3/11.2/11.1/11.0/10.3/10.2/10.1/10.0/
9.3/9.2/9.1/9.0/8.4/8.3/8.2/8.1/8.0) の場合

- Safari に対応

memo

◎ 対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。

パソコンのネットワークの確認 (Ethernet ケーブル接続の場合)

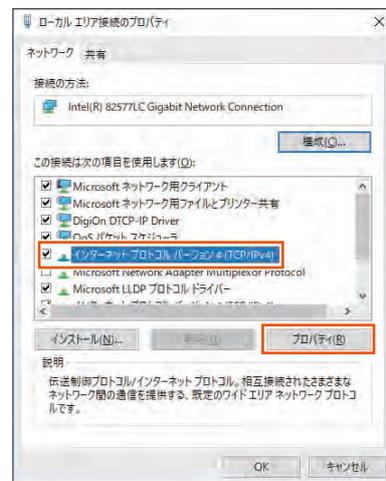
「3-2 Ethernet ケーブル (市販品) で接続する」(▶ P.35) の事前準備です。

パソコンのネットワークの設定が、Windows の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

■ Windows パソコンの場合

以下は Windows 10 を例に説明しています。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から【Windows システムツール】 - 【コントロールパネル】をクリックする
Windows 7 の場合は、【スタート】(Windows のロゴボタン) - 【コントロールパネル】をクリックします。
- 2 【ネットワークとインターネット】 - 【ネットワークと共有センター】をクリックし、【アダプターの設定の変更】をクリックする
- 3 【イーサネット接続】(または【イーサネット】または【ローカルエリア接続】)を右クリックし、【プロパティ】をクリックする
- 4 【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合は、【はい】または【続行】をクリックする
- 5 【インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)】を選択し、【プロパティ】をクリックする



(画面は Windows 10 の例です。)

- 6 【IP アドレスを自動的に取得する】と【DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する】を選択する
- 7 【OK】をクリックする
- 8 【閉じる】をクリックする

memo

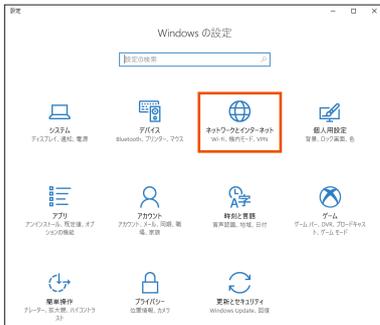
- ◎ Windows 10/8.1/7 の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ◎ ここでは、Windows 10/8.1/7 の通常表示モード (カテゴリ表示) を前提に記述しています。

Web ブラウザの設定確認

Web ブラウザの接続設定を「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows 10 で Microsoft Edge をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

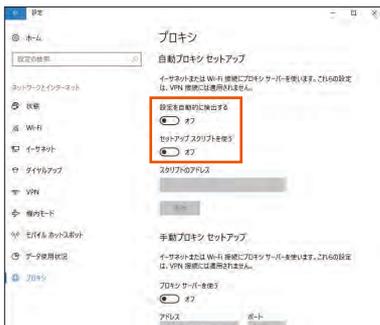
- 1 Windows のロゴボタンをクリックし、[設定] をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックする



- 3 [プロキシ] をクリックする



- 4 「自動プロキシ セットアップ」で「設定を自動的に検出する」と「セットアップ スクリプトを使う」を「オフ」にする



- 5 「手動プロキシ セットアップ」で「プロキシサーバーを使う」を「オフ」にする

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- 6 [保存] をクリックする

memo

◎ 専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

Web ブラウザからクイック設定 Web を利用して設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

Web ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本製品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

■ Internet Explorer をご利用の場合 (Windows 版)

以下は、Windows 10 で Internet Explorer 11.0 を使用している場合の例です。

Microsoft Edge では、「有効」に設定されています。以下の確認は不要です。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックする

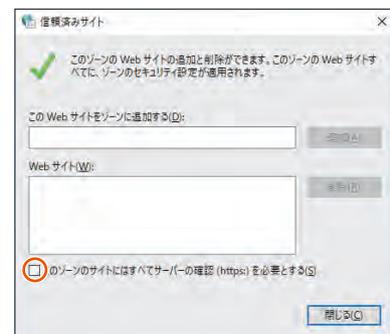
Windows 7 の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。

- 2 [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] をクリックする

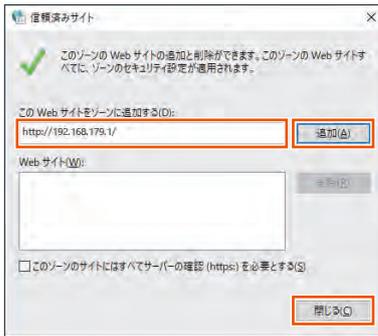
- 3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

- 4 [サイト] をクリックする

- 5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す

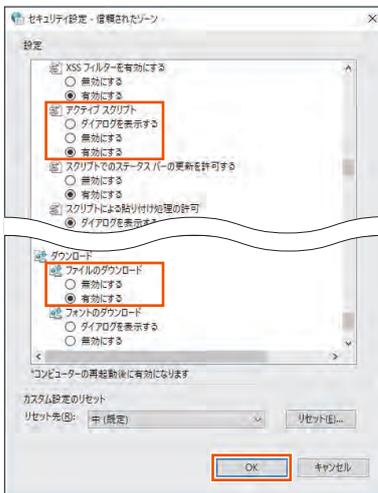


- 6 [この Web サイトをゾーンに追加する] に [http://192.168.179.1/] を入力し [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする



IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

- 7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする
- 8 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする
- [このゾーンの設定を変更しますか?] の画面が表示された場合は、[はい] (または [はい] - [適用]) をクリックしてください。



- 9 [OK] をクリックする

■ Safari をご利用の場合 (Mac 版)

以下は、macOS 10.13 で Safari を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする
- 3 [セキュリティ] をクリックする
- 4 「JavaScript を有効にする」にチェックを入れる



- 5 メニューバーの [Safari] から [Safari を終了] をクリックし、Safari を終了させる

■ Android 端末で Google Chrome をご利用の場合

以下は、Android 8.1 をご利用の場合の例です。

Google Chrome のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

- 1 Google Chrome を起動する
- 2 Google Chrome のメニューを開く
- 3 [設定] をタップする
- 4 [サイトの設定] をタップする
- 5 [JavaScript] がオフになっている場合は、ボタンをタップしてオンにする

■ iOS 端末で Safari をご利用の場合

以下は iOS 11.4 で Safari を使用している場合の例です。

- 1 「ホーム」画面の [設定] アイコンをタップする
- 2 設定メニューの [Safari] をタップする
- 3 [詳細] をタップする
- 4 [JavaScript] がオフになっている場合は、ボタンをタップしてオンにする

2章 基本操作

2-1 基本的な操作を覚える	21
2-2 クイック設定 Web について	22

2-1 基本的な操作を覚える

ボタンの使いかた

- ボタン操作で「長押し」は、2 秒以上または約 5 秒間ボタンを押す動作です。
(例) 通信モード切り替え時：Mode ボタンを 2 秒以上長押しする
ファームウェア更新時：Update ボタンを約 5 秒間長押しする
- ボタン操作で「短押し」は、ボタンを押してすぐに離す動作です。
- RESET ボタンは、先が細いもので押してください。

2-2 クイック設定 Web について

本製品に接続したパソコンなどの Web ブラウザから、WiMAX HOME 01 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi®) で接続した場合を例にしています。

本製品では、WiMAX HOME 01 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。

memo

- ◎ クイック設定 Web が利用できる Web ブラウザについては、「接続端末の準備」(▶ P.17) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。

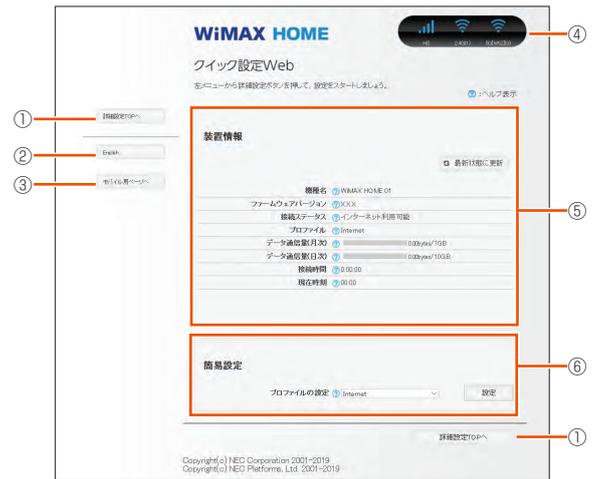
クイック設定 Web を起動する

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

- ### 2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力する
- クイック設定 Web が表示されます。

クイック設定 Web のトップページ



① 詳細設定 TOP へ

詳細設定をする場合は、ここからログインをし、各種機能の詳細設定をします。

② 言語

日本語と英語の切り替えができます。

トップページで変更する場合は、ログインが必要です。

③ モバイル用ページへ

スマートフォンから操作するための画面を表示します。

④ ピクト情報

HS (ハイスピードモード) / HS+A (ハイスピードプラスエリアモード) の電波状態、Wi-Fi (2.4GHz と 5GHz の接続台数) を表示します。

⑤ 装置情報

以下の情報が表示されます。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
- ・接続ステータス
- ・プロファイル
- ・データ通信量 (月次、日次)
- ・接続時間
- ・現在時刻

⑥ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・プロファイルの設定
使用するプロファイルを選択します。

詳細設定にログインする

- 1 クイック設定 Web のトップ画面の【詳細設定 TOP へ】ボタンをクリックする
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、【ログイン】をクリックする
 「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には、パスワード (Web PW) (※)を入力してください。
 ※: 「Web PW」は、本体の底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) に表示されています。
- 3 【OK】をクリックする
- 4 「管理者パスワードの変更」画面が表示されたら、「初期パスワード」欄に手順 2 で入力したパスワード (Web PW) (※)を入力し、「新しいパスワード」(パスワード再入力)欄にパスワード (任意の文字列)を入力し、【変更】をクリックする
 ※: 「Web PW」は、本体の底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) に表示されています。
 ・パスワードに使用できる文字は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」を開くときに必要となります。忘れないように控えておいてください。
- 5 「本製品をご利用にあたってのお願い」画面が表示されたら、内容を確認して【はい】または【いいえ】をクリックする
 品質情報を製造元 (NEC プラットフォームズ (株)) ヘレポート送信するかどうかの確認です。
- 6 「Wi-Fi 暗号化強化機能について」画面が表示されたら、【はい】または【いいえ】をクリックする
 【はい】を選択すると、Wi-Fi 暗号化強化機能を OFF にします。

memo

◎手順 5 と 6 の画面は、本製品をご使用開始時 (または初期化したあと) に、クイック設定 Web の詳細設定にログインしたときに表示されます。

詳細設定のトップページ設定画面



- ① 設定メニュー
 - ・ ネットワーク設定
 - ・ Wi-Fi 設定
 - ・ 詳細設定
 - ・ メンテナンス
 - ・ 情報
- ② 設定用 QR コード

3章 無線LAN (Wi-Fi®) 接続 / Ethernetケーブル接続

3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する.....	25
3-2 Ethernet ケーブル (市販品) で接続する	35

3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する

■ 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能について

本製品は IEEE802.11a/b/g/n/ac の無線 LAN (Wi-Fi®) 規格に準拠しており、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (パソコンやスマートフォン、ゲーム機など) を無線 LAN (Wi-Fi®) で接続して、データ通信ができます。また、本製品の WPS ボタンを使うことで WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能に対応している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に簡単に接続することができます。

WPS 機能に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末でも、本製品に設定されたネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (パスワード) を入力するだけで接続できます。

本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キー (パスワード) は、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) から確認できます。本製品のネットワーク名 (SSID) は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で別のネットワーク名 (SSID) を使用しています。

なお、本製品の工場出荷時状態におけるネットワーク名 (SSID) は、以下の通りです。

- ・「WXHM_N31_XXXXXX-g」(2.4GHz)
- ・「WXHN_N31_XXXXXX-a」(5GHz)

お客様が変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線 LAN (Wi-Fi®) ネットワークですので接続しないよう注意してください。

ここでは、本製品と Windows パソコン、Mac、スマートフォン、iPhone / iPod touch / iPad / iPad mini、ニンテンドー 3DS、PlayStation® Vita、WPS 対応機器を初めて無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する場合の操作について説明しています。

memo

- 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続のための設定は、本製品と各無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、2 回目以降、自動的に接続が再開されます (無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。
- 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は無線 LAN (Wi-Fi®) 接続の設定を行うと、周辺に設定済みの接続可能な Wi-Fi ネットワークがあると、自動的に Wi-Fi ネットワークに接続されます。周辺に設定済みの接続可能な Wi-Fi ネットワークが複数ある場合は、最後に設定した Wi-Fi ネットワークに接続されます。
- 必要に応じて、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「8 章 機能設定」(▶ P.57) を参照してください。
- セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名 (SSID) および暗号化キー (パスワード) を変更してお使いいただくことをおすすめします。変更のしかたは「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.52) を参照してください。
- 本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を同時に 20 台 (2.4GHz 帯 / 5GHz 帯で各 10 台) まで接続することができます。
- 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。
- 本製品の「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」の ESS-ID ステルス機能が有効になっていると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末で本製品を検出できません。ESS-ID ステルス機能については、「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.52) を参照してください。

■ SSID について

本製品はマルチ SSID 機能に対応し、4 つのネットワーク名 (SSID) があります。暗号化方式によって使用する「SSID」「WPA Key」「WEP Key」が異なります。

- ・ ネットワーク名 (プライマリ SSID) : 暗号化方式が WPA2/WPA で接続するときには使用します。
クイック設定 Web に無線 LAN (Wi-Fi®) で接続するときには使用します。
- ・ WPA 暗号化キー (PSK) : 暗号化方式が WPA2/WPA で接続するときには使用する暗号化キー (パスワード) です。
- ・ ネットワーク名 (セカンダリ SSID) : 暗号化方式が WEP で接続するときには使用します。
- ・ 暗号化キー (WEP キー) : 暗号化方式が WEP で接続するときには使用する暗号化キー (パスワード) です。

※通信の安全性を高めるためには、暗号化方式を WEP よりも WPA2/WPA で設定することをおすすめします。ただし、一部のゲーム機などでは WPA2/WPA で接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.52) を参照してください。

・セカンダリ SSID (WEP) について

一部のゲーム機などで、無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティ設定が「プライマリ SSID (WPA2/WPA)」に対応していない場合は、「セカンダリ SSID (WEP)」で無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する必要があります。

本製品では、お買い上げ時の状態で「セカンダリ SSID (WEP)」はご利用になれません。無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティ設定でセカンダリ SSID 設定を ON にしてください。

詳しくは、「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.63) を参照してください。

・工場出荷時設定

本製品は、4 つのネットワーク名 (SSID) があります。暗号化方式によって使用する SSID が異なります。

- ・ プライマリ SSID (2.4GHz)
- ・ プライマリ SSID (5GHz)
- ・ セカンダリ SSID (2.4GHz) (WEP)
- ・ セカンダリ SSID (5GHz) (WEP)

■ 5GHz 帯の使用について

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi®) に 5GHz 帯を利用します。以下の確認事項があります。

・DFS 機能

本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯での電波干渉を避けるため、法令 (電波法) により、DFS 機能を搭載しています。本製品が利用する無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz の周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。

そこで、本製品が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS 機能が作動し、電波干渉を起こさない無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。

周囲に同じ無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を使っている無線 LAN (Wi-Fi®) 端末などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなる場合があります。

・DFS チェックについて

無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯の「W56」(5.6GHz 帯) を利用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがいないかを最低でも 1 分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFS チェック」と呼びます。本製品の電源を入れたときなどに、DFS チェックが作動します。DFS チェック中は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能の 5GHz 帯使用が一時的に停止され、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再開するまでに 1 分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。本製品に接続している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で再接続の操作を行ってください。

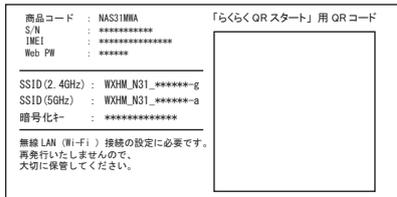
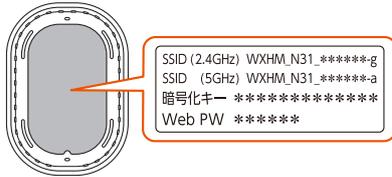
* DFS チェックの結果によっては、さらに時間がかかる場合があります。

memo

- ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に対応しているかご確認ください。
- 以下の場合には、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再起動することがあります。
 - ・ Wi-Fi® の設定項目を変更するとき

無線 LAN (Wi-Fi®) 情報を確認する

- 1 本体底面のラベルまたは同梱の「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) で、無線 LAN (Wi-Fi®) 情報を確認する



[Wi-Fi 情報 (初期値)]

下記の「xxx...」「yyy...」は端末ごとに違う値です。

ネットワーク名	暗号化キー (パスワード)	暗号化
プライマリ SSID (2.4GHz)	WXHM_N31_XXXXXX-g	AES
プライマリ SSID (5GHz)	WXHM_N31_XXXXXX-a	
セカンダリ SSID (2.4GHz)	WXHM_N31_XXXXXX-g_2	WEP(128bit)
セカンダリ SSID (5GHz)	WXHM_N31_XXXXXX-a_2	

■ セカンダリ SSID (WEP) について

本製品には 4 つのネットワーク名「プライマリ SSID (2.4GHz)」「プライマリ SSID (5GHz)」「セカンダリ SSID (2.4GHz)」「セカンダリ SSID (5GHz)」があります。

AES に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (ニンテンドー DS など) は、「セカンダリ SSID (WEP)」に接続する必要があります。

本製品では、工場出荷時の状態で、「セカンダリ SSID (WEP)」はご利用できません。

クイック設定 Web にて、セカンダリ SSID を有効にしてください。

(▶ P.64, P.65)

■ 暗号化キー

暗号化キーは、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。

初期値は、半角英数 13 桁 (0 ~ 9, a ~ f を使用) に設定されています。

- アルファベットの大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。
- 「b」(ビー) と 「6」(ロク) を間違えないようご注意ください。なお 「G」(ジー)、 「l」(アイ)、 「I」(エル)、 「O」 「o」(オー) は使用していません。
- 暗号化モードが WEP の場合は、下記を参考に設定してください。
 - キーは自動的に提供されません。また、キーインデックスは「1」となります。
 - IEEE802.1X は使用していません。
 - 暗号化キーを 26 桁 (16 進数) で入力する場合は、下表を参照して、英数字を 16 進数に読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

読み替え例：

0123456789abc → 30313233343536373839616263646566

- 暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
 [8 ~ 63 桁の場合] 英数記号 (0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(,	:	>]	{	

- 「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。
 [64 桁の場合] 16 進数 (0 ~ 9, a ~ f, A ~ F)

らくらく QR スタートを利用して無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する

ここでは、本製品の専用アプリをスマートフォンにダウンロードして、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する方法を説明します。

- 1 スマートフォンアプリ「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロードし、インストールする

Google Play ストアや App Store から「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロードする。



(2019 年 3 月現在)

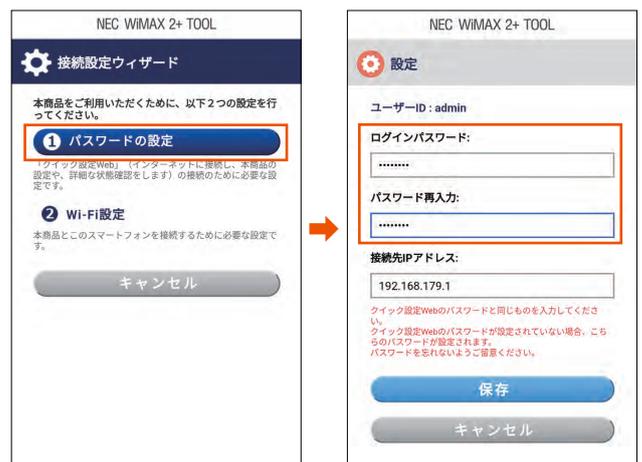
- 2 スマートフォンのホーム画面から「NEC WiMAX 2+ Tool」のアイコンをタップして起動する

- 3 アプリのトップ画面で「接続設定ウィザード」の⚙️をタップする



- 4 パスワードを設定する

[①パスワードの設定] をタップして、設定画面で、「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) の「Web PW」を入力する。



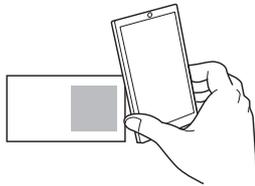
5 Wi-Fi 設定をする

- 5-1 ② Wi-Fi 設定 をタップして、確認画面で [OK] をタップする



- 5-2 しばらくするとカメラビューが表示される

- 5-3 カメラビューで同梱の「らくらく QR スタート用 QR コード」を読み取る



以降、画面表示に従って、設定を進めてください。

6 接続確認する

スマートフォンのステータスバーに Wi-Fi アイコンが表示されたら、設定完了です。

memo

◎ 本製品のプライマリ SSID とパスワード（セキュリティキー）は、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード（シール）（同梱品）から確認できます。

WPS 機能を利用して Wi-Fi® 接続する

WPS 機能のプッシュボタン方式に対応している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末であれば、接続するために必要な SSID やセキュリティ方式などを入力することなく、簡単な操作で設定できます。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などをご覧ください。

Windows パソコンを接続する

Windows 10 で WPS 機能による接続方法と手動で接続する方法を説明します。

■ WPS 機能で接続する

1 パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする

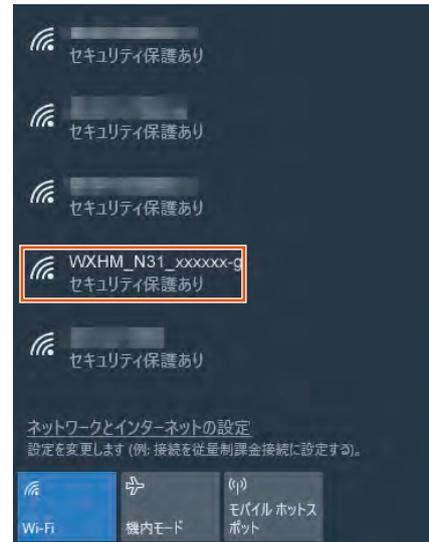
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

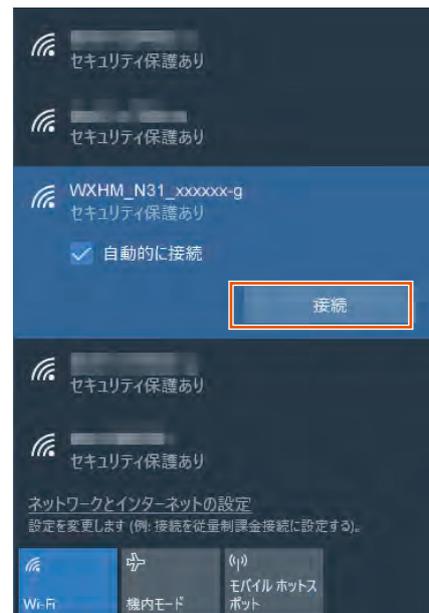


3 ネットワークの一覧の中から、本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

本製品のネットワーク名 (SSID) は、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード（シール）（同梱品）から確認してください。（▶ P.26）



4 「自動的に接続」にチェックマークを付けて、[接続] をクリックする



5 本体背面の WPS ボタンを押し、正面の Status ランプが緑点滅したら離す

WPS ボタンを押し時間周波数帯（2.4GHz 帯 / 5GHz 帯）を選択できます。

- 2.4GHz 帯：WPS ボタンを 2 秒以上長押しし、Status ランプが緑点滅（速）したら離す
- 5GHz 帯：WPS ボタンを 5 秒以上長押しし、Status ランプが緑点滅（遅）したら離す

memo

◎ 本体正面の Status ランプが約 5 秒間オレンジ点滅（遅）した場合は設定に失敗しています。

■ 手動で接続する

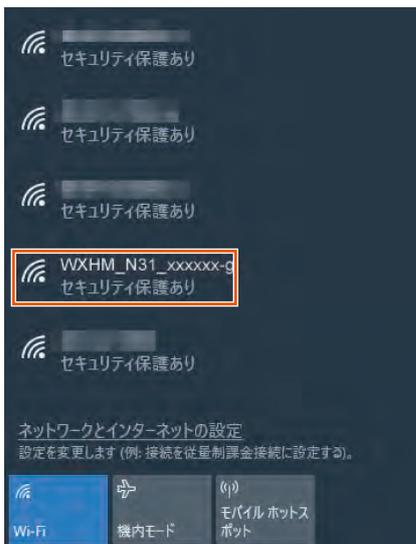
- 1 パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする



- 3 ネットワークの一覧の中から本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

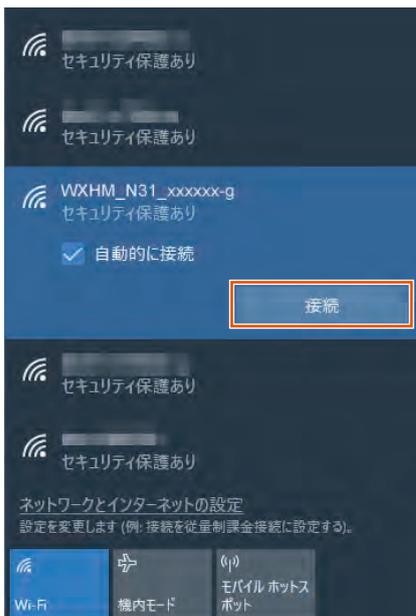
本製品のネットワーク名 (SSID) は、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から確認してください。(▶ P.26)

※Wi-Fi 設定お引越し機能ご使用の場合は、今までお使いのルータのネットワーク名 (SSID) を選択してください。



- 4 [接続] をクリックする

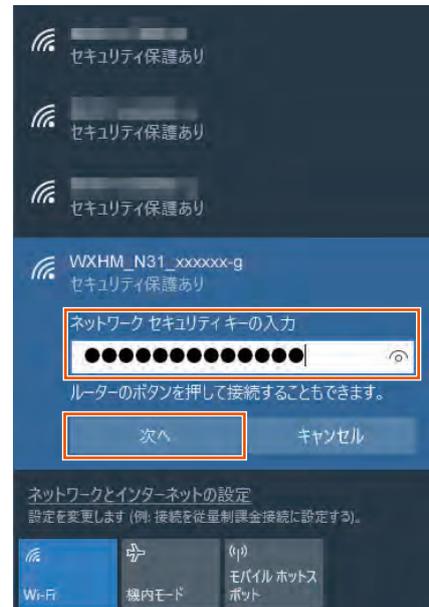
「自動的に接続」にチェックを入れておくと、次の接続からは自動的に接続されます。



- 5 本製品の暗号化キーを入力し、[次へ] をクリックする

本製品の暗号化キーは、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から確認してください。(▶ P.26)

※Wi-Fi 設定お引越し機能ご使用の場合は、今までお使いのルータの暗号化キーを入力してください。



Mac を接続する

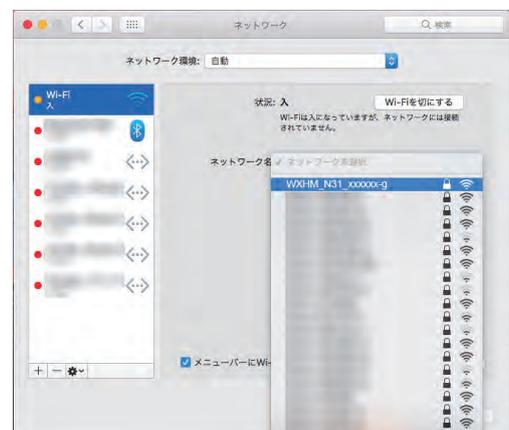
macOS 10.13 を手動で接続する方法を説明します。

■ 手動で接続する

- 1 パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 アップルメニューの [システム環境設定] - [ネットワーク] アイコンをクリックする
- 3 サービスリストから [Wi-Fi] を選択する
- 4 [ネットワーク名] のプルダウンメニューで本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

本製品のネットワーク名 (SSID) は、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から確認してください。(▶ P.26)

※Wi-Fi 設定お引越し機能ご使用の場合は、今までお使いのルータのネットワーク名 (SSID) を選択してください。



- 5 [パスワード] に本製品の暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

本製品の暗号化キーは、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から確認してください。(▶ P.26)

※Wi-Fi 設定お引越し機能ご使用の場合は、今までお使いのルータの暗号化キーを入力してください。



- 6 「状況」に「接続済み」と表示される



- 7 画面を閉じる

スマートフォン／タブレット (Android 端末) を接続する

Android 端末でらくらく QR スタートで設定する方法と手動で接続する方法を説明しています。

■ らくらく QR スタートで設定する

- 1 Play ストアで「Aterm らくらく QR スタート for Android」のアプリを検索して、ダウンロードおよびインストールする
下記の「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイトにアクセスしてもダウンロードできます。(2019 年 3 月現在)

<http://qr.aterm.jp/>

memo

◎「Aterm らくらく QR スタート」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイト (▶ 上記) でご確認ください。2019 年 3 月現在では、Android 端末 (対応 OS : Android 9.0/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0/4.4) でのご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のパケット通信料はお客様ご負担となります。

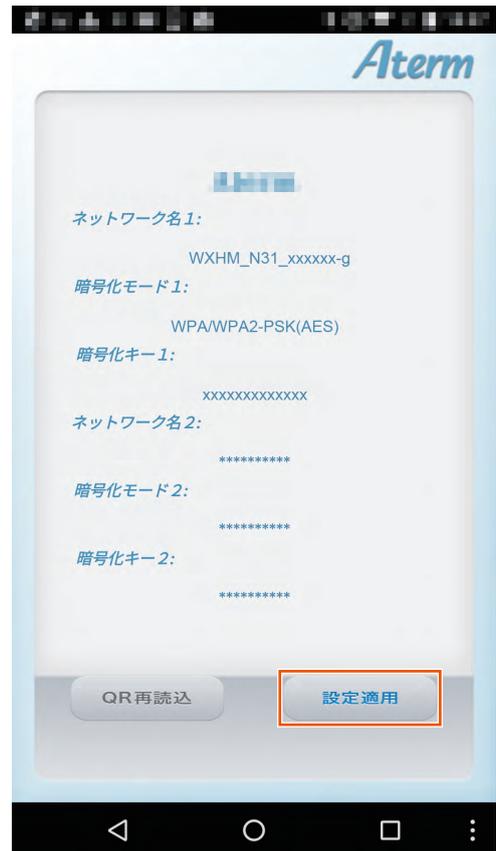
- 2 ホーム画面から、「Aterm らくらく QR スタート」のアイコンをタップしてアプリを起動する



- 3 カメラビュー画面で、「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から Wi-Fi 設定用 QR コードを読み取る

• 設定用 QR コードは、クイック設定 Web でも表示できます。(▶ P.46)

- 4 [設定適用] をタップする



- 5 接続が完了する

- 6 [OK] をタップする

- 7 Android 端末のステータスバーに、Wi-Fi® のアイコンが表示されたら、接続完了

■ 手動で接続する

以下は、接続例です。Android 端末の取扱説明書などを参照してください。

- 1 Android 端末を起動し、[設定] をタップする
2 [Wi-Fi] を [ON] にしてから [Wi-Fi] をタップする
3 ネットワーク一覧画面より、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップする

本製品のネットワーク名 (SSID) は、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から確認してください。(▶ P.26)

※Wi-Fi 設定お引越し機能ご使用の場合は、今までお使いのルータのネットワーク名 (SSID) を選択してください。

4 本製品の暗号化キー（半角小文字）を入力する

本製品の暗号化キーは、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード（シール）（同梱品）から確認してください。（▶ P.26）

※Wi-Fi 設定お引越し機能ご使用の場合は、今までお使いのルータの暗号化キーを入力してください。

5 [接続] をタップする**6** Android 端末のステータスバーに Wi-Fi® のアイコンが表示されたら、接続完了

iPhone/iPod touch/iPad/ iPad mini を接続する

iOS 端末でらくらく QR スタートで設定する方法と手動で接続する方法を説明しています。

らくらく QR スタートで設定する**1** App Store で「Aterm らくらく QR スタート for iOS」のアプリを検索して、ダウンロードおよびインストールする

下記の「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイトにアクセスしてもダウンロードできます。（2019 年 3 月現在）

<http://qr.aterm.jp/>

memo

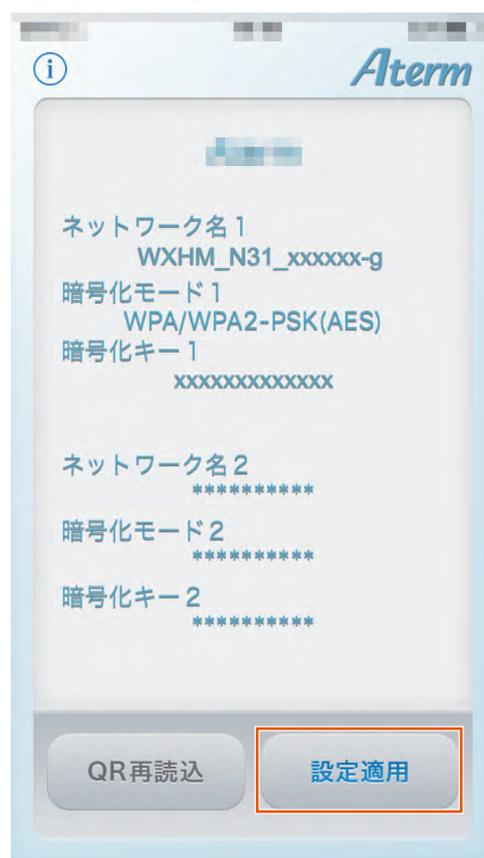
©「Aterm らくらく QR スタート」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン/タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイト（▶上記）でご確認ください。2019 年 3 月現在では、iOS 端末（対応 OS：iOS 12.0/11.4/11.3/11.2/11.1/11.0/10.3/10.2/10.1/10.0/9.3/9.2/9.1/9.0/8.3/8.2/8.1/8.0）でのご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のパケット通信料はお客様ご負担となります。

2 ホーム画面から [設定] をタップし、[機内モード] をオフに、[Wi-Fi] をオンにする**3** ホーム画面から「Aterm らくらく QR スタート」のアイコンをタップして、[OK] をタップする

起動後、しばらくするとカメラビューが表示されます。

**4** カメラビュー画面で、「らくらく QR スタート」用 QR コード（シール）（同梱品）から Wi-Fi 設定用 QR コードを読み取る

• 設定用 QR コードは、クイック設定 Web でも表示できます。（▶ P.46）

5 [設定適用] をタップする**6** [OK] をタップする

7 [インストール] をタップする**8** [インストール] をタップする**9** [インストール] をタップする**10** [完了] - [OK] をタップする**11** ステータスバーに Wi-Fi® のアイコンが表示されたら、接続完了**■ 手動で接続する****1** ホーム画面から [設定] をタップし、[機内モード] をオフに、[Wi-Fi] をオンにする**2** ネットワーク一覧画面より、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップする

本製品のネットワーク名 (SSID) は、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から確認してください。(▶ P.26)

※Wi-Fi 設定お引越し機能ご使用の場合は、今までお使いのルータのネットワーク名 (SSID) を選択してください。

3 [パスワード] に本製品の暗号化キー (半角英数) を入力し、[Join] をタップする

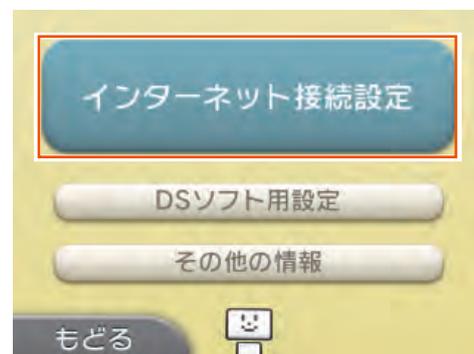
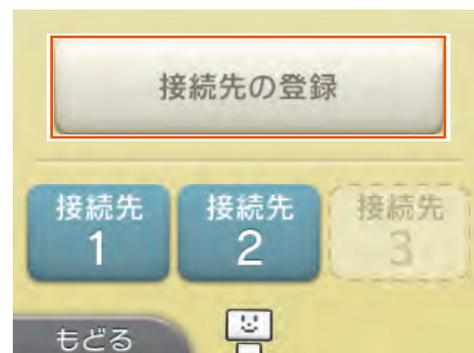
本製品の暗号化キーは、本体底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から確認してください。(▶ P.26)

※Wi-Fi 設定お引越し機能ご使用の場合は、今までお使いのルータのネットワーク名 (SSID) を選択してください。

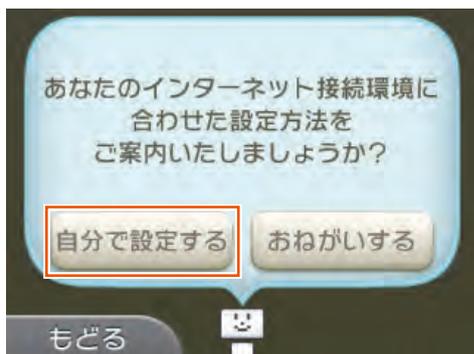
4 ステータスバーに Wi-Fi® のアイコンが表示されたら、接続完了**ニンテンドー 3DS を接続する**

ニンテンドー 3DS を WPS 機能で接続する方法を説明します。

事前に、ニンテンドー 3DS 本体の無線機能が「ON」になっていることをご確認ください。

1 ニンテンドー 3DS の HOME メニューから [本体設定] を選択し、[はじめる] を選択する**2** [インターネット設定] を選択する**3** [インターネット接続設定] を選択する**4** [接続先の登録] を選択する

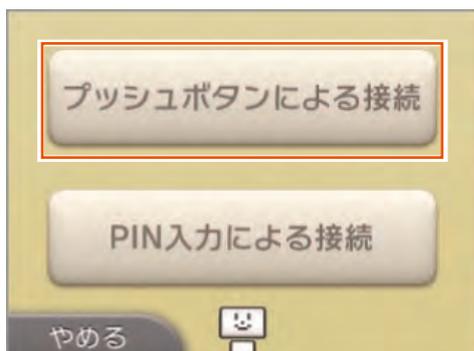
5 [自分で設定する] を選択する



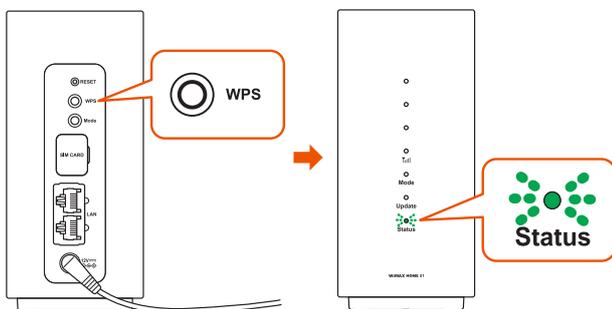
6 ニンテンドー 3DS の [Wi-Fi PROTECTED SETUP] を選択する



7 [プッシュボタンによる接続] ボタンをタップする



8 本体背面の WPS ボタンを約 2 秒間長押しし、本体正面の Status ランプが緑点滅 (速) したら離す



※ WPS ボタンを 5 秒以上長押しすると Status ランプが緑点滅 (遅) となり、正しく接続できないことがあります。その場合は、本製品の電源を切り、再度入れてから接続し直してください。

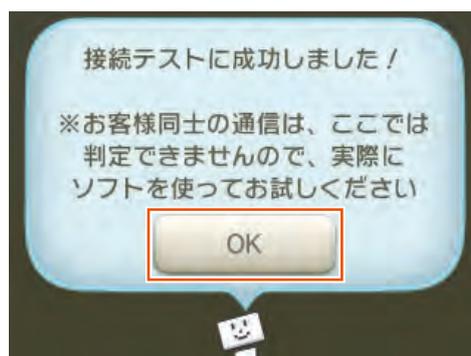
9 しばらくすると、本体正面の Status ランプが緑点灯になる

10 [OK] をタップする

接続テストが実行される



11 接続テストが成功したら、[OK] をタップする



PlayStation® Vita を接続する

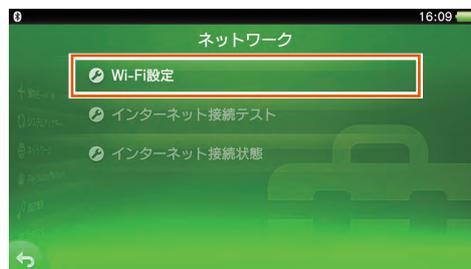
PlayStation® Vita を WPS 機能で接続する方法を説明します。

1 PlayStation® Vita のホーム画面より [設定] を選択し、[設定] を選択する

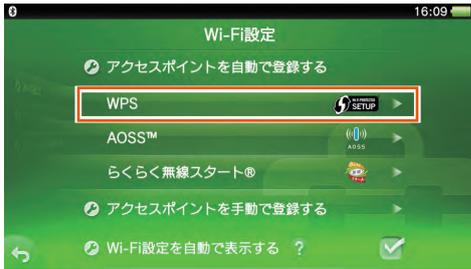
2 [ネットワーク] を選択する



3 [Wi-Fi 設定] を選択する



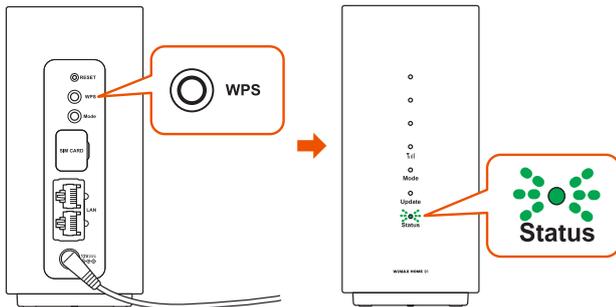
4 [WPS] を選択する



memo

◎ 選択できない場合は、[Wi-Fi] にチェックを入れたあと、[WPS] を選択してください。

5 本体背面の WPS ボタンを約 2 秒間長押しし、本体正面の Status ランプが緑点滅 (速) したら離す



※ WPS ボタンを 5 秒以上長押しすると Status ランプが緑点滅 (遅) となり、正しく接続できないことがあります。その場合は、本製品の電源を切り、再度入れてから接続し直してください。

6 しばらくすると、本体正面の Status ランプが緑点灯になる

7 PlayStation® Vita の [OK] をタップする

WPS 機能対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する

本製品は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能に対応した無線 LAN (Wi-Fi®) の自動設定を行うことができます。

設定するには、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側も WPS 機能に対応している必要があります。

WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN (Wi-Fi®) の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

- 本体背面の WPS ボタンによる設定 (▶ 下記)
- PIN 方式による設定 (▶ 右記)

memo

◎ 本製品の設定で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」(▶ P.52) にチェックがはっていると、WPS 機能での設定に失敗します。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.63)

◎ WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。

本体背面の WPS ボタンによる設定

本体背面の WPS ボタンで WPS 機能を起動させて無線 LAN (Wi-Fi®) 接続します。設定方法は、「Windows パソコンを接続する」(▶ P.27) を参照してください。

設定の際は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は近くに置いた状態で設定してください。(目安: 1m 程度)

memo

◎ 本製品の設定で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.66)

PIN 方式による設定

PIN 方式を使って、本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に設定します。

memo

◎ 本製品の設定で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.66)

- 1 パソコンと本製品を Ethernet ケーブル (市販品) または無線 LAN (Wi-Fi®) で接続します。
- 2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く
- 3 [詳細設定 TOPへ] ボタンをクリックする
- 4 ログイン画面が表示されたらユーザー名と、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。
- 5 「Wi-Fi 設定」 - 「WPS 設定」をクリックする
- 6 「WPS 周波数」を選択する
- 7 「Wi-Fi 端末の PIN コード」に無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードを入力する
無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。



8 [WPS (PIN 方式)] をクリックする



<画面は参考例です>

9 [OK] をクリックする

- 10 パソコンから Ethernet ケーブル（市販品）を取り外す、または無線 LAN (Wi-Fi®) 接続を解除して、10 秒待つ
- 11 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で WPS 機能を起動する
起動方法については、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。
- 12 本体正面の Status ランプが緑点灯し、設定が完了するので、クイック設定 Web を終了する

3-2 Ethernetケーブル(市販品)で接続する

本製品とパソコンを Ethernet ケーブル（市販品）で接続して、データ通信ができます。

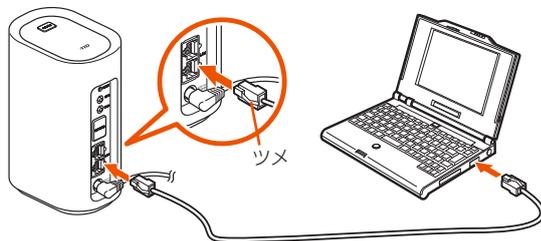
- Ethernet ケーブル（市販品）は、カテゴリ 5e 以上のケーブルをご使用ください。
- 接続方法は、パソコンや Ethernet ケーブルの取扱説明書なども参照してください。

本製品とパソコンを Ethernet ケーブル（市販品）で接続する

データの送受信が終了していることを確認してください。

1 本製品の LAN 接続端子とパソコンの LAN コネクタを Ethernet ケーブル（市販品）で接続する

- コネクタ先端の形状と向きを確認し、まっすぐにカチッと音がするまで差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。



本製品とパソコンから Ethernet ケーブルを取り外す

データの送受信が終了していることを確認してください。

1 Ethernet ケーブルのツメを押さえながら、本製品の LAN 接続端子とパソコンの LAN コネクタから Ethernet ケーブルを取り外す

4章 WAN側回線の接続設定

4-1 WAN側回線接続	37
4-2 通信モードを切り替える	38

4-1 WAN 側回線接続

本製品は、初期値で指定の WAN 側回線のプロファイル（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）が設定されていますので、通常はそのままお使いいただけます。プロファイルの新規設定や編集が必要な場合は以下の方法で設定を行ってください。

memo

- ◎ インターネット接続に必要な接続設定情報（ユーザー名、パスワード等）が指定されている場合は、以下の手順に従いプロファイルの追加を行ってください。
- ◎ 本製品にあらかじめ設定されているプロファイル（プロファイル名「Internet」）でインターネットの接続ができます。

接続先設定方法

クイック設定 Web で設定します。

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- ・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.59)を参照してください。

5 [ネットワーク設定] - [プロファイル設定] をクリックする

6 [プロファイルリスト] で [no setup] を選択後、アクセスポイント名 (APN) などの設定情報を入力し、[設定] をクリックする

- ・ 表示内容はグレーアウトされている場合があります。
- ・ ご不明な点は au ショップ、トヨタ au 取扱店もしくはお客さまセンターにお問い合わせください。



7 [ネットワーク設定] - [接続設定] をクリックする

8 プロファイル選択で、上記で設定したプロファイルを選択し、[設定] をクリックする

4-2 通信モードを切り替える

WAN 側回線の電波受信レベルが不安定なときや圏外のために、通信モードを切り替えると電波受信レベルが上がり、安定した WAN 側回線接続ができる場合があります。

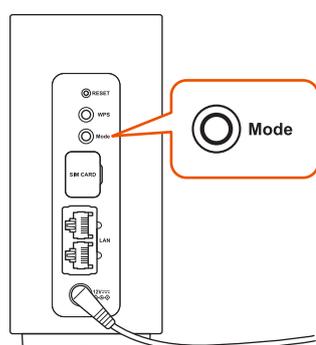
本製品は、通信モードとして、次のものがあります。

	ハイスピード	ハイスピードプラスエリア
WiMAX 2+	○	○
LTE	—	○

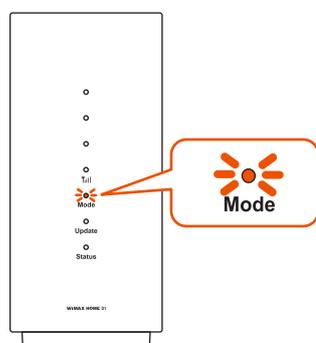
※初期設定は、「ハイスピード」モードです。「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替えるとお客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。

「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替える

- 1 本体背面の Mode ボタンを 2 秒以上長押しする



- 2 本体正面の Mode ランプがオレンジ点灯したら、Mode ボタンを離す



約 10 秒後に Tail ランプが緑点灯します。

memo

- 「ハイスピード」モードに戻すときは、Mode ボタンを 2 秒以上長押しします。本体正面の Mode ランプが緑点灯します。
- 通信モード切り替えに失敗したときは、Mode ランプがオレンジ点滅（速）（約 5 秒間）します。もう一度やり直してください。
- 通信モードの切り替えは、クイック設定 Web でも設定できます。（P.61、P.82）

5章 便利な機能

5-1 スマートフォンアプリを使う	40
5-2 通信量カウンターを確認する	43
5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う	45
5-4 らくらく QR スタートを使う	46
5-5 最適な設置場所を探す	47
5-6 ランプ消灯機能	48
5-7 自動再起動機能	49
5-8 その他の便利な機能	50

5-1 スマートフォンアプリを使う

本製品の情報を、スマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX 2+ Tool」で確認することができます。
ファームウェアの更新やインターネットの接続先切り替えなどを画面操作で行うこともできます。

「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロード／インストールする

- 1 スマートフォンなどから、Google PlayストアやApp Storeで「NEC WiMAX 2+ Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードページを開く



(2019年3月現在)

- 2 ダウンロードページから「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロードおよびインストールする

- 3 「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動する

「Wi-Fiの通信性能を最適にしますか？」メッセージが表示したときは、[はい] をタップすると、「Wi-Fi 暗号化強化」をOFFにします。
[いいえ] をタップするとメッセージを再表示しません。

接続設定ウィザード (らくらく QR スタート)

本製品とスマートフォンなどとの接続が切断されている場合、「接続設定ウィザード」の  ボタンが青色で表示します。「接続設定ウィザード」の  ボタンをタップすると、Wi-Fi 接続設定を開始し、らくらく QR スタート機能を使って本製品と接続できます。

- ・ クイック設定 Web のパスワードが必要です。



カメラビュー画面で、「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) (同梱品) から Wi-Fi 設定用 QR コードを読み取る。

- ・ らくらく QR スタート機能での接続方法は、「スマートフォン/タブレット

(Android 端末) を接続する) (▶ P.29)、「iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する) (▶ P.30) を参照してください。

memo

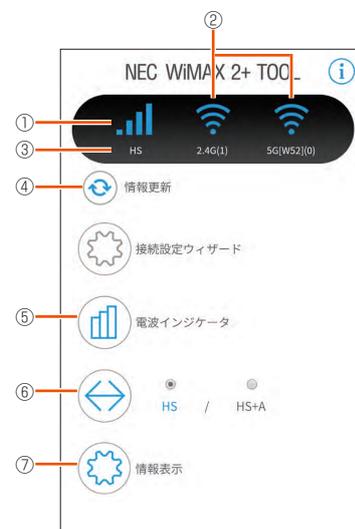
- ◎ 本製品との通信に失敗、もしくは、本製品側が処理中で情報の取得ができなかった場合は、エラーが表示されるので、「情報更新」をタップして情報取得してください。
- ◎ スマートフォンアプリのメニューや機能は、バージョンアップによって変更される場合があります。

情報表示

情報は、一定間隔で更新されます。現在のステータスを確認したい場合は、「NEC WiMAX 2+ Tool」アプリのメイン画面で「情報更新」をタップしてください。

本製品とスマートフォンなどとの接続が切断されている場合は、「情報更新」をタップしても、情報が更新されません。接続し直してください。表示内容は参考です。OS やバージョンによって異なります。

メイン画面



< Android 端末の画面例 >

- 1 アンテナレベル (アンテナバーで表示)

WAN 側回線の信号の強度を 4 段階で表示します。(圏外の場合は、アイコン表示しません。)

- 2 LAN 側情報

無線 LAN (Wi-Fi[®]) の状態 (2.4GHz 帯と 5GHz 帯それぞれの電波状態および接続している無線 LAN (Wi-Fi[®]) 帯域) と接続している無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の台数を表示します。

- 3 通信モード

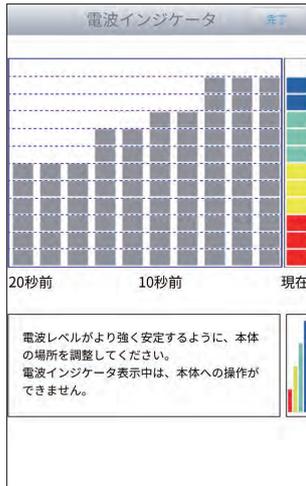
利用している通信モード (HS (ハイスピードモード) / HS+A (ハイスピードプラスエリアモード)) を表示します。

- 4 情報更新

手動で情報を取得できます。

⑤ 電波インジケータ

WiMAX 2+/LTE 回線の電波レベルの変動状況をグラフ表示します。



< Android 端末の画面例 >

⑥ 通信モード切り替え

HS (ハイスピードモード) / HS+A (ハイスピードプラスエリアモード) から選択します。

接続しているモードが青文字で表示されます。

接続したいモードをタップして選択し、 をタップして切り替えができます。

⑦ 情報表示

情報表示画面を表示します。

memo

○ アプリを起動したときに「管理者パスワードが設定されていません。管理者パスワードを設定してください。」と表示された場合は、画面の案内に従って設定を行ってください。

- ・ 管理者パスワードは、本製品を設定するときに必要となりますので控えておいてください。忘れた場合は、クイック設定 Web 画面を開くことができず、本製品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

以下は情報表示をタップすると表示され、[完了] をタップして戻ります。



< Android 端末の画面例 >

⑧ WAN 側 IP 情報

WAN 側 IP アドレスを表示します。

⑨ ファームウェアバージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

⑩ データ通信量

日次通信量のデータ通信量を表示できます。

前日までの3日間の通信量と本日までの3日間の通信量および上限値を表示します。

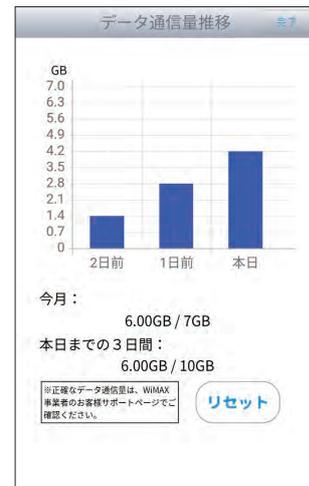
また、クイック設定 Web の「通信量カウンター」(▶ P.62) で、設定値を変えることができます。

⑪ グラフ

[グラフ] をタップすると、データ通信量推移 (本日までの3日間) のグラフを表示します。

今月のデータ通信量も確認できます。

[リセット] をタップすると、データ通信量をクリアします。



< Android 端末の画面例 >

⑫ 再起動

再起動するときはタップします。

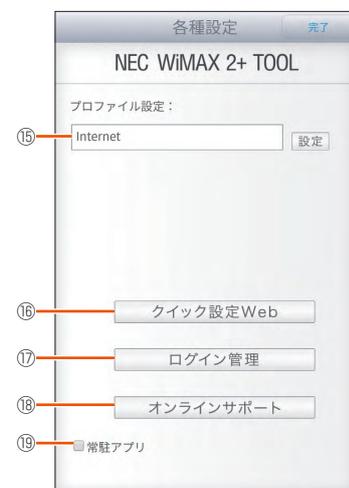
⑬ WAN 側通信確認

インターネットに接続しているか確認する場合にタップします。

⑭ 各種設定

プロファイルや通信モードなどの設定ができます。

以下は、⑭各種設定で実行できるメニューが表示されます。



< Android 端末の画面例 >

⑮ プロファイル設定

プロファイルを設定します。

⑯ クイック設定 Web

モバイル用クイック設定 Web にアクセスします。

⑰ ログイン管理

ユーザー名と管理者パスワードの入力欄と IP アドレスが表示されます。

⑱ オンラインサポート

オンラインサポートページを表示します。

⑲ 常駐アプリ (Android 端末のみ)

チェックを入れると、スマートフォンなどのステータスバーに を表示します。

以下は、メイン画面で①ボタンをタップすると、バージョン情報で、情報が表示されます。



< Android 端末の画面例 >

② バージョン情報

NEC WiMAX 2+ Tool のバージョンが表示されます。

■ ファームウェアの更新

新しいファームウェアが存在している場合、アプリを起動すると、「新しいファームウェアがあります。クイック設定 Web を表示しますか?」と表示されるので、メッセージを確認し、[はい] をタップします。クイック設定 Web が起動するのでログインします。(▶ P.79) ファームウェア更新画面が表示されたら、[確認 / 更新] ボタンをタップし、ファームウェアの更新を完了してください。

! ご注意

- 「管理者パスワードが設定されていません。管理者パスワードを設定しますか?」と表示されたときは、画面の案内に従って設定を行ってください。
- 管理者パスワードは、本製品を設定するときに必要となりますので控えておいてください。忘れた場合は、クイック設定 Web 画面を開くことができず、本製品を初期化してすべての設定がやり直しになります。



< Android 端末の画面例 >

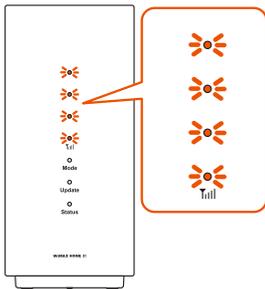
5-2 通信量カウンターを確認する

本製品は、データ通信量をカウントし、クイック設定 Web やスマートフォンアプリ「NEC WiMAX 2+ Tool」に表示します。

- 通信量カウンターは、月次通信量と日次通信量をカウントします。
- 通信モード（ハイスピードモード/ハイスピードプラスエリアモード）ごとに、カウンターをクイック設定 Web で設定できます。（▶ P.62）
- 日次通信量は、前日までの3日間の通信量と本日までの3日間の通信量および上限値を表示します。
- 設定したデータ通信量を超過すると、本体正面のTillランプがオレンジ点灯●します。（▶ P.12）

オレンジ点灯●するタイミングは、次の通りです。

- 月次通信量が「通知するデータ通信量設定」（初期値：6GB）を超えたとき（初期設定は通知設定が「通知しない」です。通知設定を「通知する」設定時に有効です。）
- 日次通信量が「上限値（3日間）」（初期値：10GB）を超えたとき



設定値は、クイック設定 Web の「通信量カウンター」（▶ P.62）で変更できます。

- 正確なデータ通信量は、au ホームページ（My au）でご確認ください。

データ通信量を確認する（スマートフォンアプリ）

- 1 スマートフォンアプリ「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動する

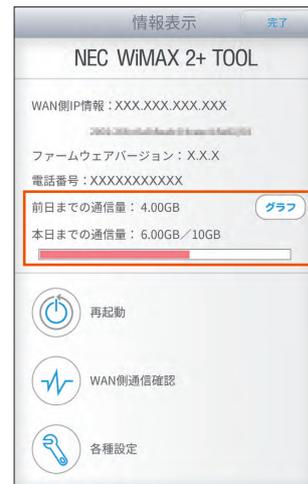


- 2 メイン画面で、「情報表示」の  をタップする



- 3 情報表示画面で、データ通信量を確認する

前日までの3日間の通信量、本日までの3日間の通信量および上限値を表示する。



- 4  をタップすると、データ通信量推移（本日までの3日間）のグラフを表示する

今月のデータ通信量も確認できます。



 をタップすると、データ通信量をリセットします。

- 5  をタップして、メイン画面に戻る

データ通信量を確認する（クイック設定 Web）

- 1 クイック設定 Web を起動する（▶ P.58、▶ P.79）
- 2 クイック設定 Web のトップページでデータ通信量（月次、日次）を確認する



(パソコンの画面)



(スマートフォンの画面)

5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う

「Wi-Fi 設定お引越し」機能を使うと、以前に使用していたルータの無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を、本製品へ引き継ぐことができます。無線 LAN (Wi-Fi®) 設定のやり直しなどの作業が不要です。2.4GHz 帯と 5GHz 帯、それぞれに設定できます。

memo

- ◎ これまでお使いのルータが WPS 機能に対応している必要があります。また、これまでお使いのルータの機能・設定内容（使用不可の文字や暗号化モードなど）によって、無線 LAN (Wi-Fi®) 設定が引き継がれない場合があります。
- ◎ これまでお使いのルータから引き継ぐ内容は、下記の通りです。
 - ・ SSID
 - ・ 暗号化モード
 - ・ 暗号化キー
 引き継いだ SSID は、プライマリ SSID に引き継ぎます。

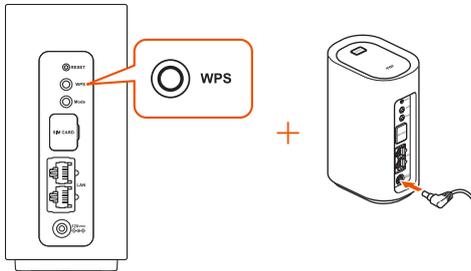
設定方法

1 本製品の電源を切る

本体背面の電源端子から AC アダプタの DC プラグをまっすぐに引き抜きます。

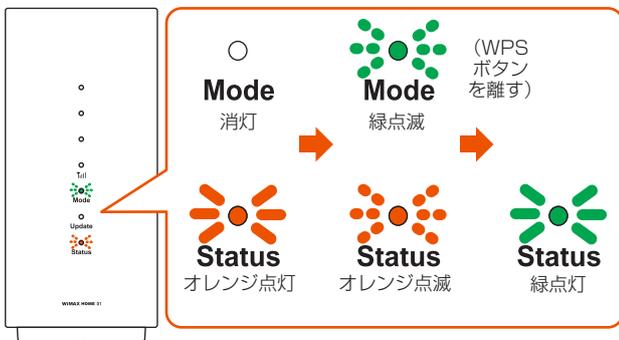


2 本体背面の WPS ボタンを押しながら電源を入れ、そのまま WPS ボタンを押し続ける（約 15 秒間）



本体正面の Mode ランプが緑点滅したら、WPS ボタンを離す

Status ランプが緑点灯するまでお待ちください。



3 Wi-Fi 設定お引越しする周波数帯（2.4GHz 帯・5GHz 帯）を決める

周波数帯によって、手順 5 のボタン操作が異なります。

4 これまでお使いのルータの WPS 機能を実行する

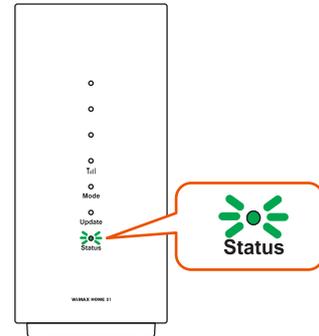
（WPS 機能の実行のしかたは、これまでお使いのルータの取扱説明書を参照してください。）

5 もう一度、本製品の WPS ボタンを長押しする（押している時間で、周波数帯を選べます）

Status ランプが緑点滅したら、離す。

周波数帯	WPS ボタンを押す時間	Status ランプ表示
2.4GHz 帯	2 秒以上	緑点滅（速 ●○○●○○）
5GHz 帯	5 秒以上	緑点滅（遅 ●○○●○○）

6 Status ランプが緑点灯することを確認する



7 別の周波数帯域の Wi-Fi 設定お引越しを行う

手順 3 ～手順 6 参照

Wi-Fi 設定お引越しする周波数帯が、どちらか一方の場合は、この手順は不要です。電源を切り、再度入れてください。

2 つの周波数帯域の Wi-Fi 設定お引越しが完了すると、約 5 秒後に自動的に再起動します。

Wi-Fi 設定お引越しは完了です。

8 これまでお使いのルータの電源を OFF にする

9 接続確認する

本製品に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の Web ブラウザを起動し、任意のサイトを表示し、インターネット接続を確認してください。

! ご注意

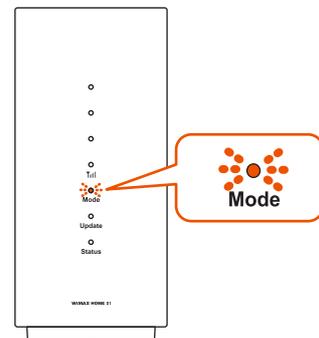
- Wi-Fi 設定お引越し機能で引き継いだ SSID と暗号化キー（パスワード）は、控えておいてください。本製品を初期化（▶ P.55）すると、工場出荷時の設定に戻ります。

memo

◎ これまでお使いのルータの暗号化モードが WEP のとき、暗号化なしの場合、SSID・暗号化キーに使えない記号、スペース文字が含まれている場合は、本機能は無効となります。

（使用できる文字は、「Wi-Fi 設定（2.4GHz）」（▶ P.63）、「Wi-Fi 設定（5GHz）」（▶ P.64）を参照してください。）

Status ランプが約 5 秒間オレンジ点滅（速）した場合、Wi-Fi 設定お引越しに失敗しています。再度行っても失敗するときは Wi-Fi 設定お引越しを行うための WPS 機能に対応していないことがありますので、手動で無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してください。



◎ クイック設定 Web から [Wi-Fi 設定] - [Wi-Fi 設定 (2.4GHz) または (5GHz)] - [Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定] - 「ネットワーク名 (SSID)」で、これまでお使いの SSID になっていることを確認できます。

memo

◎「Aterm らくらく QR スタート」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン/タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイト (<http://qr.aterm.jp/>) でご確認ください。2019年3月現在では、Android 端末 (対応 OS : Android 9.0/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0/4.4) および iOS 端末 (対応 OS : iOS 12.0/11.4/11.3/11.2/11.1/11.0/10.3/10.2/10.1/10.0/9.3/9.2/9.1/9.0/8.3/8.2/8.1/8.0) でご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のポケット通信料はお客様ご負担となります。

5-4 らくらく QR スタートを使う

スマートフォン/タブレット端末の場合、「Aterm らくらく QR スタート for Android」、「Aterm らくらく QR スタート for iOS」をご利用いただくと、Wi-Fi 設定用の QR コードを読み取るだけで、本製品へ簡単に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続することができます。

本製品では、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続に必要な設定用の QR コードを、クイック設定 Web から表示することができます。

クイック設定 Web で無線設定内容を変更した場合も、変更した内容の QR コードを表示できます。

下記の手順で、設定用 QR コードを表示し、スマートフォン/タブレット端末から無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してください。

- ・スマートフォン/タブレット (Android 端末) を接続する (▶ P.29)
- ・iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する (▶ P.30)

memo

◎スマートフォンアプリ「NEC WiMAX 2+ Tool」の設定ウィザードを利用した接続方法は、P.26 を参照してください。

クイック設定 Web で設定用 QR コードを表示する

QR コードはプライマリ SSID 用とセカンダリ SSID 用の 2 種類あります。

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名/管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- ・管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.59) を参照してください。

5 画面左のメニューにある [設定用 QR コード] ボタンをクリックする

[OK] をクリックすると設定用 QR コードを作成する Web サイトにリンクします。



6 画面に従って、設定用 QR コードを作成・表示する

5-5 最適な設置場所を探す

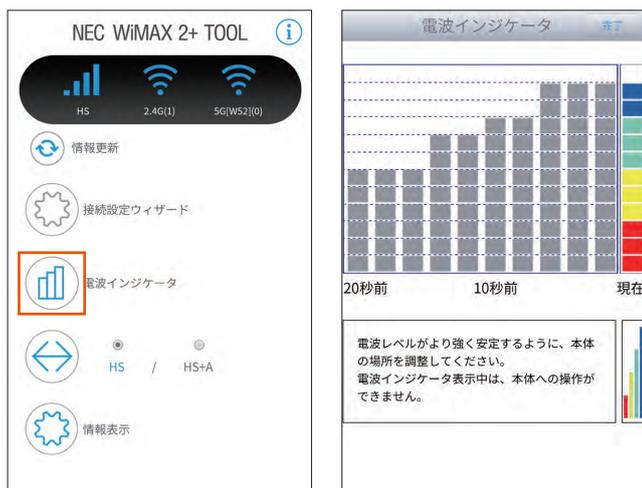
WAN 側の電波受信レベルを本体の 4 つの LED ランプ (4 つ) で表示します。

- LED ランプが 4 つの緑点灯 (受信レベル: 強度 4) をしていると電波受信強度が高い場所です。
- LED ランプが消灯し、Status ランプが赤点灯していると圏外です。

電波レベルを確認しながら、本製品の最適な設置場所を探ることができます。

スマートフォンアプリ「NEC WiMAX 2+ Tool」(▶ P.40) を使うと、さらに詳細な電波レベルと変動状況を確認できます。

操作方法: 「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動し、メイン画面で、「電波インジケータ」の  をタップ



< Android 端末の画面例 >

! ご注意

- 異常が発生した場合に直ちに電源を切れるように、電源プラグを容易に取り外せる場所にあるコンセントに AC アダプタを接続してください。
- 設置時には周囲に注意して設置してください。移動する際、AC アダプタやケーブルでお客様の家財 (花瓶、グラスなど) を引っかかないようにご注意ください。
- 設置の際、AC アダプタ本体を宙づりにしないでください。AC アダプタが本製品やコンセントから抜けやすくなったり、ケーブルが破損し AC アダプタ故障の原因となります。
- 設置の際、AC アダプタのケーブルがピンと張った状態で設置したり、宙に浮いた状態で設置したりしないでください。お客様やベッドなどがケーブルに引っかけて、けがの原因となります。また、ケーブルが本製品やコンセントから抜けたり、本製品が転倒・落下したりして故障の原因となります。

5-6 ランプ消灯機能

本体正面のランプの点灯方法を設定します。
クイック設定 Web の「ランプ点灯設定」で設定します。(▶ P.71)
(初期設定：点灯)

設定	説明
点灯	すべてのランプ（Tillランプ、Mode、Update、Status）を点灯する
Status ランプのみ点灯	Status ランプのみ点灯する
全消灯	すべてのランプ（Tillランプ、Mode、Update、Status）を消灯する

memo

- ◎ 「Status ランプのみ点灯」または「全消灯」を設定時、次のタイミングでランプを消灯します。
 - ・ 本製品のボタン操作が行われない状態が、3分経過後
- ◎ ランプ消灯後、再点灯させるには、任意のボタンを短押しします。
- ◎ 下記の条件では、ランプ消灯は無効となります。
 - ・ 電源を入れたとき
 - ・ 再起動したとき
 - ・ WAN 側回線が圏外するとき
 - ・ au IC カードが取り付けられていないとき、接続エラーのとき
 - ・ PIN 認証待ちのとき
 - ・ WPS 機能を使っているとき
 - ・ 通信モード切り替え中のとき
 - ・ データ通信量超過のとき
 - ・ 新ファームウェアがあるとき
 - ・ ファームウェア更新中のとき

ランプ消灯モードを変更する

- 1 クイック設定 Web の [詳細設定 TOP へ] をクリックまたはタップし、ログインする (▶ P.59)
- 2 ログイン画面が表示されたらユーザー名とパスワードを入力し [OK] をクリックまたはタップする
- 3 [詳細設定] - [その他の設定] をクリックまたはタップする
- 4 「ランプ点灯設定」の「ランプ消灯モード」で選択する



- 5 [設定] をクリックまたはタップする

5-7 自動再起動機能

定期的に本製品が自動で再起動する機能です。

クイック設定 Web の「自動再起動設定」で設定します。(▶ P.75)

(初期設定：自動再起動しない)

自動再起動設定時は、時刻を設定します。(初期値：3:00)

自動再起動する時間は、設定時刻から 1 時間以内です。

memo

◎ WAN 側回線に接続していて、現在時刻情報が取得できていることが必要です。

◎ 7 日に 1 回、設定時刻から 1 時間以内に通信を中断し、自動再起動します。

◎ 下記の条件では、設定時刻になっても自動再起動しません。

- ・ファームウェア更新中のとき

自動再起動を設定する

- 1 クイック設定 Web の [詳細設定 TOP へ] をクリックし、ログインする (▶ P.59)
- 2 ログイン画面が表示されたらユーザー名とパスワードを入力し [OK] をクリックする
- 3 [メンテナンス] - [再起動] をクリックする
- 4 「自動再起動設定」の「自動再起動」をチェックし、「再起動時刻」で、時刻を選択する



- 5 [設定] をクリックする

5-8 その他の便利な機能

IP パケットフィルタリング

あらかじめ設定した条件に従って、インターネットへ通過するパケットを制限する機能です。

不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

本製品では、「パケットフィルタエントリ」のパターンを最大50個設定できます。クイック設定 Web で設定します。(▶ P.68、▶ P.69)

ポートマッピング

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。

本機能によりグローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。

必要に応じて NAT エントリ設定をすることで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスド NAT 機能 (IP マスカレード /NAPT) が働いてネットワークゲームができなくなる場合があります。

これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、ネットワークゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

そのほか、本製品のルータ機能を使っている環境に Web カメラなどを設置して、外部からアクセスすることが可能です。

クイック設定 Web で設定します。(▶ P.70)

UPnP 機能

UPnP (ユニバーサル・プラグアンドプレイ) 機能を利用すると、NAT による IP アドレスやポート番号の変換を気にすることなく、UPnP 機能対応アプリケーションを複数のパソコンから同時にご利用いただけます。

本製品とパソコン側の設定が必要です。本製品の設定は初期設定で「使用しない」になっていますので、クイック設定 Web で、「UPnP 機能」にチェックを入れてください。(▶ P.71)

パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用できます。

Windows パソコンで UPnP 設定をする

Windows 10 の場合の例です。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックする
Windows 7 の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックする
- 3 [ネットワークと共有センター] をクリックする
- 4 [共有の詳細設定の変更] をクリックする
- 5 「ネットワーク探索を有効にする」にチェックして [変更の保存] または [適用] をクリックする
- 6 本製品の UPnP が正常に動作すると、「ネットワーク」に [WiMAX HOME router] アイコンが表示される

memo

© UPnP 機能は、Windows 10/8.1/7 のパソコンでのみご利用になれます。

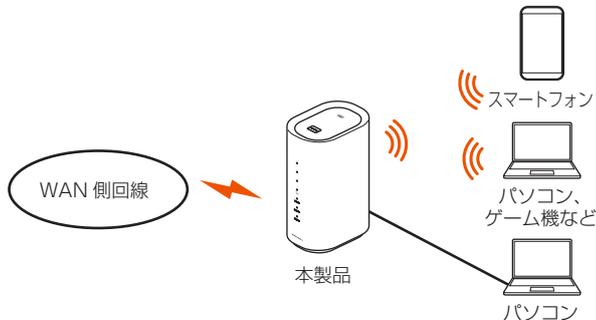
6章 セキュリティ対策をする

6-1 セキュリティ機能について	52
------------------------	----

6-1 セキュリティ機能について

セキュリティ機能について

本製品には、WAN 側からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能と、無線 LAN (Wi-Fi[®]) ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないためのセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの対策を行うことができます。セキュリティ対策の詳細については各ページを参照してください。



WAN 側セキュリティ

- IP パケットフィルタリング (▶ P.50)
- アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT) (▶ P.53)
- 不正アクセス検出機能 (▶ P.53)
- ダイナミックポートコントロール機能 (▶ P.53)

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内ネットワークセキュリティ

- 暗号化※ (▶ 右記)
- MAC アドレスフィルタリング機能 (▶ P.53)
- ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) (▶ 右記)
- ネットワーク分離機能 (▶ P.53)

※本製品は、工場出荷時の状態で「プライマリ SSID」に AES、「セカンダリ SSID」に WEP (128bit) の暗号化が設定されています。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

- ◎ インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本製品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをおすすめします。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末による無線通信を行う場合は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内のセキュリティを行うことをおすすめします。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、お客様本人になりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

暗号化

本製品で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末のみ無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。1 つのネットワークでご利用になれる暗号化モードは 1 つです。

■ 暗号化モードについて

● WEP

WEP (Wired Equivalent Privacy) とは、ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末（パソコン、スマートフォンなど）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。

● TKIP/AES

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) は、Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル (WPA/WPA2) に採用された暗号化モードです。

一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行うため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

AES (Advanced Encryption Standard) は、米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化モードです。TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

memo

- ◎ 暗号化の設定は必ず本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末で同じ設定にしてください。
- ◎ 複数の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を使用する場合、すべての無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末に本製品と同じ暗号化キーを設定してください。
- ◎ TKIP、AES の暗号化モードをご利用になるには、対応した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末が必要です。
- ◎ 本製品を初期化した場合は、Wi-Fi 設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (SSID と呼びます) があります。

このネットワーク名 (SSID) が一致しないと無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信ができません。

一般に、ネットワーク名 (SSID) は無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から検索することができるため、本製品に接続していない無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末からも本製品のネットワーク名 (SSID) が見えてしまいます。この機能を利用し、外部からネットワーク名 (SSID) を検索されたときに知らせないことでセキュリティを強化することができます。クイック設定 Web で設定します。(▶ P.63)

memo

- ◎ ESS-ID ステルス機能を有効にすると、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から、検索できなくなるため、ネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、暗号化キーを直接入力してください。
- ◎ Windows パソコンで ESS-ID ステルス機能を有効にすると、「ネットワーク名をブロードキャストしない」状態になり、パソコンを再起動後に無線接続できなくなる場合があります。

MAC アドレスフィルタリング機能

本製品は、工場出荷時で無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティ設定 (暗号化) されていますが、MAC アドレスフィルタリング機能を設定することでさらに無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティを強化することができます。通常、無線 LAN (Wi-Fi®) のネットワークは電波の届く範囲からならどこからでも接続できるため、正規の利用者以外は利用できないようにする必要があります。

本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末以外は接続できなくなります。クイック設定 Web で設定します。(▶ P.63、▶ P.66)

memo

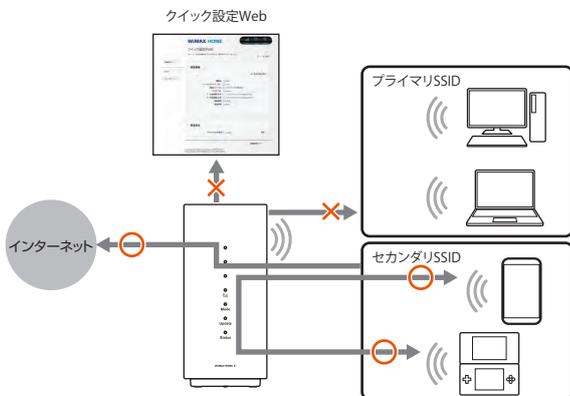
◎ MAC アドレスフィルタリング設定後に、無線 LAN (Wi-Fi®) 設定する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスをあらかじめ登録するか、いったん MAC アドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。

ネットワーク分離機能

本製品には 2.4GHz 帯と 5GHz 帯にそれぞれ「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」の計 4 つのネットワーク名がありますが、「ネットワーク分離機能」を使用することで、異なる SSID (接続先) のネットワークを分離してアクセスを制限することができます。

セカンダリ SSID は、工場出荷時で無効となっていますが、「無線機能」を「使用する」に設定し、セカンダリ SSID を有効にした場合、セカンダリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からは、プライマリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末や本製品に有線で接続した端末へのアクセスが制限され、インターネットへの接続のみが可能になります。

■ セカンダリ SSID を「使用する」に設定した場合の例



セカンダリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からは、次へのアクセスができなくなります。

- ・ クイック設定 Web
- ・ プライマリ SSID のネットワークに接続された無線 LAN (Wi-Fi®) 端末
- ・ 本製品に有線で接続された端末

インターネットやセカンダリ SSID のネットワークに無線 LAN (Wi-Fi®) 接続された端末との通信は可能です。

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT) とは、WAN 側の 1 つの IP アドレスを LAN 側の複数のプライベートアドレスに変換する機能です。

これにより、1 つの IP アドレスで、プライベート IP アドレスを持つ複数のパソコンなどが同時にインターネット接続することができます。通信事業者によっては WAN 側にプライベート IP アドレスを割り当てる場合があります。

不正アクセス検出機能

外部からの不正と思われるアクセスを監視し、通信情報ログに残すとともに不正パケットを廃棄します。

検出できる不正アクセスの種類は、下記の通りです。

- ・ LAND 攻撃
- ・ Smurf 攻撃
- ・ IP Spoofing 攻撃

「LAND 攻撃」を防ぐフィルタは、「セキュリティ保護機能」で「使用する」を選択していなくても有効になります。

クイック設定 Web の「セキュリティ設定」で設定します。(▶ P.71)

ダイナミックポートコントロール機能

LAN 側の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (パソコンなど) がアクセスすると、それに応じて WAN 側のポートが開き、通信を開始します。

データの受け取りが終わるか、または内部のタイマ (TCP タイマ / UDP タイマ) で設定してある一定の時間を超えると、自動的に WAN 側のポートが閉じます。

このような動的開閉制御をダイナミックポートコントロールと呼びます。

本機能により外部へのアクセスが行われていないときは、ポートがすべてフィルタリングされていますので、外部からの不正なアクセスを防ぐことができます。

クイック設定 Web の「NAPT 設定」の「TCP タイマ」「UDP タイマ」で設定します。(▶ P.71)

memo

- ◎ TCP タイマ / UDP タイマは、NAPT 機能 (IP マスカレード) を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) です。
- ◎ NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、TCP タイマ / UDP タイマを短めに設定すると解決できることがあります。

7章 工場出荷時の状態に戻す（初期化）

7-1 RESET ボタンで初期化する	55
7-2 クイック設定 Web で初期化する.....	56

7-1 RESET ボタンで初期化する

初期化とは、本製品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことを言います。

本製品がうまく動作しない場合は、本製品を初期化してはじめてから設定し直すことをおすすめします。

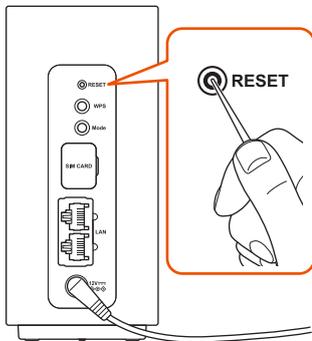
初期化をしても、お客様がバージョンアップしたファームウェアはそのままです。

! ご注意

- 設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存&復元」で現在の設定内容を保存し、初期化後に復元してください。

RESET ボタンで初期化する

- 1 RESET ボタンを先の細いもので、約 5 秒間長押しする
本体前面の LED ランプが消灯したら離す



- 2 約 20 秒後、すべての LED ランプが消灯し、再起動する
再起動後に初期化が完了します。

memo

◎ 本操作は LED ランプが点灯している状態で実施してください。

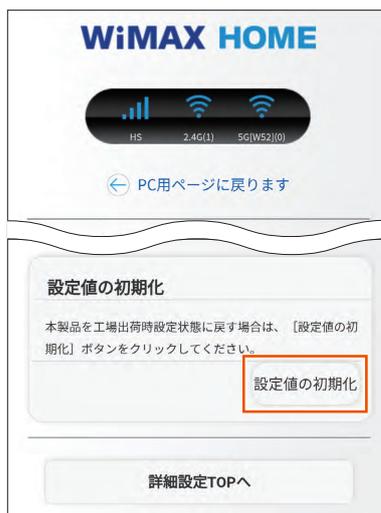
7-2 クイック設定 Web で初期化する

クイック設定 Web で初期化する

- 1 パソコンまたはスマートフォンを起動する
本製品とパソコンまたはスマートフォンがネットワーク接続されていることを確認します。
- 2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く
- 3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックまたはタップする
- 4 ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する
「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。
・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.59) または「クイック設定 Web を起動する」(▶ P.79) を参照してください。
- 5 「メンテナンス」の「設定値の初期化」を選択する
- 6 「設定値の初期化」をクリックまたはタップする



(パソコンの画面)



(スマートフォンの画面)

- 7 [OK] をクリックまたはタップする
再起動します。

8章 機能設定

8-1 クイック設定 Web について	58
8-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）	60
8-3 ネットワーク設定	61
8-4 Wi-Fi 設定	63
8-5 詳細設定	67
8-6 メンテナンス	72
8-7 情報	76

8-1 クイック設定 Web について

本製品に接続したパソコンなどの Web ブラウザから、WiMAX HOME 01 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続した場合を例にしています。本製品では、WiMAX HOME 01 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。

memo

- ◎ クイック設定 Web が利用できる Web ブラウザについては、「接続端末の準備」(▶ P.17) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。

クイック設定 Web を起動する

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力する

クイック設定 Web が表示されます。

クイック設定 Web のトップページ



① 詳細設定 TOP へ

詳細設定をする場合は、ここからログインをし、各種機能の詳細設定をします。

② 言語

日本語と英語の切り替えができます。

トップページで変更する場合は、ログインが必要です。

③ モバイル用ページへ

スマートフォンから操作するための画面を表示します。

④ ピクト情報

WAN 側回線の電波状態、Wi-Fi (5GHz/2.4GHz の接続台数) を表示します。

⑤ 装置情報

以下の情報が表示されます。

- ・ 機種名
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ 接続ステータス
- ・ プロファイル
- ・ データ通信量 (月次、日次)
- ・ 接続時間
- ・ 現在時刻

⑥ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・ プロファイルの設定
使用するプロファイルをプルダウンで選択します。

詳細設定にログインする

- 1 クイック設定 Web のトップ画面の【詳細設定 TOP へ】をクリックする
- 2 ユーザー名とパスワードを入力する
 「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には、パスワード (Web PW) (※)を入力してください。
 ※: 「Web PW」は、本体の底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) に表示されています。
- 3 [OK] をクリックする
- 4 「管理者パスワードの変更」画面が表示されたら、「初期パスワード」欄に手順 2 で入力したパスワード (Web PW) (※)を入力し、「新しいパスワード」(パスワード再入力)欄にパスワード (任意の文字列)を入力し、[変更] をクリックする
 ※: 「Web PW」は、本体の底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) に表示されています。
 ・パスワードに使用できる文字は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」を開くときに必要となります。忘れないように控えておいてください。
- 5 「本製品をご利用にあたってのお願い」画面が表示されたら、内容を確認して【はい】または【いいえ】をクリックする
 品質情報を製造元 (NEC プラットフォームズ (株)) ヘレポート送信するかどうかの確認です。
- 6 「Wi-Fi 暗号化強化機能について」画面が表示されたら、【はい】または【いいえ】をクリックする
 【はい】を選択すると、Wi-Fi 暗号化強化機能を OFF にします。

memo

◎ 手順 5 と 6 の画面は、本製品をご使用開始時 (または初期化したあと) に、クイック設定 Web の詳細設定にログインしたときに表示されます。

詳細設定のトップページ設定画面



- ① 設定メニュー
 - ・ ネットワーク設定
 - ・ Wi-Fi 設定
 - ・ 詳細設定
 - ・ メンテナンス
 - ・ 情報
- ② 設定用 QR コード

8-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定)

画面左の設定メニューから設定する機能を選択する

- ネットワーク設定
WAN 側回線の接続に関する詳細機能を設定します。(▶ P.61)
- Wi-Fi 設定
無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能に関する詳細機能を設定します。(▶ P.63)
- 詳細設定
ポートマッピングや IP パケットフィルタリングなどのセキュリティに関する詳細機能を設定、ランプ点灯設定をします。(▶ P.67)
- メンテナンス
ファームウェアの更新や初期化などのメンテナンスに関する詳細機能を設定します。(▶ P.72)
- 情報
現在の状態などを表示します。(▶ P.76)

8-3 ネットワーク設定

WAN 側回線への接続方法などを設定します。

基本設定

通信モードの設定ができます。ハイスピードモード、ハイスピードプラスエリアモードから選択します。

ハイスピードプラスエリアモードに切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかる場合があります。



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
基本設定			
通信モード	通信モードを選択します。	ハイスピードモード、ハイスピードプラスエリアモード	ハイスピードモード
ハイスピードプラスエリアモード規制	クイック設定 Web や、本体の Mode ボタンでハイスピードプラスエリアモードへの通信モード切替をできないように規制します。		(チェックなし)

2 [設定] をクリックする

接続設定

プロファイルの選択ができます。



1 項目を設定する

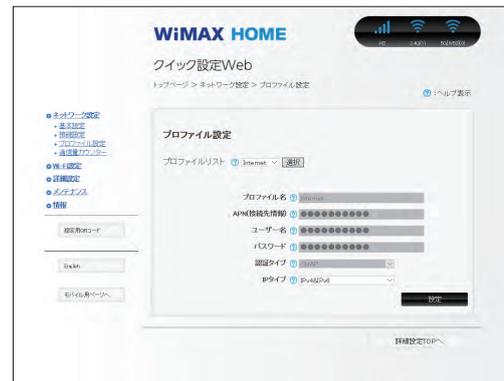
設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル選択	使用するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大 12 件※	Internet (登録されているプロファイル名) ※

※お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」は、変更、削除できません。

2 [設定] をクリックする

プロファイル設定

プロファイル（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）の登録、編集ができます。



(画面はお買い上げ時に設定されているプロファイルです)

■ プロファイルを新規に設定する場合

- 1 「プロファイルリスト」のプルダウンで「no setup」を選択し、[選択] をクリックする
- 2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大 64 文字 (半角) までの文字列。全角の場合は 32 文字まで (?、半角スペースを除く)	Internet (登録されているプロファイル名) ※ 1、※ 2
APN (接続先情報)	APN (接続先情報) を入力します。	最大 62 文字 (半角英数記号) (?、(半角スペース)、&、ハ、ニ、ク、>、\ を除く)	●●●●●● ※ 1、※ 2
ユーザー名	ユーザー名を入力します。	最大 63 文字 (半角英数記号) (?、半角スペースを除く)	●●●●●● ※ 1、※ 2
パスワード	パスワードを入力します。	最大 63 文字 (半角英数記号) (?、半角スペースを除く)	●●●●●● ※ 1、※ 2
認証タイプ	認証タイプを選択します。	CHAP、PAP	CHAP ※ 1、※ 2
IP タイプ	IP タイプを選択します。	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4&IPv6 ※ 2

※ 1 お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」は、変更、削除できません。

※ 2 新規設定では、「プロファイル名」から「パスワード」までは空欄です。「認証タイプ」の「CHAP」、「IP タイプ」の「IPv4」が表示されます。

3 [設定] をクリックする

■ 作成したプロフィールを編集する場合

1 「プロフィールリスト」から編集したいプロフィールを選択し、**【選択】**をクリックする

2 編集が終了したら**【設定】**をクリックする

作成したプロフィールを個別に削除することはできません。ただし、削除したいプロフィールに新規に登録するプロフィールを上書きすることはできます。

！ ご注意

- 初期化にて工場出荷時の状態に戻した場合、お買い上げ時に設定されているプロフィール以外はすべて削除され、その他の設定済みの項目も工場出荷時の状態に戻ります。

通信量カウンター

データ通信量の確認や設定を行います。カウントするデータ通信量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なることがあります。データ通信量を手動でクリアするときは、**【クリア】**をクリックしてください。

また、本製品を初期化した場合、別の au IC カードを挿して起動した場合（PIN 認証が有効のときは、認証後）は、データ通信量はクリアされます。起動中に電源を切った場合には、その時点で保存されていないデータ通信量はクリアされます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
月次通信量			
通信量カウント (HS) ※ 1	ハイスピードモードでデータ通信量をカウントする場合はチェックします。		(チェックなし)
通信量カウント (HS+A) ※ 1	ハイスピードプラスエリアモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
最大データ通信量設定	最大データ通信量を設定します。通知するデータ通信量より小さい値は設定できません。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	7
カウント開始日 ※ 2	通信カウンターのカウント開始日を入力します。毎月カウント開始日に通信量をクリアします。	入力できる範囲は「1~31(日)」です。	1
通知設定	「通知する」を選択した場合、「通知するデータ通信量設定」で設定したデータ通信量を超えると、ランプがオレンジ点灯します。	通知しない、通知する	通知しない
通知するデータ通信量設定	通知するデータ通信量を設定します。最大データ通信量より大きい値は設定できません。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	6
日次通信量 ※ 3			
通信量カウント (HS)	ハイスピードモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
通信量カウント (HS+A)	ハイスピードプラスエリアモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
上限値 (3日間)	日次カウンターの通信量表示の上限値を設定します。上限値を超えると、ランプがオレンジ点灯します。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	10

※ 1 「通信量カウント (HS)」と「通信量カウント (HS+A)」を両方共に「使用する」にすると、「データ通信量表示」に HS モードと HS+A モードの通信量の合算値を表示します。

※ 2 「カウント開始日」を毎月 31 日に設定したとき、31 日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

※ 3 日次通信量は、時刻情報が取得できないと表示しません。

2 【設定】をクリックする

8-4 Wi-Fi 設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能の各種設定ができます。

Wi-Fi 設定 (2.4GHz)

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) アクセスポイント (親機) として複数のネットワーク名 (SSID) を持つことができます。それぞれのネットワーク名 (SSID) に対して異なるセキュリティ設定 (暗号化機能、ESS-ID ステルス機能、MAC アドレスフィルタリング機能) を行うことができます。



(画面はプライマリ SSID の設定画面です)

■ 対象ネットワークを選択

- 1 設定するネットワーク名 (SSID) を選択する
- 2 [選択] をクリックする

■ プライマリ SSID (WPA2/WPA) を設定する場合

- 1 各項目を設定する

以下の項目は、プライマリ SSID で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合はチェックします。		使用する
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	WXHM_N31_XXXXXX-g ※ 1

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
2.4GHz 設定			
デュアルチャンネル機能	デュアルチャンネル機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
使用チャンネル	使用チャンネルを選択します。オートチャンネルセレクト機能を選択した場合、空いているチャンネルを検出し、電波状態の良いチャンネルを自動選択します。	オートチャンネルセレクト機能、1、2、…、12、13	オートチャンネルセレクト機能 ※ 2
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WPA/WPA2-PSK (AES)
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9, a ~ f, A ~ F)	XXXXXXXXXX XXX
暗号化キー更新間隔 (分)	暗号化キーの更新間隔 (分) を入力します。WPA では、暗号化キーは一定期間ごとに自動更新され、より安全な状態を保ちます。	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	ESS-ID ステルス機能を使用する場合はチェックします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。		(チェックなし)
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、チェックします。		(チェックなし)
拡張設定			
送信出力	無線 LAN (Wi-Fi [®]) の送信出力を選択します。送信出力を抑えると他のネットワークへの電波干渉を回避できます。	100%、50%、25%、12.5%	100%
Wi-Fi 暗号化強化	Wi-Fi 管理フレームの一部を保護する機能 (PMF) を有効にします。本機能の使用を要求してきた無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末に対してのみ、保護機能が働きます。		使用する ※ 3

※ 1 ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

※ 2 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の通信で、オートチャンネルセレクトは、1/6/11ch のいずれかを選択します。

オートチャンネルセレクトはチャンネル設定として、1/6/11ch のいずれかにすることを推奨していますが、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 以外のシステムとの干渉を避けるために推奨のチャンネル以外を使用しなければならないときは、手動でチャンネル変更してください。

※ 3 本製品をご使用開始時 (または初期化したあと) に、クイック設定 Web の「Wi-Fi の暗号化強化機能について」画面または「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動時の「Wi-Fi の通信性能を最適にしますか？」画面で [はい] を選択した場合は、「(チェックなし)」になります。

- 2 [設定] をクリックする

■ セカンダリ SSID (WEP) を設定する場合

「対象ネットワークを選択」で「セカンダリ SSID」を選択し、[選択] をクリックしてください。

1 各項目を設定する

セカンダリ SSID を有効にしてから設定内容の変更をしてください。「無線機能」の「使用する」にチェックします。

以下の項目は、セカンダリ SSID で設定できる項目のみです。

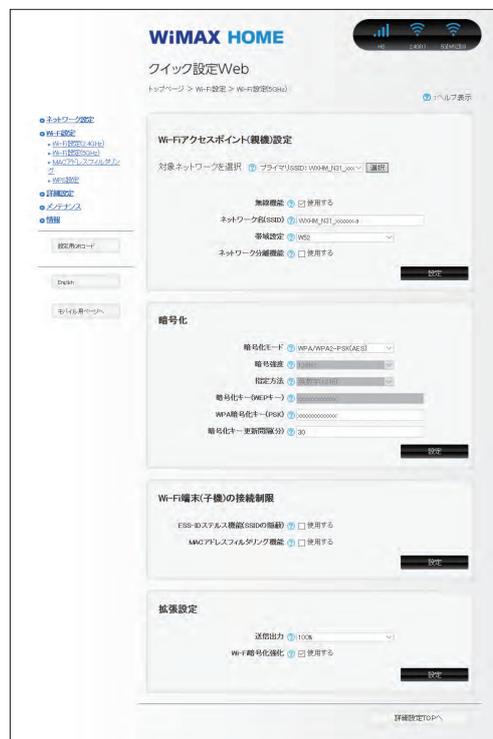
設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	WXHM_N31_XXXXXX-g_2※
ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能を使用する場合はチェックします。		使用する
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WEP、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WEP
暗号強度	WEP を利用する場合は、暗号強度は 128bit になります。本製品と通信する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末も同じ暗号強度に対応している必要があります。	128bit	128bit
指定方法	WEP を利用する場合の暗号化キーの指定方法を表示します。	英数字 (13 桁)	英数字 (13 桁)
暗号化キー (WEP キー)	「指定方法」で選んだ文字列を「暗号強度」で設定した桁数を暗号化キー (WEP キー) として入力します。本製品と通信する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末も同じ暗号化キーを入力する必要があります。	英数字の場合は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、16 進数の場合は、0 ~ 9、a ~ f、A ~ F	XXXXXXXXXX xxx
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化モードが WPA のとき暗号化キーを入力します。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)	XXXXXXXXXX xxx
暗号化キー更新間隔 (分)	暗号化モードが WPA のとき暗号化キーの更新間隔 (分) を入力します。	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	ESS-ID ステルス機能を使用する場合はチェックします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。		(チェックなし)
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、チェックします。		(チェックなし)

※ ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

2 [設定] をクリックする

Wi-Fi 設定 (5GHz)

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) アクセスポイント (親機) として複数のネットワーク名 (SSID) を持つことができます。それぞれのネットワーク名 (SSID) に対して異なるセキュリティ設定 (暗号化機能、ESS-ID ステルス機能、MAC アドレスフィルタリング機能) を行うことができます。



(画面はプライマリ SSID の設定画面です)

■ 対象ネットワークを選択

1 設定するネットワーク名 (SSID) を選択する

2 [選択] をクリックする

■ プライマリ SSID (WPA2/WPA) を設定する場合

1 各項目を設定する

以下の項目は、プライマリ SSID で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合はチェックします。		使用する
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	WXHM_N31_XXXXXX-a※1
帯域設定	使用する無線 LAN (Wi-Fi [®]) の帯域を設定します。	W52、W56	W52
ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WPA/WPA2-PSK (AES)
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)	XXXXXXXXXX xxx
暗号化キー更新間隔 (分)	暗号化キーの更新間隔 (分) を入力します。WPA では、暗号化キーは一定期間ごとに自動更新され、より安全な状態を保ちます。	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	ESS-ID ステルス機能を使用する場合はチェックします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。		(チェックなし)
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、チェックします。		(チェックなし)
拡張設定			
送信出力	無線 LAN (Wi-Fi [®]) の送信出力を選択します。送信出力を抑えると他のネットワークへの電波干渉を回避できます。	100%、50%、25%、12.5%	100%
Wi-Fi 暗号化強化	Wi-Fi 管理フレームの一部を保護する機能 (PMF) を有効にします。本機能の使用を要求してきた無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末に対してのみ、保護機能が動きます。		使用する ※ 2

※ 1 ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

※ 2 本製品をご使用開始時 (または初期化したあと) に、クイック設定 Web の「Wi-Fi の暗号化強化機能について」画面または「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動時の「Wi-Fi の通信性能を最適にしますか？」画面で「はい」を選択した場合は、「(チェックなし)」になります。

2 [設定] をクリックする

■ セカンダリ SSID (WEP) を設定する場合

「対象ネットワークを選択」で「セカンダリ SSID」を選択し、[選択] をクリックしてください。

1 各項目を設定する

セカンダリ SSID を有効にしてから設定内容の変更をしてください。「無線機能」の「使用する」にチェックします。

以下の項目は、セカンダリ SSID で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	WXHM_N31_XXXXXX-a_2 *
ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能を使用する場合はチェックします。		使用する
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WEP、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WEP
暗号強度	WEP を利用する場合は、暗号強度は 128bit になります。本製品と通信する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末も同じ暗号強度に対応している必要があります。	128bit	128bit
指定方法	WEP を利用する場合の暗号化キーの指定方法を表示します。	英数字 (13 桁)	英数字 (13 桁)
暗号化キー (WEP キー)	「指定方法」で選んだ文字列を「暗号強度」で設定した桁数を暗号化キー (WEP キー) として入力します。本製品と通信する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末も同じ暗号化キーを入力する必要があります。	英数字の場合は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、16 進数の場合は、0 ~ 9、a ~ f、A ~ F	XXXXXXXXXX xxx
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化モードが WPA のとき暗号化キーを入力します。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)	XXXXXXXXXX xxx
暗号化キー更新間隔 (分)	暗号化モードが WPA のとき暗号化キーの更新間隔 (分) を入力します。	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	ESS-ID ステルス機能を使用する場合はチェックします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。		(チェックなし)
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、チェックします。		(チェックなし)

※ ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

2 [設定] をクリックする

MAC アドレスフィルタリング

本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末以外は接続できなくなります。



(画面は MAC アドレスエントリ追加画面です)

ご注意

- MAC アドレスフィルタリング設定後に、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスを登録するか、いったん MAC アドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。
- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスを本製品に登録しますので、あらかじめ MAC アドレスを確認 (メモするなど) してください。
- 2.4GHz 帯、5GHz 帯それぞれで設定できます。
- 設定変更後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断されます。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続し直してください。

1 [追加] をクリック

MAC アドレスエントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
指定方法	追加する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスの指定方法を選択します。	手動設定、選択設定	手動設定
MAC アドレス	本製品に設定する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスを入力します。	「手動設定」の場合、[xx:xx:xx:xx:xx:xx] 形式で直接入力。 「選択設定」の場合「接続子機一覧」の中から指定する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスを選択する [00:00:00:00:00:00] のようにすべて「0」は入力不可	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリ一覧に登録した MAC アドレスが表示されていることを確認する

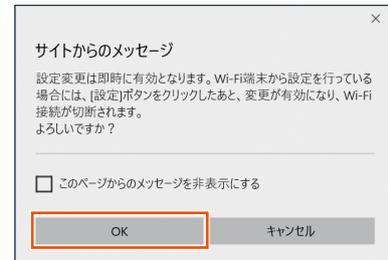
5 「Wi-Fi 設定」 - 「Wi-Fi 設定 (2.4GHz)」または「Wi-Fi 設定 (5GHz 帯)」 - 「Wi-Fi 端末(子機)の接続制限」の「MAC アドレスフィルタリング機能」にチェックする

6 メッセージが表示されるので [OK] をクリックする



7 [設定] をクリックする

8 メッセージが表示されるので [OK] をクリックする



ご注意

- 本機能を設定変更後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断されますのでご注意ください。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続し直してください。

WPS 設定

本製品に WPS 設定の PIN 方式で無線 LAN (Wi-Fi[®]) 設定をします。詳細は、「WPS 機能対応の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を接続する」(▶ P.33) を参照してください。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS (PIN 方式)	PIN 方式で WPS を設定する場合はチェックします。		使用する
WPS 周波数	PIN 方式による WPS を実行する周波数帯を選択します。	2.4GHz、5GHz	2.4GHz
Wi-Fi 端末の PIN コード	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の PIN コードを入力します。		(なし)

2 「Wi-Fi 端末の PIN コード」入力欄に PIN コードを入力し、[WPS (PIN 方式)] をクリックする

3 [設定] をクリックする

8-5 詳細設定

本製品の LAN 側の設定やセキュリティに関するパケットフィルタやポートマッピングの設定ができます。

LAN 側設定



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス			
IP アドレス/ ネットマスク (ビット指定)	本製品の LAN 側の IP アドレスとネットマスクを入力します。通常、変更する必要はありません。変更する場合は、WAN 側の IP アドレスと競合しないネットワークアドレス範囲となるように入力してください。	ネットマスクはビット形式で 1 ~ 30 例： 0 ~ 255 の 4 組の数字の形式 [255.255.255.0] の場合は、ビット形式では「24」になります。	192.168.179.1/24
DHCP サーバ			
DHCP サーバ機能	本製品の DHCP サーバを使用する場合は、チェックします。		使用する
リースタイム (時間)	DHCP サーバでクライアントに割り当てる IP アドレスの貸出時間が変更可能です。	0 (無制限)、 1 ~ 72 (時間)	24
アドレス割当パターン	割り当てパターンを選択できます。[自動設定] の場合は、本製品 LAN インタフェースの IP アドレスの次の IP アドレスから割当数分のアドレスプールを確保します。[手動設定] の場合は、DHCP エントリで設定されたアドレス割当パターンが使用されます。	自動設定、手動設定	自動設定
割当先頭アドレス	アドレス割当パターンで [手動設定] を選択した場合は、DHCP クライアントに割り当てる IP アドレスの先頭アドレスを入力します。		(なし)
割当数	DHCP クライアントの割り当てられる IP アドレス割当数を入力します。	1 ~ 32	32
WINS サーバアドレス	DHCP クライアントに通知する WINS サーバアドレスを設定します。		(なし)

2 [設定] をクリックする

DHCP 除外設定

DHCP サーバがクライアントに割り当てる IP アドレスを設定します。LAN 側設定の「DHCP サーバ機能」が使用する、「アドレス割当パターン」が [手動設定] の場合に選択できます。

DHCP 除外設定 エントリ追加で、DHCP クライアントに割り当てを行わない IP アドレスの範囲を設定します。[先頭アドレス] で指定した IP アドレスから、[除外数] で指定した数の分を DHCP サーバの割り当て範囲から除外します。除外エントリは 2 エントリの指定が可能です。



(画面は DHCP 除外設定 エントリ追加画面です)

1 [追加] をクリック

DHCP 除外設定エントリ追加画面が表示されます。

2 DHCP 除外設定 エントリ追加の画面が表示されたら、各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
先頭アドレス	DHCP クライアントに割り当てしない IP アドレス範囲の先頭アドレスを入力します。		(なし)
除外数	DHCP クライアントに割り当てを行わない IP アドレス数を入力します。	1 ~ 255	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリ一覧に登録内容が表示されていることを確認する

DHCP 固定割当設定

特定の MAC アドレスに固定 IP アドレスを割り当てます。



(画面は DHCP 固定割当エントリー追加画面です)

1 [追加] をクリックする

DHCP 固定割当エントリー追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MAC アドレス	特定端末に固定の IP アドレスを割り当てる場合に入力します。	[xx:xx:xx:xx:xx:xx]形式で入力	(なし)
IP アドレス	特定端末に割り当てを行う固定の IP アドレスを入力します。[MAC アドレス]で指定した端末に [IP アドレス] で指定した IP アドレスを入力します。		(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

IPv4 パケットフィルタ設定

IP パケットフィルタを設定します。インターネットへ通過するパケットを制限します。本製品では「パケットフィルタエントリー」のパターンを最大 50 個設定できます。

設定するときは、「対象インタフェースを選択」で「WAN」または「LAN」を選択し、「選択」をクリックしてください。



(画面は IPv4 パケットフィルタエントリー追加画面です)

1 [追加] をクリックする

IPv4 パケットフィルタエントリー追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
種別	フィルタ条件に一致したパケットの扱いを選択します。	通過 (accept)、破棄 (drop)	通過 (accept)
方向	選択したインタフェースでのフィルタ評価方向を選択します。本製品に向かっていくパケットが「in」、本製品から離れていくパケットが「out」です。	in, out	in
プロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルの種別を選択します。「その他」は IP プロトコル番号を入力します。「ICMP」は、ICMP MESSAGE を選択できます。「TCP」は TCP FLAG を選択できます。	IP すべて、ICMP、TCP、UDP、その他	IP すべて
送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
送信元ポート番号	パケットの送信元ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
宛先ポート番号	パケットの宛先ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
優先度	フィルタエントリーの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリーから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

■ 設定例

ここでは、LAN 側のパソコンの通信を制限 (※ 1) する設定と Web ページの閲覧を制限 (※ 2) する方法を例に説明します。

制限対象ではないパソコンで設定を行ってください。それ以外の環境を構築する場合は、設定内容などをご利用の環境に合うように設定してください。

(※ 1) インターネット、メール、FTP、Quick Setup Web などすべて利用不可

(※ 2) インターネット、Quick Setup Web は利用不可、メール、FTP などは利用可能

1 IPv4 パケットフィルタ設定エントリー一覧画面の「対象インタフェースを選択」で「LAN」を選択し、「選択」をクリックする

2 [追加] をクリックする

3 DHCP 固定割当が動作するように設定を行い、[設定] をクリックする

パソコンに IP アドレスを固定している場合、Web ページの閲覧のみ制限する場合は、この手順は必要ありません。

- 種別：「通過」
- 方向：「in」
- プロトコル：「IP すべて」
- 送信元 IP アドレス：「localhost」指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。
- 送信元ポート番号：「any」
- 宛先 IP アドレス：「localhost」
- 宛先ポート番号：「any」
- 優先度：「1」

4 [前のページへ戻る] をクリックする

5 エントリー一覧に設定内容が表示されるので、再度 [追加] をクリックする

6 パソコンの通信を制限する設定を行い、[設定] をクリックする

(※ 1 の設定例)

- 種別：「破棄」
- 方向：「in」
- プロトコル：「IP すべて」
- 送信元 IP アドレス：「192.168.x.y/32」
- 送信元ポート番号：「any」
- 宛先 IP アドレス：「any」
- 宛先ポート番号：「any」
- 優先度：「2」

(※ 2 の設定例)

- 種別：「破棄」
- 方向：「in」
- プロトコル：「TCP」
- 送信元 IP アドレス：「192.168.x.y/32」
- 送信元ポート番号：「any」
- 宛先 IP アドレス：「any」
- 宛先ポート番号：「80」
- 優先度：「2」

7 [前のページへ戻る] をクリックする

8 [IPv4 パケットフィルタエントリー一覧] に設定内容が表示される

IPv6 パケットフィルタ設定

IP パケットフィルタを設定します。インターネットへ通過するパケットを制限します。本製品では「パケットフィルタエントリー」のパターンを最大 50 個設定できます。

設定するときは、「対象インタフェースを選択」で「WAN」または「LAN」を選択し、「選択」をクリックしてください。



(画面は IPv6 パケットフィルタエントリー追加画面です)

1 [追加] をクリックする

IPv6 パケットフィルタエントリー追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
種別	フィルタ条件に一致したパケットの扱いを選択します。	通過 (accept)、破棄 (drop)	通過 (accept)
方向	選択したインタフェースでのフィルタ評価方向を選択します。本製品に向かっていくパケットが「in」、本製品から離れていくパケットが「out」です。	in, out	in
プロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルの種別を選択します。「その他」は IP プロトコル番号を入力します。「ICMPv6」は、ICMPv6 MESSAGE を選択できます。「TCP」は TCP FLAG を選択できます。	IPv6 すべて、ICMPv6、TCP、UDP、その他	IPv6 すべて
送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「128」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
送信元ポート番号	パケットの送信元ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「128」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
宛先ポート番号	パケットの宛先ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any

設定項目	説明	設定範囲	初期値
優先度	フィルタエントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

ポートマッピング設定

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。グローバルネットワーク側からの特定のポートの通信を指定したパソコンに送信できます。必要に応じてNATエントリ設定することで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスド NAT 機能 (IP マスカレード /NAPT) が働いてネットワークゲームができなくなる場合があります。これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、ネットワークゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするため起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

memo

◎ ポートマッピングを設定する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、DHCP サーバ機能により IP アドレスが自動的に割り当てられないように、IP アドレスを固定しておいてください。固定する場合は、DHCP の割り当て範囲外で IP アドレスを指定することをおすすめします。

1 [追加] ボタンをクリックする

NAT エントリ追加画面が表示されます。



(画面は NAT エントリ追加画面です)

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
LAN 側ホスト	ポートマッピングを適用する LAN 側ホストの IP アドレス (パソコン、ゲーム機など) を入力します。		(なし)
プロトコル	対象とするプロトコルを選択します。「その他」を選択した場合は、「プロトコル番号」を入力してください。	TCP、UDP、ESP、その他	TCP
ポート番号	プロトコルに「TCP」「UDP」を選択した場合のみ設定できます。「any」のチェックを外し、ポートマッピングの対象とするポート番号を入力します。		any
優先度	NAT エントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

5 ポートを開放する機器に、以下の情報を設定する

- ・ IP アドレス : LAN 側ホストに入力した IP アドレス
- ・ ネットマスク : 255.255.255.0 (本製品の初期値)
- ・ ゲートウェイ : 192.168.179.1 (本製品の IP アドレス初期値)
- ・ プライマリ DNS : 192.168.179.1 (本製品の IP アドレス初期値)

その他の設定

その他の設定をします。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
セキュリティ設定			
セキュリティ保護機能	セキュリティ保護機能を使用する場合は、チェックをします。セキュリティ保護機能を使用すると既知の外部からのアタックや不正アクセスを検出し、《通信情報ログ》画面にて表示するとともに、その不正パケットを廃棄します。検出可能な不正アクセスは、「LAND 攻撃」「Smurf 攻撃」「IP Spoofing 攻撃」です。（「LAND 攻撃」を防ぐフィルタは、セキュリティ保護機能の「使用する」がチェックされていない場合でも有効になります。）		使用する
NAPT 設定			
TCP タイマ (秒)	NAPT 機能を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) を入力します。NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。入力できる値は、300 ~ 432000 (秒) です。	300 ~ 432000 (秒)	3600
UDP タイマ (秒)	NAPT 機能を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) を入力します。NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。入力できる値は、30 ~ 3600 (秒) です。	30 ~ 3600 (秒)	300
UPnP 設定			
UPnP 機能	UPnP (ユニバーサル・プラグアンドプレイ) 機能を使用します。最大 10 台までの端末で UPnP 機能が利用可能となります。		(チェックなし)
DMZ ホスト設定			
DMZ ホスト機能	DMZ ホスト機能によって外部に公開する端末 (ホスト) の設定ができます。使用する場合はチェックをします。NAPT 機能を使用する場合のみ有効です。		(チェックなし)
DMZ ホストの IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを入力します。本製品の LAN 側の設定で指定したネットワークアドレス範囲内の IP アドレスを入力してください。		(なし)
通信情報ログ設定			
ロギング機能	通信情報ログを出力します。		使用する
ログ保存方法	ログの保存方法を選択します。「サイクリック」は、ログ保存用メモリの範囲内で常に最新 500 件のログが保存され、古いログは廃棄されます。「ワンタイム」は、ログ保存用メモリから 500 件を超えた新しいログが廃棄されます。	サイクリック、ワンタイム	サイクリック
補助設定			
ファームウェア更新通知機能	ファームウェア更新通知機能を使用する場合は、チェックをします。ファームウェアのバージョンアップが可能な場合に、本製品の Update ランプで新しいファームウェアの提供を通知する機能です。		使用する
ランプ点灯設定			
ランプ消灯モード	本製品正面のランプの点灯方法に関する設定を行います。ボタンなどの操作が 3 分間行われない場合に、「全消灯」を選択した場合は製品正面のランプを消灯し、「Status のみ点灯」は Status ランプ以外を消灯します。ただし、製品に対するボタン操作や設定、また通信量カウンターによる通知などが発生した場合は、ランプが点灯します。	点灯、Status ランプのみ点灯、全消灯	点灯
WAN 設定			
MTU (bytes)	データ通信の最大転送値の設定をします。	1400 ~ 1440	1440

設定項目	説明	設定範囲	初期値
PING 応答機能	PING 応答機能を使用する場合は、チェックをします。本機能を使用する場合、WAN 側からの PING に応答します。		(チェックなし)
品質情報収集機能			
品質情報収集機能	品質情報収集機能を使用する場合は、チェックをします。		(チェックなし) ※

※本製品をお使いいただくときに表示される「本製品をご利用にあたってのお願い」で「はい」を選択した場合は、「使用する」になります。

2 【設定】をクリックする

8-6 メンテナンス

本製品の管理者パスワードを変更したり、ファームウェアの更新をしたりするなど、本製品の設定や操作ができます。

管理者パスワードの変更

本製品の設定変更や不正アクセスを防止するために設けたパスワードです。

クイック設定 Web の各種設定をするために詳細設定へログインするときが必要です。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。		(なし)
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。	最大 64 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	(なし)
新しいパスワード再入力	確認のため新しいパスワードを再入力します。		(なし)

2 [設定] をクリックする

設定値の保存&復元

本製品の設定内容をパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。

！ ご注意

- 管理者パスワードは保存されません。
- 設定値のファイルは圧縮形式となっており、編集はできません。



■ 保存方法

- 1 [ファイルへ保存] をクリックする
- 2 パソコンのデスクトップなどわかりやすい場所へ保存する
お使いのパソコンの環境によっては、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。

■ 復元方法

- 1 「設定ファイル」欄にあるボタン（[参照] など）をクリックする
表示された画面で復元するファイルを選択します。
- 2 選択したファイルの保存先が「設定ファイル」欄に入るので、[設定値の復元] をクリックする
- 3 再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
- 4 再起動が完了したメッセージが表示されるので [OK] をクリックする

Web ブラウザを終了し、クイック設定 Web を開き直してください。

設定値の初期化

設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

！ ご注意

- 設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、「設定値の保存&復元」(▶ P.72)で現在の設定内容を保存し、初期化後に復元してください。
- 初期化をしてもお客様が設定した au IC カードの PIN コードは変更されません。



- 1 【設定値の初期化】をクリックする
- 2 【OK】をクリックする
再起動します。

！ ご注意

- 再起動後は、本製品にアクセスできなくなる場合があります。その場合は、Web ブラウザを一度終了し、接続する無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末と本製品の設定をあわせた後、Web ブラウザを開き直してください。

ファームウェア更新

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。詳細は、「11-1 ファームウェアを更新する」(▶ P.100)を参照してください。



現在のバージョンで、ファームウェアのバージョンを確認してから、以下の手順で更新してください。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
更新方法	ファームウェアの更新方法を選択します。	ローカルファイル指定、オンラインバージョンアップ	ローカルファイル指定
ファームウェアファイル	あらかじめホームページなどから入手したファームウェアファイル (BIN ファイル) を指定します。		(なし)

2 【確認 / 更新】をクリックする

最新のファームウェアがある場合は、ファームウェア更新が開始されます。

PING テスト

PING テストを行います。対象ホストに IP パケットを送信し、通信確認することができます。



対象プロトコルの選択

- 1 PING テストの対象となるホストの IP アドレスまたはホスト名を入力する
- 2 [テスト実行] をクリックする
数秒後に画面が切り替わり、PING テスト結果が表示されます。
テスト結果に「0% packet loss」という表示があれば、通信状態は正常です。

PIN コード管理

au IC カードに PIN コード（暗証番号）を設定すると、本製品を使用するときに PIN コードを入力しないと使用できなくなるので、不正使用を防ぐことができます。



PIN コードを有効にする

- 1 「PIN コード操作」 から [有効にする] を選択する
- 2 「現在の PIN コード」 に PIN コードを入力する
お買い上げ時の PIN コードは「1234」が設定されています。
- 3 [設定] をクリックし、再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
再起動します。

PIN コードを無効にする場合

PIN コードが有効の場合、PIN コードを無効にします。

- 1 「PIN コード操作」 から [無効にする] を選択する
- 2 「現在の PIN コード」 に PIN コードを入力する
- 3 [設定] をクリックし、再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
再起動します。

認証を行う

PIN 認証を行うまでは、インターネットに接続できません。

- 1 PIN 認証画面で「現在の PIN コード」に、PIN コードを入力する



- 2 [設定] をクリックする

PIN コードを変更する

PIN コード操作が有効のとき、必要に応じて 4 ～ 8 桁のお好きな番号に変更することができます。

- 1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在の PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	(1234) ※
新しい PIN コード	新しい PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	(なし)
確認用 PIN コード	確認のため新しい PIN コードを再入力します	4 ～ 8 桁の数字	(なし)

※ お買い上げ時の au IC カードの PIN コードは、「1234」に設定されています。

※ 本製品を初期化した場合でも、変更した PIN コードはお買い上げ時の状態には戻りません。

- 2 [PIN コード変更] をクリックする

PIN ロックを解除する

PIN コード入力に 3 回失敗した場合、Status ランプが赤点滅（遅）し、PIN ロックがかかります。

PIN ロックを解除するためには、PIN ロック解除コード（PUK）が必要です。PIN ロック解除コード（PUK）については「PIN コードについて」（▶ P.9）をご参照ください。

クイック設定 Web で PIN ロックを解除する

- 1 「PIN ロック解除コード」に、PIN ロック解除コード（PUK）を入力する
- 2 [解除] をクリックする

！ ご注意

- 同じ au IC カードに対して PIN コードの入力を 3 回失敗すると認証エラーメッセージが表示されます。(PIN コードの入力可能回数は表示されます。) その場合は、PIN ロック状態となり、PIN ロック解除コード (PUK) が必要となります。本製品の PIN ロック解除コード (PUK) 入力画面またはクイック設定 Web の [PIN ロック解除] で PIN ロック状態を解除してください。
- PIN ロック解除コード (PUK) を入力した場合は、新しく PIN コードを設定してください。
- PIN ロック解除コード (PUK) を 10 回連続して間違えると、完全にロックされます。auショップ、トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

再起動

本製品を再起動することができます。



- 1 [再起動] をクリックする
- 2 [OK] をクリックする
- 3 「再起動中」のメッセージが表示される
再起動するまでに時間がかかる場合があります。
- 4 「再起動が完了しました」とメッセージが表示されるので、[OK] をクリックする

■ 自動再起動設定する

- 1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動再起動	自動再起動を使用する場合は、チェックをします。本機能を有効にした場合は、7日に1回、指定した時刻に通信を中断し、再起動を行います。ただし、指定した時刻にファームウェア更新が行われている場合、本機能は動作しません。		(チェックなし)
再起動時刻	再起動する時刻を選択してください。	0～23	3

- 2 [設定] をクリックする

8-7 情報

本製品に設定されている内容などの情報を確認できます。

現在の状態

本製品の装置情報や設定内容を表示します。



通信情報ログ

通信情報ログ（接続動作履歴）を表示できます。

例えば、外部からの不正と思われるアクセスを表示できます。

ただし、「詳細設定」の「その他の設定」－「通信情報ログ設定」で「ロギング機能」を「使用する」にしていない場合には、「ログデータはありません」と表示されます。

なお、ログ情報表示の内容に関するお問い合わせは、サポートしておりますのでご了承ください。



1 ログを選択で、表示したいログ（一般ログ、セキュリティログ、WiMAX 2+/LTE ログ）を選択し、[選択] をクリックする

2 ログが表示される

通信情報ログをテキストファイルで保存したい場合は[ファイルへ保存] をクリックし、保存してください。

UPnP の状態

現在 UPnP 利用中のパソコンの IP アドレスとポート番号を表示します。

- ・ [詳細設定]－[その他の設定]－[UPnP 設定] で「UPnP 機能」の「使用する」にチェックすることが必要です。



マニュアル

[マニュアル] をクリックすると『取扱説明書 詳細版』（本書）を表示します。

インターネットに接続しているときは、WiMAX Support Information ホームページにある最新版のファイルが表示されます。ただし、インターネット接続のポケット通信料はお客様ご負担となります。

- インターネットに接続していないときは、本製品に格納しているファイルを表示します。



9章 スマートフォン用クイック設定 Web

9-1 スマートフォン用クイック設定 Web について	79
9-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）	81
9-3 ネットワーク設定	82
9-4 Wi-Fi 設定	86
9-5 詳細設定	88
9-6 メンテナンス	89
9-7 情報	91

9-1 スマートフォン用クイック設定 Web について

本製品に接続したスマートフォンなどの Web ブラウザから、WiMAX HOME 01 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi®) で接続した場合を例にしています。本製品では、WiMAX HOME 01 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。

memo

- ◎ クイック設定 Web が利用できる Web ブラウザについては「接続端末の準備」(▶ P.17) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ スマートフォン用のクイック設定 Web では設定できない項目があります。その場合は、PC 用のクイック設定 Web で設定を行ってください。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。

クイック設定 Web を起動する

- 1** 本製品とスマートフォンなどが無線 LAN (Wi-Fi®) 接続されていることを確認する
- 2** Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力する
- 3** ログイン画面が表示されたらユーザー名とパスワードを入力する
「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には、パスワード (Web PW) (※)を入力してください。
※: 「Web PW」は、本体の底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) に表示されています。
- 4** 「ログイン」をタップする
- 5** 「管理者パスワードの変更」画面が表示されたら、「初期パスワード」欄に手順 **3** で入力したパスワード (Web PW) (※)を入力し、「新しいパスワード」(パスワード再入力)欄にパスワード (任意の文字列)を入力し、「[変更]」をタップする
※: 「Web PW」は、本体の底面のラベルまたは「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール) に表示されています。
• パスワードに使用できる文字は、0~9、a~z、A~Z、-(ハイフン)、_(アンダースコア)で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」を開くときに必要となります。忘れないように控えておいてください。
- 6** 「本製品をご利用にあたってのお願い」画面が表示されたら、内容を確認して「[はい]」または「[いいえ]」をクリックする
品質情報を製造元 (NEC プラットフォームズ (株)) ヘレポート送信するかどうかの確認です。
- 7** 「Wi-Fi 暗号化強化機能について」画面が表示されたら、「[はい]」または「[いいえ]」をクリックする
「[はい]」を選択すると、Wi-Fi 暗号化強化機能を OFF にします。

memo

- ◎ 手順 **6** と **7** の画面は、本製品をご使用開始時 (または初期化したあと) に、クイック設定 Web を起動したときに表示されます。

クイック設定 Web のトップページ



① ピクト情報

WAN 側回線の電波状態、Wi-Fi (5GHz/2.4GHz の接続台数) を表示します。

② PC 用ページに戻ります

パソコンから操作するための画面を表示します。

③ 装置情報

以下の情報が表示されます。

- 機種名
- ファームウェアバージョン
- 接続ステータス
- プロファイル
- データ通信量（月次、日次）
- 接続時間
- 現在時刻

④ 簡易設定

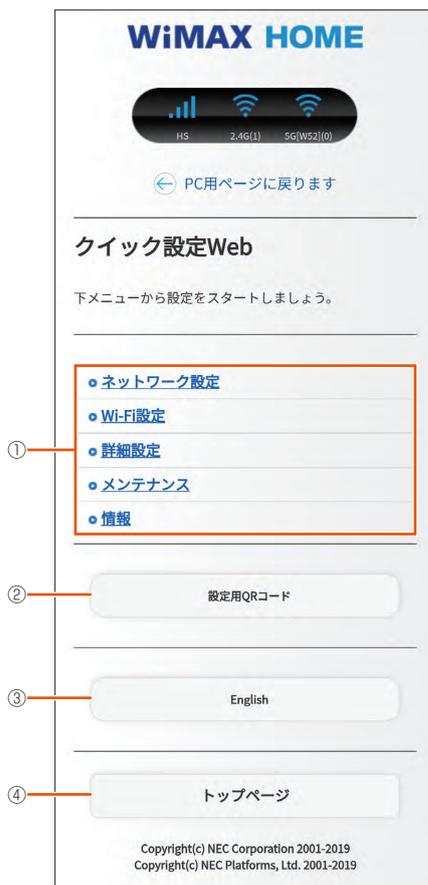
簡単な設定ができます。

- プロファイルの設定
使用するプロファイルを選択します。

⑤ 詳細設定 TOP へ

詳細設定をする場合は、ここをタップし、各種機能の詳細設定をします。

詳細設定のトップページ設定画面



① 設定メニュー

- ネットワーク設定
- Wi-Fi 設定
- 詳細設定
- メンテナンス
- 情報

② 設定用 QR コード

Wi-Fi 設定用の QR コードを作成します。

③ 言語

日本語と英語の切り替えができます。

④ トップページ

クイック設定 Web のトップページを表示します。

9-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）

メニューから設定する機能を選択する

- ネットワーク設定
WAN 側回線の接続に関する詳細機能を設定します。（▶ P.82）
- Wi-Fi 設定
無線 LAN（Wi-Fi[®]）機能に関する詳細機能を設定します。（▶ P.86）
- 詳細設定
ファームウェアの更新通知機能の設定やランプ点灯設定をします。（▶ P.88）
- メンテナンス
ファームウェアの更新の設定をします。（▶ P.89）

9-3 ネットワーク設定

WAN 側回線への接続方法などを設定します。

基本設定

通信モードの設定ができます。ハイスピードモード、ハイスピードプラスエリアモードから選択します。

ハイスピードプラスエリアモードに切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかる場合があります。



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
通信モード	通信モードを選択します。	ハイスピードモード、ハイスピードプラスエリアモード	ハイスピードモード

2 [設定] をタップする

接続設定

プロファイルの選択ができます。



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル選択	使用するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大12件※	Internet (登録されているプロファイル名) ※

※ お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」は、変更、削除できません。

2 [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOP へ] をタップする

プロファイル設定

プロファイル（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）の登録、編集ができます。

(画面は登録されているプロファイルです)

■ プロファイルを新規に設定する場合

1 「プロファイルリスト」から「no setup」を選択し、[選択]をタップする

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大 64 文字 (半角) までの文字列。全角の場合は 32 文字まで (?、半角スペースを除く)	Internet (登録されているプロファイル名) ※ 1、※ 2
APN (接続先情報)	アクセスポイント名 (APN) を設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号) (?、半角スペース、", &, ., :, ;, <, >, \ を除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号) (?、半角スペースを除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
パスワード	パスワードを設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号) (?、半角スペースを除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
認証タイプ	認証方式を設定します。	CHAP、PAP	CHAP ※ 1、※ 2
IP タイプ	IP タイプを選択します。	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4&IPv6 ※ 2

※ 1 お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」は、変更、削除できません。

※ 2 新規設定では、「プロファイル名」から「パスワード」までは空欄です。「認証タイプ」の「CHAP」、「IP タイプ」の「IPv4」が表示されます。

3 [設定] をタップし、[詳細設定 TOPへ] をタップする

■ 作成したプロファイルを編集する場合

1 「プロファイルリスト」から編集したいプロファイルを選択し、[選択] をタップする

2 編集が終了したら [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOPへ] をタップする

通信量カウンター

データ通信量の確認や設定を行います。カウントするデータ通信量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なることがあります。データ通信量を手動でクリアするときは、[クリア] をクリックしてください。

また、本製品を初期化した場合、別の au IC カードを挿して起動した場合（PIN 認証が有効のときは、認証後）は、データ通信量はクリアされます。起動中に電源を切った場合には、その時点で保存されていないデータ通信量はクリアされます。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
月次通信量			
通信量カウント (HS) ※ 1	ハイスピードモードでデータ通信量をカウントする場合はチェックします。		(チェックなし)
通信量カウント (HS+A) ※ 1	ハイスピードプラスエリアモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
最大データ通信量設定	最大データ通信量を設定します。通知するデータ通信量より小さい値は設定できません。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	7
カウント開始日 ※ 2	通信量カウンターのカウント開始日を入力します。毎月、カウント開始日に通信量カウントをクリアします。	入力できる範囲は「1～31(日)」です。	1
通知設定	「通知する」を選択した場合、「通知するデータ通信量設定」で設定したデータ通信量を超えると、ランプがオレンジ点灯します。	通知しない、通知する	通知しない
通知するデータ通信量設定	通知するデータ通信量を設定します。最大データ通信量より大きい値は設定できません。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	6

設定項目	説明	設定範囲	初期値
日次通信量 ※ 3			
通信量カウント (HS)	ハイスピードモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
通信量カウント (HS+A)	ハイスピードプラスエリアモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
上限値 (3日間)	日次カウンター通信量表示の上限値を設定します。上限値を超えると、ランプがオレンジ点灯します。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	10

※ 1 「通信量カウント (HS)」と「通信量カウント (HS+A)」を両方共に「使用する」にすると、「データ通信量表示」にHSモードとHS+Aモードの通信量の合算値を表示します。

※ 2 「カウント開始日」を毎月31日に設定したとき、31日でない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

※ 3 日次通信量は、時刻情報が取得できないと表示しません。

2 「設定」をタップする

9-4 Wi-Fi 設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能の各種設定ができます。

Wi-Fi 設定 (2.4GHz)

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
対象ネットワークを選択	設定したいネットワークを選択します。	プライマリ SSID、セカンダリ SSID	プライマリ SSID
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	WXHM_N31_XXXXXX-g ※
暗号化			
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。プライマリ SSID の場合のみ設定できます。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)	xxxxxxxxxxx xxx

※ ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

2 [設定] をタップする

3 確認画面が表示されるので、[OK] をタップする

4 クイック設定 Web を開き、[詳細設定 TOP へ] をタップする

Wi-Fi 設定 (5GHz)

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
対象ネットワークを選択	設定したいネットワークを選択します。	プライマリ SSID、セカンダリ SSID	プライマリ SSID
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	WXHM_N31_XXXXXX-a ※
暗号化			
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。プライマリ SSID の場合のみ設定できます。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)	xxxxxxxxxxx xxx

※ ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

2 [設定] をタップする

3 確認画面が表示されるので、[OK] をタップする

4 クイック設定 Web を開き、[詳細設定 TOP へ] をタップする

WPS 設定

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS (PIN方式)	WPS の PIN 方式を使用する場合は、チェックします。		使用する
WPS 周波数	PIN 方式による WPS を実行する周波数帯を選択します。	2.4GHz、5GHz	2.4GHz
Wi-Fi 端末の PIN コード	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の PIN コードを入力します。		(なし)

2 [WPS (PIN方式)] をタップする

3 [設定] をタップする

9-5 詳細設定

その他の設定

■ 補助設定



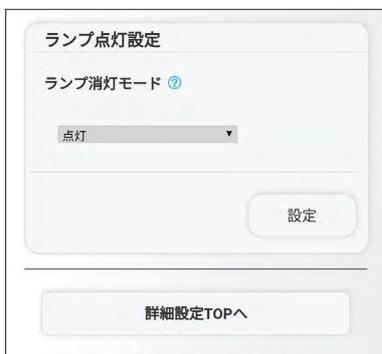
1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファームウェア更新通知機能	ファームウェア更新通知機能を使用する場合は、チェックを入れます。ファームウェアのバージョンアップが可能な場合に、お使いのブラウザ上、または本製品の Update ランプで新しいファームウェアの提供を通知する機能です。		使用する

2 [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOP へ] をタップする

■ ランプ点灯設定



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ランプ消灯モード	本製品正面のランプの点灯方法に関する設定を行います。 ボタンなどの操作が3分間行われない場合に、「全消灯」を選択した場合は製品正面のランプを消灯し、「Statusのみ点灯」は Status ランプ以外を消灯します。 ただし、製品に対するボタン操作や設定、また通信量カウンターによる通知などが発生した場合は、ランプが点灯します。	点灯、Status ランプのみ点灯、全消灯	点灯

2 [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOP へ] をタップする

9-6 メンテナンス

本製品の管理者パスワードを変更したり、ファームウェアの更新をしたりするなど、本製品の設定や操作ができます。

管理者パスワードの変更

本製品の設定変更や不正アクセスを防止するためにパスワードを設定します。

クイック設定 Web へログインするときに必要です。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。		(なし)
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。	最大 64 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	(なし)
新しいパスワード再入力	確認のため新しいパスワードを再入力します。		(なし)

2 【設定】をタップする

3 【詳細設定 TOP へ】をタップする

設定値の初期化

設定内容を工場出荷時の状態に戻します。詳細は「7 章 工場出荷時の状態に戻す (初期化)」(▶ P.54) を参照してください。

1 【設定値の初期化】をタップする

2 【OK】をタップする

再起動します。

ファームウェア更新

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。詳細は、「11-1 ファームウェアを更新する」(▶ P.100) を参照してください。

1 【確認 / 更新】をタップする

バージョン情報を取得します。

2 新しいファームウェアが存在していたら、【最新バージョンへ更新】をタップする

以降の手順は P.101 を参照してください。

再起動

本製品を再起動することができます。現在の設定を保存してから再起動してください。



- 1 「再起動」をタップする
- 2 「OK」をタップする
- 3 「再起動中」のメッセージが表示される
再起動するまでに時間がかかる場合があります。
- 4 「再起動が完了しました」とメッセージが表示されるので、
「OK」をタップする

9-7 情報

本製品に設定されている内容などの情報を確認できます。

現在の状態

本製品の装置情報や SIM カード情報を表示します。

装置情報

装置名 ⓘ
WH01-xxxxxx

ファームウェアバージョン ⓘ
X.X.X

IMEI ⓘ
XXXXXXXXXXXXXX

SIMカード情報

ICCID ⓘ
XXXXXXXXXXXXXXXXXX

電話番号 ⓘ
XXXXXXXXXX

詳細設定TOPへ

10章 本製品の設定メニューについて

10-1 設定メニュー一覧.....	93
10-2 ランプ表示による状態一覧.....	98

10-1 設定メニュー一覧

クイック設定 Web のメニュー項目と設定項目です。

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	スマートフォン用ページの有無
ネットワーク設定			
基本設定			
通信モード	ハイスピードモード、ハイスピードプラスエリアモード	ハイスピードモード	○
ハイスピードプラスエリアモード規制		(チェックなし)	
接続設定			
プロファイル選択		Internet	○
プロファイル設定			
プロファイルリスト		Internet	○
プロファイル名	最大 64 文字 (半角) (全角の場合は最大 32 文字)	Internet	○
APN (接続先情報)	最大 62 文字 (半角英数記号)		○
ユーザー名	最大 63 文字 (半角英数記号)		○
パスワード	最大 63 文字 (半角英数記号)		○
認証タイプ	CHAP、PAP	CHAP	○
IP タイプ	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4&IPv6	○
通信量カウンター			
月次通信量			
データ通信量表示			○
通信量カウント (HS)		(チェックなし)	○
通信量カウント (HS+A)		使用する	○
最大データ通信量設定	1 ~ 99 (GB)	7	○
カウント開始日	1 ~ 31 (日)	1	○
通知設定	通知しない、通知する	通知しない	○
通知するデータ通信量設定	1 ~ 99 (GB)	6	○
日次通信量			
通信量カウント (HS)		使用する	○
通信量カウント (HS+A)		使用する	○
上限値 (3 日間)	1 ~ 99 (GB)	10	○
Wi-Fi 設定			
Wi-Fi 設定 (2.4GHz) [プライマリ SSID]			
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能		使用する	
ネットワーク名 (SSID)	最大 32 文字までの半角英数字	WXHM_N31_XXXXXX-g	○
ネットワーク分離機能		(チェックなし)	
2.4GHz 設定			
デュアルチャネル機能		(チェックなし)	
使用チャネル	オートチャネルセレクト機能、1、2、…、12、13	オートチャネルセレクト機能	
暗号化			
暗号化モード	暗号化無効、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WPA/WPA2-PSK (AES)	
WPA 暗号化キー (PSK)	8 文字以上 63 文字までの英数記号	xxxxxxxxxxxx	○
暗号化キー更新間隔 (分)	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30	
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)		(チェックなし)	
MAC アドレスフィルタリング機能		(チェックなし)	
拡張設定			
送信出力	100%、50%、25%、12.5%	100%	
Wi-Fi 暗号化強化		使用する	

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	スマートフォン 用ページの有無
Wi-Fi 設定			
Wi-Fi 設定 (2.4GHz) [セカンダリ SSID (WEP)]			
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能		(チェックなし)	
ネットワーク名 (SSID)	最大 32 文字までの半角英数字	WXHM_N31_XXXXXX-g_2	○
ネットワーク分離機能		使用する	
暗号化			
暗号化モード	暗号化無効、WEP、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WEP	
暗号強度	128bit	128bit	
指定方法	英数字 (13 桁)	英数字 (13 桁)	
暗号化キー (WEP キー)	英数字の場合は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、16 進数の場合は、0 ~ 9、a ~ f、A ~ F	xxxxxxxxxxxx	
WPA 暗号化キー (PSK)	8 文字以上 63 文字までの英数記号	xxxxxxxxxxxx	○
暗号化キー更新間隔 (分)	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30	
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)		(チェックなし)	
MAC アドレスフィルタリング機能		(チェックなし)	
Wi-Fi 設定 (5GHz) [プライマリ SSID]			
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能		使用する	
ネットワーク名 (SSID)	最大 32 文字までの半角英数字	WXHM_N31_XXXXXX-a	○
帯域設定	W52、W56	W52	
ネットワーク分離機能		(チェックなし)	
暗号化			
暗号化モード	暗号化無効、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WPA/WPA2-PSK (AES)	
WPA 暗号化キー (PSK)	8 文字以上 63 文字までの英数記号	xxxxxxxxxxxx	○
暗号化キー更新間隔 (分)	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30	
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)		(チェックなし)	
MAC アドレスフィルタリング機能		(チェックなし)	
拡張設定			
送信出力	100%、50%、25%、12.5%	100%	
Wi-Fi 暗号化強化		使用する	
Wi-Fi 設定 (5GHz) [セカンダリ SSID (WEP)]			
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能		(チェックなし)	
ネットワーク名 (SSID)	最大 32 文字までの半角英数字	WXHM_N31_XXXXXX-a_2	○
ネットワーク分離機能		使用する	
暗号化			
暗号化モード	暗号化無効、WEP、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WEP	
暗号強度	128bit	128bit	
指定方法	英数字 (13 桁)	英数字 (13 桁)	
暗号化キー (WEP キー)	英数字の場合は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、16 進数の場合は、0 ~ 9、a ~ f、A ~ F	xxxxxxxxxxxx	
WPA 暗号化キー (PSK)	8 文字以上 63 文字までの英数記号	xxxxxxxxxxxx	○
暗号化キー更新間隔 (分)	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30	
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)		(チェックなし)	
MAC アドレスフィルタリング機能		(チェックなし)	

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	スマートフォン 用ページの有無
Wi-Fi 設定			
MAC アドレスフィルタリング			
指定方法	手動設定、選択設定	手動設定	
MAC アドレス	「手動設定」の場合、[xx:xx:xx:xx:xx:xx] 形式で直接入力。 「選択設定」の場合、「接続子機一覧」から選択。		
WPS 設定			
WPS (PIN 方式)		使用する	○
WPS 周波数	2.4GHz、5GHz	2.4GHz	○
Wi-Fi 端末の PIN コード			○
詳細設定			
LAN 側設定			
IP アドレス			
IP アドレス/ネットマスク (ビット指定)		192.168.179.1/24	
DHCP サーバ			
DHCP サーバ機能		使用する	
リースタイム (時間)	0 (無制限)、1 ~ 72 (時間)	24	
アドレス割当パターン	自動設定、手動設定	自動設定	
割当先頭アドレス			
割当数	1 ~ 32	32	
WINS サーバアドレス			
DHCP 除外設定			
先頭アドレス			
除外数	1 ~ 255		
DHCP 固定割当設定			
MAC アドレス			
IP アドレス			
IPv4 パケットフィルタ設定			
種別	通過 (accept)、破棄 (drop)	通過 (accept)	
方向	in、out	in	
プロトコル	IP すべて、ICMP、TCP、UDP、その他	IP すべて	
送信元 IP アドレス	any、localhost	any	
送信元ポート番号	any	any	
宛先 IP アドレス	any、localhost	any	
宛先ポート番号	any	any	
優先度	1 ~ 50		
IPv6 パケットフィルタ設定			
種別	通過 (accept)、破棄 (drop)	通過 (accept)	
方向	in、out	in	
プロトコル	IPv6 すべて、ICMPv6、TCP、UDP、その他	IPv6 すべて	
送信元 IP アドレス	any、localhost	any	
送信元ポート番号	any	any	
宛先 IP アドレス	any、localhost	any	
宛先ポート番号	any	any	
優先度	1 ~ 50		
ポートマッピング設定			
LAN 側ホスト			
プロトコル	TCP、UDP、ESP、その他	TCP	
ポート番号		any	
優先度	1 ~ 50		
その他の設定			
セキュリティ設定			
セキュリティ保護機能		使用する	
NAPT 設定			
TCP タイマ (秒)	300 ~ 432000 (秒)	3600	
UDP タイマ (秒)	30 ~ 3600 (秒)	300	
UPnP 設定			
UPnP 機能		(チェックなし)	

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	スマートフォン用ページの有無
詳細設定			
その他の設定			
DMZ ホスト設定			
DMZ ホスト機能		(チェックなし)	
DMZ ホストの IP アドレス			
通信情報ログ設定			
ロギング機能		使用する	
ログ保存方法	サイクリック、ワンタイム	サイクリック	
補助設定			
ファームウェア更新通知機能		使用する	○
ランプ点灯設定			
ランプ消灯モード	点灯、Status ランプのみ点灯、全消灯	点灯	○
WAN 設定			
MTU (bytes)	1400 ~ 1440	1440	
PING 応答機能		(チェックなし)	
品質情報収集機能			
品質情報収集機能		(チェックなし)	
メンテナンス			
管理者パスワードの変更			
現在のパスワード			○
新しいパスワード	最大 64 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)		○
新しいパスワード再入力			○
設定値の保存&復元			
設定値の初期化			○
ファームウェア更新			○
更新方法	ローカルファイル指定、オンラインバージョンアップ	ローカルファイル指定	
ファームウェアファイル			
PING テスト			
対象プロトコル	IPv4、IPv6	IPv4	
対象ホスト			
PIN コード管理			
現在の PIN コード	4 ~ 8 桁の数字	(1234)	
新しい PIN コード	4 ~ 8 桁の数字		
確認用 PIN コード	4 ~ 8 桁の数字		
再起動			
再起動			○
自動再起動設定			
自動再起動		(チェックなし)	
再起動時刻	0 ~ 23	3	
情報			
現在の状態			
装置情報			
装置名			○
ファームウェアバージョン			○
IMEI			○
MAC アドレス (ETHERNET)			
SIM カード情報			
ICCID			○
電話番号			○
Wi-Fi 情報 (2.4GHz プライマリ SSID)			
使用チャネル			
ネットワーク名 (SSID)			
MAC アドレス (無線)			
ネットワーク分離機能			

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	スマートフォン 用ページの有無
情報			
現在の状態			
Wi-Fi 情報 (2.4GHz セカンダリ SSID)			
使用チャンネル			
ネットワーク名 (SSID)			
MAC アドレス (無線)			
ネットワーク分離機能			
Wi-Fi 接続子機一覧 (2.4GHz)			
Wi-Fi 情報 (5GHz プライマリ SSID)			
使用チャンネル			
ネットワーク名 (SSID)			
MAC アドレス (無線)			
ネットワーク分離機能			
Wi-Fi 情報 (5GHz セカンダリ SSID)			
使用チャンネル			
ネットワーク名 (SSID)			
MAC アドレス (無線)			
ネットワーク分離機能			
Wi-Fi 接続子機一覧 (5GHz)			
接続状態			
動作モード			
接続状態			
LAN 側状態			
IP アドレス/ネットマスク			
WAN 側状態			
IP アドレス			
プライマリ DNS			
セカンダリ DNS			
通信情報ログ			
UPnP の状態			
マニュアル			

10-2 ランプ表示による状態一覧

■ 本製品のランプ表示による状態とチェック内容

ランプは本体正面にあります。(▶ P.12)

ランプ表示	状態	チェック内容	参照ページ
Status ランプ ●○●○赤点滅(遅)	SIM カード未挿入／無効な SIM カード挿入中	au Nano IC Card 04 LE が取り付けられていません。電源を切って、au Nano IC Card 04 LE を取り付けてください。または無効な SIM カードが挿入されています。	P.14
	APN 設定確認待ち	APN (接続先) 設定内容が間違っている場合に表示されます。APN 設定内容を確認してください。ネットワーク障害のときも、表示されます。	P.37 P.61 P.93
	PIN コード入力待ち	PIN コード認証が有効になっており、PIN コードの入力待ちです。解除されるまで表示されます。PIN コードを入力して解除してください。	P.74
	PIN ロック中	PIN コードの入力を 3 回失敗して、ロックされているときに表示されます。PIN ロック解除コード (PUK) と新しい PIN コードを入力してください。	P.9 P.74
	PIN 完全ロック中	PIN ロック解除コードの入力に 10 回失敗したため、au Nano IC Card 04 LE がロックされました。auショップ、トヨタ au取扱店もしくはお客様センターにお問い合わせください。	P.9
Full ランプ ●オレンジ点灯	データ通信量超過中	通信量カウンターで設定した場合、データ通信量が設定した上限値を超過したときに表示されます。 通信量カウンターの設定値を変更するか、データ通信量をリセットしてください。	P.62 P.93
Update ランプ ●オレンジ点灯	最新ファームウェア公開中	ファームウェアをバージョンアップしてください。	P.100

11章 付録

11-1	ファームウェアを更新する	100
11-2	故障とお考えになる前に	103
11-3	アフターサービスについて	105
11-4	周辺機器	106
11-5	製品仕様	107
11-6	輸出管理規制	108
11-7	知的財産権について	109

11-1 ファームウェアを更新する

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。

memo

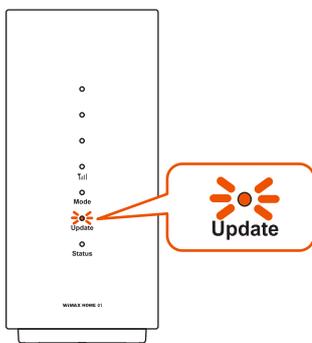
- ◎ ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- ◎ 本製品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本製品が動作しなくなります。
- ◎ パソコンからクイック設定 Web 画面でバージョンアップを開始するときは、先に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

Update ボタンを使ってバージョンアップ

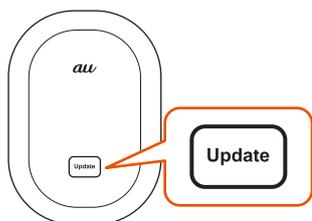
本製品正面の Update ランプがオレンジ点灯している場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、本体上面の Update ボタンを押してファームウェアの更新を行うことができます。

- ・ 本製品からインターネットに接続できている必要があります。
- ・ 本機能は、「ファームウェア更新通知機能」の設定が「使用する」に設定されている必要があります。工場出荷時は「使用する」に設定されています。
「ファームウェア更新通知機能」の設定は、クイック設定 Web の「詳細設定」- [その他の設定] - 「補助設定」で行います。（▶ P.71）
- ・ Update ランプが消灯しているとき、本体上面の Update ボタンを約 5 秒間長押しすると、新しいファームウェアが存在しているか確認できます。確認中は、Update ランプがオレンジ点滅（速）します。新しいファームウェアが存在しているときは、自動でバージョンアップが始まります。
最新のファームウェアをご利用中の場合は、約 5 秒間 Update ランプが緑点滅（速）します。

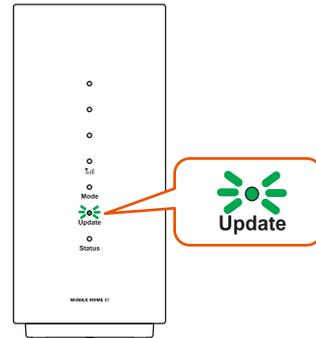
1 本製品正面の Update ランプがオレンジ点灯していることを確認する



2 本体上面の Update ボタンを約 5 秒間長押しし、Update ランプがオレンジ点滅（遅）したら離す



3 バージョンアップが完了し、Update ランプが緑点灯し自動で再起動する



クイック設定 Web 画面でのバージョンアップ

■ オンラインバージョンアップ

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本製品からインターネットに接続できている必要があります。

■ パソコンの場合

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名/管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- ・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.59)を参照してください。

5 「メンテナンス」の【ファームウェア更新】を選択する

6 [オンラインバージョンアップ] を選択する



7 [確認/更新] をクリックする

8 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ



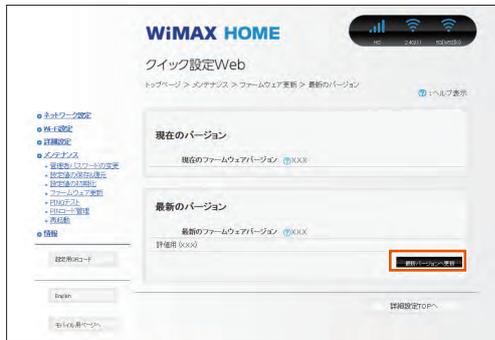
! ご注意

- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- Update ランプが赤点滅（速）していると、ファームウェアの更新に失敗しています。手順 1 からやり直してください。

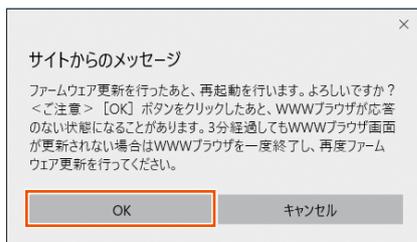
！ ご注意

- ファームウェアの確認中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア取得失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

- 9 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンへ更新] をクリックする
「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



- 10 [OK] をクリックする



- 11 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。しばらくお待ちください」と表示される

！ ご注意

- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

- 12 [OK] をクリックする

**■** スマートフォン / タブレット端末の場合

- 1 スマートフォン / タブレット端末を起動する

本製品とスマートフォン / タブレット端末がネットワーク接続されていることを確認します。

- 2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

- 3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをタップする

- 4 ログイン画面が表示されたらユーザー名 / 管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- 管理者パスワードについては「クイック設定 Web を起動する」(▶ P.79) を参照してください。

- 5 「メンテナンス」の「ファームウェア更新」を選択する

- 6 [確認 / 更新] をタップする



- 7 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ

**！** ご注意

- ファームウェアの確認中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア取得失敗」と表示されたら、[Top Page] をタップし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

- 8 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、**「最新バージョンへ更新」** をタップする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



- 9 [OK] をタップする



- 10 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。しばらくお待ちください」と表示される

! ご注意

- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をタップし、手順 9 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

- 11 [OK] をタップする



■ ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

パソコンと接続してホームページから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行う機能です。

- 1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

- 2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

- 3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

- 4 ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

・管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.59) を参照してください。

- 5 「メンテナンス」の「ファームウェア更新」を選択する

- 6 「更新方法」で「ローカルファイル指定」を選択する

- 7 「ファームウェアファイル」欄にあるボタン ([参照] など) をクリックする

- 8 ダウンロードして解凍したファームウェアのファイルを指定する

- 9 [確認／更新] をクリックする

- 10 [OK] をクリックする

- 11 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。しばらくお待ちください」と表示される

! ご注意

- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 2 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 3 からやり直してください。

- 12 [OK] をクリックする

11-2 故障とお考えになる前に

本書を参照して設定を行っても、インターネット接続ができない場合など、お困りのときは、以下の項目を確認してください。

症状	原因と対策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定の AC アダプタを正しく接続してください。「電源を入れる」(▶ P.15) ● ランプ点灯設定が「全消灯」になっていないか確認してください。(▶ P.71)
インターネットに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスエリア内であることを確認してください。 ● 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良い場所でもう一度接続してください。 ● Status ランプが緑点灯していないときは、クイック設定 Web を起動し、ネットワーク接続が正しく設定されていることを確認してください。 ● 接続先情報が正しく設定されているかクイック設定 Web 等で確認してください。 ● Windows 10 で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」が有効になっているとネットワークに接続できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品の「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」を無効にするか、以下の手順で接続を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする ② [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする ③ ネットワーク名 (SSID) とセキュリティキーを入力して [次へ] をクリック その際、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」のチェックを入れてください。
通信がすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波状態が良くない場合があります。電波受信レベルを確認し、電波状態の良いところに移動してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN (Wi-Fi[®]) や Ethernet ケーブル (市販品) で正しく接続されているか確認してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN (Wi-Fi[®]) や Ethernet ケーブル (市販品) で接続している場合は、本製品の電源を入れなおしてください。 ● 周辺に複数のアクセスポイントが設置されているなど、他のネットワークからの電波干渉がある場合は、本製品の「使用チャンネル」を変更することで改善される場合があります。
通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続先が混雑している場合があります。時間を置いて再度試してください。 ● 近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、または「チャンネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth[®] 機能などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 <ul style="list-style-type: none"> → クイック設定 Web を起動して「Wi-Fi 設定」- [Wi-Fi 設定] の「2.4GHz 設定」で「使用チャンネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから 4 チャンネル以上ずらすようにしてください。 ● 本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末が近すぎる <ul style="list-style-type: none"> → 1m 以上離してください。

症状	原因と対策
無線 LAN (Wi-Fi [®]) 接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web 画面で「Wi-Fi 暗号化強化」を「OFF」に設定または「使用する」のチェックを外すことで接続できる場合があります。 ● Windows 10 で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」が有効になっている本製品と接続できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品の「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」を無効にするか、以下の手順で接続を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする ② [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする ③ ネットワーク名 (SSID) とセキュリティキーを入力して [次へ] をクリック その際、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」のチェックを入れてください。 ● 電波状態やご利用帯域によっては、WPS 機能を使った無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続ができない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 手動での無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続を行ってください。 ● 本製品の暗号化モード (▶ P.63) を「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」に設定してお使いの際に、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の暗号化モードが「TKIP」で接続できない場合は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の暗号化設定を「AES」または「WEP」に変更すると、接続できる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> (暗号化モードを「WEP」で使用するには、本製品側の Wi-Fi 設定を、「セカンダリ SSID (WEP)」の「無線機能」を「使用する」に設定することが必要です。(▶ P.64))
Web ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか <ul style="list-style-type: none"> → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「http://192.168.179.1/」を入れる ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(▶ P.17)
無線 LAN (Wi-Fi [®]) 接続してクイック設定 Web を表示させると、セカンダリ SSID に無線 LAN (Wi-Fi [®]) 接続していると、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末からプライマリ SSID に無線 LAN (Wi-Fi [®]) 接続してクイック設定 Web を表示してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続していると、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末からプライマリ SSID に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してクイック設定 Web を表示してください。 ● JavaScript が無効に設定されている <ul style="list-style-type: none"> → Web ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(▶ P.18) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。
Web ブラウザでクイック設定 Web にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> ● Web ブラウザでクイック設定 Web にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 <ul style="list-style-type: none"> → 「ユーザー名」(上段) には、「admin」を入力してください。「パスワード」(下段) には、Web ブラウザでクイック設定 Web に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(▶ P.23、59)
管理者パスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(▶ P.55) <ul style="list-style-type: none"> ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」- [設定値の保存 & 復元] で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをおすすめします。(▶ P.72)

症 状	原因と対策
<p>使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.179.XXX は、ハードウェアのアドレスが ... と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</p>	<p>● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。</p> <p>< IP アドレスの再取得 ></p> <p>< Windows 10/8.1/7 の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [Windows] キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする <ul style="list-style-type: none"> • Windows 7 の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。 ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[[はい] または [続行] をクリックする ③ [ipconfig/release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ [ipconfig/renew] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< macOS の場合 ></p> <p>以下は macOS 10.12 の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② 「ネットワーク」画面で [Wi-Fi] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< iOS の場合 ></p> <p>以下は iOS 11.4 の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「ホーム」画面の [設定] アイコンをタップする ② 設定メニューの [Wi-Fi] をタップする ③ チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある (i) ボタンをタップする ④ [リースを更新] をタップする ⑤ [リースを更新] をタップする
<p>本製品のバージョンを確認したい</p>	<p>● クイック設定 Web トップページでの「装置情報」欄で確認します。</p>
<p>ブラウザからの応答がなくなりました</p>	<p>● クイック設定 Web では、[設定] をクリックすると設定値は即時有効となりますので、「詳細設定」 - [LAN 側設定]、または [Wi-Fi 設定] - 「Wi-Fi 設定」の変更では、[設定] をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させてください。(Wi-Fi 設定を変更した場合は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との無線設定をし直して、接続を確立させてください。)</p>
<p>本製品を工場出荷時の状態に戻したい</p>	<p>● 本製品の背面の RESET ボタンを約 5 秒間長押しします。本製品を初期化すると、すべての設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。</p>

11-3 アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの au の端末は、再生修理した上で交換用携帯端末として再利用します。また、au アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

■ 補修用性能部品について

当社はこの WiMAX HOME 01 本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 故障紛失サポートについて

au の端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。

月額利用料およびサービスの詳細については、au ホームページをご確認ください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>

memo

- ◎ ご入会は、au の端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回の au の端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のある au の端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au の端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しい au の端末をご購入いただいた場合、以前にご利用の au の端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au IC カード について

au IC カードは、au からお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、au ショップもしくはトヨタ au 取扱店までお問い合わせください。

11-4 周辺機器

使用可能な周辺機器はありません。(2019年3月現在)

- 最新の対応周辺機器については、au ホームページをご確認いただくか、auショップ、トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

11-5 製品仕様

WiMAX HOME 01 本体仕様

項目	諸元および機能		備考
WAN インタ フェース	WiMAX 2+/ LTE	周波数範囲	WiMAX 2+ LTE
		伝送速度 (*1)	ハイスピードモード 下り最大：440Mbps 上り最大：30Mbps ハイスピードプラスエリアモード 下り最大：440Mbps 上り最大：75Mbps (*2)
		アンテナ	WiMAX 2+：送信 1 × 受信 4 (内蔵アンテナ) LTE：送信 1 × 受信 2 (内蔵アンテナ)
無線 LAN (Wi-Fi®) イ ンタフェ ース	IEEE802.11ac	周波数範囲 /チャンネル	5GHz 帯 W52、W56 (*4)
		伝送速度 (*1)	最大 867Mbps
	IEEE802.11n	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*3) 5GHz 帯 W52、W56 (*4)
		伝送速度 (*1)	最大 300Mbps
	IEEE802.11a	周波数範囲 /チャンネル	5GHz 帯 W52、W56 (*4)
		伝送速度 (*1)	最大 54Mbps
	IEEE802.11g	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*3)
		伝送速度 (*1)	最大 54Mbps
	IEEE802.11b	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*3)
		伝送速度 (*1)	最大 11Mbps
アンテナ	送信 2 × 受信 2 (内蔵アンテナ)		
セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネット ワーク分離機能、WEP (128bit)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA/ WPA2-PSK (TKIP/AES)		
最大同時接続数	Wi-Fi®：20 台 (2.4GHz/5GHz で各 10 台) / 有線 LAN：2 台		
有線 LAN イ ンタフェ ース	IEEE802.3ab/ IEEE802.3u	1000BASE-T/100BASE-TX RJ-45 × 2 ポート	
外部インタ フェース	SIM カードス ロット	au Nano IC Card 04 LE × 1	
ヒューマ ンインタ フェース	ランプ	Wi-Fi ランプ、Mode ランプ、Update ランプ、 Status ランプ	
	ボタン	WPS ボタン、Mode ボタン、Update ボタン、 RESET ボタン	
外形寸法	約 70 (W) × 155 (H) × 100 (D) mm		
電源	同梱の AC アダプタ使用 100V AC ± 10%、50/60Hz 12V DC		
消費電力	最大約 9 W		
質量	約 338g		
動作環境	温度 0 ~ 40°C 湿度 10 ~ 90%	結露しないこと	

(*1)：表記の通信速度はシステム上の最大速度となります。通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況などに応じて変化します。

(*2)：全国 (各都道府県一部エリア) で提供。(2019 年 3 月現在)

(*3)：オートチャンネルセレクト時は、1 / 6 / 11ch

(*4)：[W52] 5.2GHz 帯 (5150 ~ 5250MHz)：36 / 40 / 44 / 48ch ※屋内限定

[W56] 5.6GHz 帯 (5470 ~ 5725MHz)：100 / 104 / 108

/ 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140ch

・ W56 (5.6GHz 帯：132/136/140ch) は、ご利用できません。
(2019 年 3 月現在)

AC アダプタ仕様

項目	諸元および機能	備考
入力	100V AC 50/60 Hz 0.4A	
出力	12V DC 1.5A	
外形寸法	約 43 (W) × 31 (H) × 104 (D) mm (コード長さ：約 1.8m)	
質量	約 170g	
動作環境	温度 0 ~ 40°C 湿度 10 ~ 90%	結露しないこと

11-6 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

11-7 知的財産権について

商標について

- Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
 - らくらく QR スタートは、NEC プラットフォームズ株式会社の登録商標です。
 - Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Mac、Macintosh、Mac OS、macOS、OS X、AirMac、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
 - インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。
 - Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Google、Android、Google Chrome、Google Play は、Google LLC の商標または登録商標です。
 - 「PlayStation」、「プレイステーション」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。
また、「Play Station[®] Vita」は同社の商品です。
©Sony Interactive Entertainment Inc.
 - ニンテンドー DS、ニンテンドー 3DS は任天堂の登録商標または商標です。
 - Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi CERTIFIED[®]、WPA[™]、WPA2[™]、Wi-Fi Protected Setup[™] とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
 - Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - 「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
 - その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。
- なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

© NEC Platforms, Ltd. 2019

NEC プラットフォームズ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

11-8 索引

数字

2.4GHz 帯	8、11、25、45、107
5GHz 帯	8、11、25、45

[A ~ Z]

AC アダプタ	1、15、107
AES	26、52
APN	37、61、83、93
au IC カード	2、6、8、14
取り付け	14
取り外し	14
DHCP 固定割当設定	68、95
DHCP サーバ機能	67、95
DHCP 除外設定	67、95
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	52、63、64、65、93、94
Ethernet ケーブル (市販品) で接続する	11、35
IEEE802.11a	107
IEEE802.11ac	107
IEEE802.11b	107
IEEE802.11g	107
IEEE802.11n	107
IPv4 パケットフィルタ設定	68、95
IPv6 パケットフィルタ設定	69、95
IP パケットフィルタリング	50
JavaScript	18
LAN 側設定	67、95
LAN 接続端子	12、35
LTE	2、11、38、107
MAC アドレスフィルタリング	53、63、64、65、66、93、94
Mode ボタン	12、107
Mode ランプ	12、45、107
NAPT	53、71、95
NEC WiMAX 2+ Tool	26、40、43、47
PING テスト	74、96
PIN コード管理	74、96
PIN 方式	33、66、87、95
RESET ボタン	12、13、16、55、107
SIM カードスロット	12、107
Status ランプ	12、48、71、88、96、98、107
TKIP	52
Update ボタン	12、13、100、107
Update ランプ	12、13、98、100、107
UPnP	50、71、76、95、97
WAN 側回線	14、37、61、82
Web ブラウザの設定	18
WEP	25、26、52、94
Wi-Fi 暗号化強化	63、65、93、94
Wi-Fi 情報	26
Wi-Fi 設定	27、63、86、93、94、95
Wi-Fi 設定お引越し	13、45
WiMAX 2+	2、11、38、107
WPS	12、27、33、66、87、95
WPS ボタン	12、13、25、33、45、107

[ア行]

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)	53
アフターサービス	105
暗号化	1、12、25、52、63、65、93、94
暗号化キー	26
安全上のご注意	5
Wi-Fi ランプ	12、47、98、107

[カ行]

外部インターフェース	107
各種機能の詳細設定	60、81
各部の名称と機能	12
管理者パスワードの変更	72、89、96
基本設定 (ネットワーク設定)	61、82、93
基本的な操作	21
クイック設定 Web	17、22、58、79、93
～画面でのバージョンアップ	100
～で初期化する	56
～のトップページ	22、58、79
～を起動する	22、58、79
グラフ	41、43
月次通信量	43
現在の状態	76、91、96、97
故障とお考えになる前に	103

[サ行]

再起動	41、49、75、90、96
材質一覧	7
自動再起動機能	49
周辺機器	106
詳細設定	23、59、60、67、80、81、88、95、96
各種機能の～	60、81
～にログイン	23、59
～のトップページ設定画面	23、59、80
情報	76、91、96、97
情報表示 (スマートフォンアプリ)	40、43
初期化	16、55、56、73、89、96
クイック設定 Web で～	56
設定値の～	73、89、96
スマートフォンアプリ	26、40、43、47
スマートフォン用クイック設定 Web	79
～のトップページ	79
～を起動する	79
製品仕様	107
セカンダリ SSID	25、26、64、65、86、94、97
セキュリティ機能	52
接続先設定	37
接続する	11、25、35
Ethernet ケーブル (市販品) で～	11、35
iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を～	30
Mac を～	28
PlayStation®Vita を～	32
Windows パソコンを～	27
WPS 機能対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を～	33
スマートフォンを～	29
タブレット (Android 端末) を～	29
ニンテンドー 3DS を～	31
無線 LAN (Wi-Fi®) で～	11、25
らくらく QR スタートを利用して～	26
接続設定	61、82、93
接続設定ウィザード	40
接続端末の準備	17

設置場所	11、47
設定値の初期化	73、89、96
設定値の保存&復元	72、96
その他の設定 (クイック設定 Web)	70、88、95、96

「らくらく QR スタート」用 QR コード (シール)	1、25、26
ランプ消灯機能	48
リセット	16、41、43

[タ行]

ダイナミックポートコントロール機能	53
知的財産権	109
注意事項	5
通信情報ログ	71、76、96
通信モード	11、12、38、40、61、82、93
通信量カウンター	43、62、84、93
通信量カウント	62、84、93
データ通信量	41、43、62、84、93
データ通信量推移	41、43
データ通信量表示機能	41
電源端子	12、15
電源を入れる/切る	15
電波レベル	41
同梱品一覧	1
取り扱い上のご注意	7
取扱説明書について	1

[ナ行]

日次通信量	41、43、62、85、93
ネットワーク設定	61、82、93
ネットワーク分離機能	53、63、64、65、93、94、96、97
ネットワーク名 (SSID)	1、12、25、63、64、65、86、93、94、96、97

[ハ行]

バージョンアップ	100
ハイスピードプラスエリアモード	38、41、61、82、93
ハイスピードモード	38、41、61、82、93
パソコンのネットワークの確認	17
ヒューマンインタフェース	107
ファームウェア更新	13、42、71、73、88、89、96、100
ファイアウォール	17
不正アクセス検出機能	53
プライマリ SSID	25、26、63、64、86、93、94、96、97
プロファイル設定	37、41、61、83
便利な機能	39、50
ポートマッピング	50、70、95
本製品のご利用について	2
本製品の使いかた	11
本体のボタン操作	12

[マ行]

マニュアル	77、97
無線 LAN (Wi-Fi [®]) で接続する	11、25
メンテナンス	72、89、96
目次	3

[ヤ行]

輸出管理規制	108
--------------	-----

[ラ行]

らくらく QR スタート	29、30、40、46
--------------------	-------------

■ 本製品で使用しているソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL に従い、複製、頒布および改変することができます。詳細は、WiMAX Support Information ホームページを参照してください。

<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/wh01/index.html>

■ MII interface

Copyright (c) 1997 Manuel Bouyer. All rights reserved.

Modification to match BSD/OS 3.0 MII interface by Jason R. Thorpe, Numerical Aerospace Simulation Facility, NASA Ames Research Center.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1998, 1999, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc.

All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Jason R. Thorpe of the Numerical Aerospace Simulation Facility, NASA Ames Research Center.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ cgi

Copyright (c) 1996-1998

John-Mark Gurney. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by John-Mark Gurney
4. Neither the name of the author nor the names of any co-contributors may be used to endorse or promote products derived from this software

without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY John-Mark Gurney AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ libmrvlencrypt

Copyright (C) 2002-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2003-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2004-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2003-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2005-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>
Copyright (C) 2006-2007, Marvell International Ltd. and its affiliates
Copyright (C) 2009, Marvell International Ltd. and its affiliates
All rights reserved.

1. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
2. Neither the name of Jouni Malinen, Marvell nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

@author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
@author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
@author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ HTTP-C

```
/* -  
 * Copyright (c) 1998 Dag-Erling Coodan Smxgrav  
 * All rights reserved.  
 *  
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:  
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in this position and  
 * unchanged.  
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the  
 * documentation and/or other materials provided with the distribution.  
 * 3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission  
 *  
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,  
 * THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE  
 * AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT  
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)  
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR  
 * OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.  
 */
```

■ HTTP-S 1.18

```
/*  
**
```

```
** Copyright 1999,2000 by Jef Poskanzer <jef@acme.com>.
** All rights reserved.
**
** Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
** 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
** 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
**    documentation and/or other materials provided with the distribution.
**
** THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING,
** BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
** IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
** CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
** DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
** LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
** OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/
```

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to
* all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this
* distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*    documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
*    "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines
*    from the library being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an
*    acknowledgement:
*    "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
* AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
* INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
* NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
* DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]
*/
```

```
/* =====
* The Apache Software License, Version 1.1
*
* Copyright (c) 2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
*/
```

- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- *
 - * 3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:
 - * "This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."
 - * Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
 - * 4. The names "Apache" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
 - * 5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* =====

* This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

* Portions of this software are based upon public domain software originally written at the National Center for Supercomputing Applications, University of Illinois, Urbana-Champaign.

*/

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. **Grant of Copyright License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. **Grant of Patent License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. **Redistribution.** You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. **Accepting Warranty or Additional Liability.** While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You

agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ STLport

LEGALESE

This software is being distributed under the following terms:

*

* Copyright (c) 1994

* Hewlett-Packard Company

*

* Copyright (c) 1996-1999

* Silicon Graphics Computer Systems, Inc.

*

* Copyright (c) 1997

* Moscow Center for SPARC Technology

*

* Copyright (c) 1999-2003

* Boris Fomitchev

*

* This material is provided "as is", with absolutely no warranty expressed or implied. Any use is at your own risk.

*

* Permission to use or copy this software for any purpose is hereby granted without fee, provided the above notices are retained on all copies.

* Permission to modify the code and to distribute modified code is granted, provided the above notices are retained, and a notice that the code was

* modified is included with the above copyright notice.

*

■ expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS

OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ libcurl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2015, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

■ libffi-3.0.13

libffi - Copyright (c) 1996-2012 Anthony Green, Red Hat, Inc and others.

See source files for details.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ libpcap

License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ openssl

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/*=====
*Copyright (c) 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved.
*
*Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in
* the documentation and/or other materials provided with the
* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
* software must display the following acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
* endorse or promote products derived from this software without
* prior written permission. For written permission, please contact
* openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
* acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*=====
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*/
```

Original SSLeay License

```

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to. The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 * documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 * must display the following acknowledgement:
 * "This product includes cryptographic software written by
 * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 * The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
 * being used are not cryptographic related :-).
 * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
 * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
 * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for any publically available version or
 * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
 * copied and put under another distribution licence
 * [including the GNU Public Licence.]
 */

```

■ libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with

different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2012 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ ncurses

```
-----
-- Copyright (c) 1998-2004,2006 Free Software Foundation, Inc.      --
--                                                                    --
-- Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a --
-- copy of this software and associated documentation files (the      --
-- "Software"), to deal in the Software without restriction, including --
-- without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, --
-- distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies --
-- of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished --
-- to do so, subject to the following conditions:                      --
--                                                                    --
-- The above copyright notice and this permission notice shall be included --
-- in all copies or substantial portions of the Software.            --
--                                                                    --
-- THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS --
-- OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF        --
-- MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN --
-- NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, --
-- DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR --
-- OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE --
-- USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.                            --
--                                                                    --
-- Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright --
-- holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the --
-- sale, use or other dealings in this Software without prior written --
-- authorization.                                                    --
-----
-- $Id: README,v 1.23 2006/04/22 22:19:37 tom Exp $
```

README file for the ncurses package

See the file ANNOUNCE for a summary of ncurses features and ports.

See the file INSTALL for instructions on how to build and install ncurses.

See the file NEWS for a release history and bug-fix notes.

See the file TO-DO for things that still need doing, including known bugs.

Browse the file misc/ncurses-intro.html for narrative descriptions of how to use ncurses and the panel, menu, and form libraries.

Browse the file doc/html/hackguide.html for a tour of the package internals.

ROADMAP AND PACKAGE OVERVIEW:

You should be reading this file in a directory called: ncurses-d.d, where d.d is the current version number (see the dist.mk file in this directory for

that). There should be a number of subdirectories, including 'c++', 'form', 'man', 'menu', 'misc', 'ncurses', 'panel', 'progs', 'test', 'tack' and 'Ada95'. (The 'tack' program may be distributed separately).

A full build/install of this package typically installs several libraries, a handful of utilities, and a database hierarchy. Here is an inventory of the pieces:

The libraries are:

libncurses.a	(normal)
libncurses.so	(shared)
libncurses_g.a	(debug and trace code enabled)
libncurses_p.a	(profiling enabled)
libpanel.a	(normal)
libpanel.so	(shared)
libpanel_g.a	(debug and trace code enabled)
libmenu.a	(normal)
libmenu.so	(shared)
libmenu_g.a	(debug enabled)
libform.a	(normal)
libform.so	(shared)
libform_g.a	(debug enabled)

If you configure using the `--enable-widex` option, a "w" is appended to the library names (e.g., `libncursesw.a`), and the resulting libraries support wide-characters, e.g., via a UTF-8 locale. The corresponding header files are compatible with the non-wide-character configuration; wide-character features are provided by `ifdef`'s in the header files. The wide-character library interfaces are not binary-compatible with the non-wide-character version.

The ncurses libraries implement the curses API. The panel, menu and forms libraries implement clones of the SVr4 panel, menu and forms APIs. The source code for these lives in the 'ncurses', 'panel', 'menu', and 'form' directories respectively.

In the 'c++' directory, you'll find code that defines an interface to the curses, forms, menus and panels library packaged as C++ classes, and a demo program in C++ to test it. These class definition modules are not installed by the `'make install.libs'` rule as `libncurses++`.

In the 'Ada95' directory, you'll find code and documentation for an Ada95 binding of the curses API, to be used with the GNAT compiler. This binding is built by a normal top-level 'make' if configure detects an usable version of GNAT (3.11 or above). It is not installed automatically. See the Ada95 directory for more build and installation instructions and for documentation of the binding.

To do its job, the ncurses code needs your terminal type to be set in the environment variable `TERM` (normally set by your OS; under UNIX, `getty(1)` typically does this, but you can override it in your `.profile`); and, it needs a database of terminal descriptions in which to look up your terminal type's capabilities.

In older (V7/BSD) versions of curses, the database was a flat text file, `/etc/termcap`; in newer (USG/USL) versions, the database is a hierarchy of fast-loading binary description blocks under `/usr/lib/terminfo`. These binary blocks are compiled from an improved editable text representation called 'terminfo' format (documented in `man/terminfo.5`). The ncurses library can use either `/etc/termcap` or the compiled binary terminfo blocks, but prefers the second form.

In the 'misc' directory, there is a text file `terminfo.src`, in editable terminfo format, which can be used to generate the terminfo binaries (that's what `make install.data` does). If the package was built with the `--enable-termcap` option enabled, and the ncurses library cannot find a terminfo description for your terminal, it will fall back to the `termcap` file supplied with your system (which the ncurses package installation leaves strictly alone).

The utilities are as follows:

tic	-- terminfo source to binary compiler
infocmp	-- terminfo binary to source decompiler/comparator
clear	-- emits clear-screen for current terminal
tput	-- shell-script access to terminal capabilities.
toe	-- table of entries utility
tset	-- terminal-initialization utility

The first two (`tic` and `infocmp`) are used for manipulating terminfo descriptions; the next two (`clear` and `tput`) are for use in shell scripts. The last (`tset`)

is provided for 4.4BSD compatibility. The source code for all of these lives in the 'progs' directory.

Detailed documentation for all libraries and utilities can be found in the 'man' and 'doc' directories. An HTML introduction to ncurses, panels, and menu programming lives in the 'doc/html' directory. Manpages in HTML format are under 'doc/html/man'.

The 'test' directory contains programs that can be used to verify or demonstrate the functions of the ncurses libraries. See test/README for descriptions of these programs. Notably, the 'ncurses' utility is designed to help you systematically exercise the library functions.

AUTHORS:

Pavel Curtis:

wrote the original ncurses

Zeyd M. Ben-Halim:

port of original to Linux and many enhancements.

Thomas Dickey (maintainer for 1.9.9g through 4.1, resuming with FSF's 5.0):

configuration scripts, porting, mods to adhere to XSI Curses in the areas of background color, terminal modes. Also memory leak testing, the wresize, default colors and key definition extensions and numerous bug fixes (more than half of those enumerated in NEWS beginning with the internal release 1.8.9).

Florian La Roche (official maintainer for FSF's ncurses 4.2)

Beginning with release 4.2, ncurses is distributed under an MIT-style license.

Eric S. Raymond:

the man pages, infocmp(1), tput(1), clear(1), captinfo(1), tset(1), toe(1), most of tic(1), trace levels, the HTML intro, wgetnstr() and many other entry points, the cursor-movement optimization, the scroll-pack optimizer for vertical motions, the mouse interface and xterm mouse support, and the ncurses test program.

Juergen Pfeifer

The menu and form libraries, C++ bindings for ncurses, menus, forms and panels, as well as the Ada95 binding. Ongoing support for panel.

CONTRIBUTORS:

Alexander V. Lukyanov

for numerous fixes and improvements to the optimization logic.

David MacKenzie

for first-class bug-chasing and methodical testing.

Ross Ridge

for the code that hacks termcap parameterized strings into terminfo.

Warren Tucker and Gerhard Fuernkranz,

for writing and sending the panel library.

Hellmuth Michaelis,

for many patches and testing the optimization code.

Eric Newton, Ulrich Drepper, and Anatoly Ivasyuk:

the C++ code.

Jonathan Ross,

for lessons in using sed.

Keith Bostic (maintainer of 4.4BSD curses)

for help, criticism, comments, bug-finding, and being willing to deep-six BSD curses for this one when it grew up.

Richard Stallman,

for his commitment to making ncurses free software.

Countless other people have contributed by reporting bugs, sending fixes, suggesting improvements, and generally whining about ncurses :-)

BUGS:

See the INSTALL file for bug and developer-list addresses. The Hacker's Guide in the doc directory includes some guidelines on how to report bugs in ways that will get them fixed most quickly.

■ pcre_n

PCRE LICENCE

PCRE is a library of functions to support regular expressions whose syntax and semantics are as close as possible to those of the Perl 5 language.

Release 8 of PCRE is distributed under the terms of the "BSD" licence, as specified below. The documentation for PCRE, supplied in the "doc" directory, is distributed under the same terms as the software itself.

The basic library functions are written in C and are freestanding. Also included in the distribution is a set of C++ wrapper functions, and a just-in-time compiler that can be used to optimize pattern matching. These are both optional features that can be omitted when the library is built.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel
Email local part: ph10
Email domain: cam.ac.uk

University of Cambridge Computing Service, Cambridge, England.

Copyright (c) 1997-2014 University of Cambridge
All rights reserved.

PCRE JUST-IN-TIME COMPILATION SUPPORT

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Email domain: freemail.hu

Copyright(c) 2010-2014 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

STACK-LESS JUST-IN-TIME COMPILER

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Email domain: freemail.hu

Copyright(c) 2009-2014 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.

Copyright (c) 2007-2012, Google Inc.
All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

End

■ zlib

ZLIB DATA COMPRESSION LIBRARY

zlib 1.2.3 is a general purpose data compression library. All the code is thread safe. The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt> (zlib format), [rfc1951.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1951.txt) (deflate format) and [rfc1952.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1952.txt) (gzip format). These documents are also available in other formats from <ftp://ftp.uu.net/graphics/png/documents/zlib/zdoc-index.html>

All functions of the compression library are documented in the file `zlib.h` (volunteer to write man pages welcome, contact zlib@gzip.org). A usage example of the library is given in the file `example.c` which also tests that the library is working correctly. Another example is given in the file `minigzip.c`. The compression library itself is composed of all source files except `example.c` and `minigzip.c`.

To compile all files and run the test program, follow the instructions given at the top of `Makefile`. In short "make test; make install" should work for most machines. For Unix: `./configure; make test; make install`. For MSDOS, use one of the special makefiles such as `Makefile.msc`. For VMS, use `make_vms.com`.

Questions about zlib should be sent to [<zlib@gzip.org>](mailto:zlib@gzip.org), or to Gilles Vollant [<info@winimage.com>](mailto:info@winimage.com) for the Windows DLL version. The zlib home page is <http://www.zlib.org> or <http://www.gzip.org/zlib/> Before reporting a problem, please check this site to verify that you have the latest version of zlib; otherwise get the latest version and check whether the problem still exists or not.

PLEASE read the zlib FAQ http://www.gzip.org/zlib/zlib_faq.html before asking for help.

Mark Nelson [<markn@ieee.org>](mailto:markn@ieee.org) wrote an article about zlib for the Jan. 1997 issue of Dr. Dobb's Journal; a copy of the article is available in <http://dogma.net/markn/articles/zlibtool/zlibtool.htm>

The changes made in version 1.2.3 are documented in the file `ChangeLog`.

Unsupported third party contributions are provided in directory "contrib".

A Java implementation of zlib is available in the Java Development Kit <http://java.sun.com/j2se/1.4.2/docs/api/java/util/zip/package-summary.html>
See the zlib home page <http://www.zlib.org> for details.

A Perl interface to zlib written by Paul Marquess [<pmqs@cpan.org>](mailto:pmqs@cpan.org) is in the CPAN (Comprehensive Perl Archive Network) sites <http://www.cpan.org/modules/by-module/Compress/>

A Python interface to zlib written by A.M. Kuchling [<amk@amk.ca>](mailto:amk@amk.ca) is available in Python 1.5 and later versions, see <http://www.python.org/doc/lib/module-zlib.html>

A zlib binding for TCL written by Andreas Kupries [<a.kupries@westend.com>](mailto:a.kupries@westend.com) is available at http://www.oche.de/~akupries/soft/trf/trf_zip.html

An experimental package to read and write files in .zip format, written on top of zlib by Gilles Vollant [<info@winimage.com>](mailto:info@winimage.com), is available in the `contrib/minizip` directory of zlib.

Notes for some targets:

- FOR Windows DLL versions, please see WIN32/DLL_FAQ.txt
- For 64-bit Irix, deflate.c must be compiled without any optimization. With -O, one libpng test fails. The test works in 32 bit mode (with the -n32 compiler flag). The compiler bug has been reported to SGI.
- zlib doesn't work with gcc 2.6.3 on a DEC 3000/300LX under OSF/1 2.1 it works when compiled with cc.
- On Digital Unix 4.0D (formerly OSF/1) on AlphaServer, the cc option -std1 is necessary to get gzprintf working correctly. This is done by configure.
- zlib doesn't work on HP-UX 9.05 with some versions of /bin/cc. It works with other compilers. Use "make test" to check your compiler.
- gzdopen is NOT supported On RISCOS, BEOS and by some Mac compilers.
- For PalmOs, see <http://palmzlib.sourceforge.net/>
- When building a shared, i.e. dynamic library On Mac OS X, the library must be installed before testing (do "make install" before "make test"), since the library location is specified in the library.

Acknowledgments:

The deflate format used by zlib was defined by Phil Katz. The deflate and zlib specifications were written by L. Peter Deutsch. Thanks to all the people who reported problems and suggested various improvements in zlib; they are too numerous to cite here.

Copyright notice:

(C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

■ dhcp-isc

#Copyright (c) 2004-2014 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")

#Copyright (c) 1995-2003 by Internet Software Consortium

#

#Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above #copyright notice and this permission notice appear in all copies.

#

#THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED #WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR #CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION #OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS #SOFTWARE.

Internet Systems Consortium, Inc.
950 Charter Street
Redwood City, CA 94063
<info@isc.org>
<https://www.isc.org/>

See the specific source files for any additional copyright or license statements.

■ iperf

Copyright (c) 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois
All Rights Reserved.

Iperf performance test

Mark Gates
Ajay Tirumala
Jim Ferguson
Jon Dugan
Feng Qin
Kevin Gibbs
John Estabrook
National Laboratory for Applied Network Research
National Center for Supercomputing Applications
University of Illinois at Urbana-Champaign
<http://www.ncsa.uiuc.edu>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (Iperf) and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission. THE SOFTWARE IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ iw-4.9

Copyright (c) 2007, 2008 Johannes Berg
Copyright (c) 2007 Andy Lutomirski
Copyright (c) 2007 Mike Kershaw
Copyright (c) 2008-2009 Luis R. Rodriguez

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ MiniUPnPd

Copyright (c) 2006-2011, Thomas BERNARD

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ radvd

The author(s) grant permission for redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, of the software and documentation provided that the following conditions are met:

0. If you receive a version of the software that is specifically labelled as not being for redistribution (check the version message and/or README), you are not permitted to redistribute that version of the software in any way or form.
 1. All terms of all other applicable copyrights and licenses must be followed.
 2. Redistributions of source code must retain the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer.
 3. Redistributions in binary form must reproduce the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 4. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement with the name(s) of the authors as specified in the copyright notice(s) substituted where indicated:

This product includes software developed by the authors which are mentioned at the start of the source files and other contributors.

5. Neither the name(s) of the author(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ITS AUTHORS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ tcpdump

License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ telnetd

*/Copyright (c) 1989 Regents of the University of California.

*All rights reserved.

*

*/Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- *1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- *2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- *3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
- *4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

*
 *THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 *
 */

■ wpa_supplicant / hostapd

wpa_supplicant and hostapd

Copyright (c) 2002-2017, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

These programs are licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

This package may include either wpa_supplicant, hostapd, or both. See README file respective subdirectories (wpa_supplicant/README or hostapd/README) for more details.

Source code files were moved around in v0.6.x releases and compared to earlier releases, the programs are now built by first going to a subdirectory (wpa_supplicant or hostapd) and creating build configuration (.config) and running 'make' there (for Linux/BSD/cygwin builds).

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS AS IS AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Info-ZIP

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.

The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

auのお客さまサポート

Webサイトやアプリなら、その場で解決。

auホームページ <https://www.au.com/>

My au (Web版)

- パソコン・スマートフォン・タブレット・4GLTE ケータイから
<https://my.au.com>
- 3G ケータイから
EZ ボタン▶トップメニューまたは au ポータルトップ▶My au

My au (アプリ版)

- au Market もしくは App Store から「My au」で検索

詳細は
コチラ



よくあるご質問

「よくあるご質問」を集めた総合 Q&A サイト。 [au よくあるご質問](#) で検索

au動画ガイド

スマホの操作やアプリの使い方などは動画で。 [au動画ガイド](#) で検索

お客さまセンター (年中無休 / 通話料無料)	au携帯電話(スマホ/ケータイ)	au携帯電話以外/一般電話	左記番号がつかない場合
総合案内 (受付 9:00~20:00)	局番なし 157	0077-7-111	0120-977-033
盗難・紛失 (24時間受付)	局番なし 113	0077-7-113	[沖縄の方は] 0120-977-699

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
 ※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間でご利用いただけます (メンテナンス時を除く)。

故障紛失サポートセンター (年中無休 / 通話料無料)	au携帯電話(スマートフォン/ケータイ)/一般電話
盗難・紛失・故障 (受付 9:00~20:00)	0120-925-919

※ 上記の電話番号がつかない場合があります。



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。